昭和十三年度

農事試驗年報

臺南州立農事試驗場

610.76

610.76
Ta164n

国立国会
25. 3. 31
図書館

113155

凡　例

本書ハ昭和十三年度ニ施行セル臺南本場及嘉義支場ノ業務功程ニシテ各試驗並調査ノ概要及庶務事項ヲ掲載セリ

臺南本場ハ臺南市竹篙厝ニ嘉義支場ハ嘉義市車店ニアリ

程

1
3
3
4
6
6
8
10
10
19
19
20
21
26
26
26
29
29
30

昭和十三年度試驗成績並ニ業務功程

目　次

本場之部

昭和十三年度氣象 …… 1

農藝部

第一　甘　　藷 …… 3
耕種梗概 …… 3
一　品種試驗 …… 4
二　地方試驗 …… 6
（一）品種試驗 …… 6
（二）アルカリ土壤適應品種選出試驗 …… 8
第二　甘　　蔗 …… 10
一　甘蔗作ニ對スル棉間作利害試驗 …… 10
第三　大　小　麥 …… 19
耕種梗概 …… 19
一　品種試驗 …… 20
二　小麥間作利害試驗 …… 21
第四　落　花　生 …… 26
耕種梗概 …… 26
一　品種試驗 …… 26
二　地方試驗 …… 29
（一）品種試驗 …… 29
第五　棉（畑作） …… 30

耕種梗概……30
一 品種試驗……32
二 品種豫備試驗……33
三 播種期試驗……34
四 畦幅株間試驗……38
五 摘心除蕾芽ニ關スル試驗……40
六 種子ノ豫措ニ關スル試驗……41
七 地方試驗……42
(一) 山手地方……42
(二) 鹽分地地方……12
八 品種改良……45
(一) 純系分離……45
(二) 人工交配……46
第六 黃麻(畑作)……46
耕種梗概……46
一 品種試驗……47
第七 キャツサバ……48
耕種梗概……48
一 品種試驗……48
第八 蔬菜……50
一 夏季蔬菜……50
耕種梗概……50
(一) 栽培法試驗……50
二 葱頭……53
耕種梗概……53
(一) 品種試驗……53

(二) 播種期試驗……54
三 豌豆……55
耕種梗概……55
(一) 品種試驗……55
四 蔬菜採種法ノ研究……57
五 優良蔬菜種子ノ增殖……58
第九 デリス……59
耕種梗概……59
一 品種試驗……60
二 栽培法試驗……61
(一) 繁殖法試驗……61
(二) 植付適期試驗……62
(三) 挿穗ニ關スル試驗……64
(四) 畦幅株間試驗……67
第十 試作……68
一 蔬菜……68
二 苞麻……69
三 薑黃……70
第十一 果樹……70
一 檬果……70
耕種梗概……70
(一) 品種試驗……71
(二) 繁殖法試驗……72
(三) 繁殖法對適期試驗……73
二 果樹母樹園ノ經營並ニ熱帶果樹苗育成配付……74
第十二 棉原種圃ノ經營……75

農藝化學部

第一　水　　稻……77
一　水稻作ニ對シ窒素質及燐酸質肥料肥効試驗……77
（一）窒素質肥料肥効試驗……77
（二）燐酸質肥料肥効試驗……78
第二　棉肥料試驗……80
一　三要素試驗……80
二　三要素適量試驗……81
三　窒素質肥料肥効試驗……83
四　燐酸質肥料肥効試驗……84
五　加里質肥料肥効試驗……85
第三　棉ノ肥料施用量ト畦幅株間トノ關係試驗……86
第四　土壤中ノ鹽分（鹽化曹達）含有量ノ多少ガ小麥ノ生育ニ及ボス影響ニ關スル試驗……88
第五　黃麻肥料試驗……89

病理昆蟲部

第一　病　　害……93
一　稻熱病抵抗性品種査定試驗……93
二　稻熱病被害狀態變異ニ關スル試驗……94
第二　害　　蟲……96
一　棉ノ害蟲驅除豫防試驗……96
（一）藥劑撒布回數試驗……96
（二）藥劑効力比較試驗……97
（三）抵抗性品種試驗……99
二　デリス劑効力比較試驗……100

三　誘蛾燈ニヨル螟蛾驅除豫防ニ關スル調査……101
四　棉ノ主要害蟲飼育調査……102
五　益蟲ノ飼育並ニ放飼……103

支場之部

昭和十三年氣象……105

農藝部

第一　水　　稻……107
耕種梗概……107
一　內地種品種試驗……110
二　內地種品種豫備試驗……112
三　豐凶考照試驗……112
四　地方試驗……126
（一）品種試驗……126
第二　陸　　稻……129
耕種梗概……129
一　內地種品種試驗……129
第三　小　　麥……130
耕種梗概……130
一　品種試驗……131
第四　棉……132
耕種梗概……132
一　品種試驗……133
二　整地法試驗……134
三　畦幅株間試驗……135
四　播種期試驗……137

五　地方試驗……138
（一）品種試驗……138
第五　黄　　麻（水田作）……139
一　品種試驗……139
第六　嘉南大圳輪作試驗……140
一　用水量試驗……141
二　輪作試驗……144
第七　水稻原種圃ノ經營……145

庶務之部

一　標本並圖表製作……147
二　文書ノ收發……147
三　種苗ノ配付……147
四　印刷物ノ配付……148
五　職員出張……148
六　參觀人……148
七　昭和十三年度經費……148
八　現在職員……149

本場之部

昭和拾參年度氣象（自昭和十三年度四月一日 至昭和十四年度三月三十一日）旬別表 臺南本場

月別	旬別	氣溫 ℃ 平均最高	平均最低	平均	平均濕度	平均地溫	雨量	天候 晴天日數	曇天日數	降雨日數	最多風向
		度	度	度	%	度	mm	日	日	日	
四月	上旬	27.3	19.8	23.6	69.9	21.9	15.0	10	…	1	北西
	中旬	29.1	21.8	25.4	64.6	23.1	46.7	10	…	2	北西
	下旬	27.8	22.0	24.8	78.5	24.2	47.0	9	1	3	南西
五月	上旬	30.9	24.6	28.1	65.8	25.7	…	10	…	…	南西
	中旬	30·1	24.1	27.4	67.8	26.6	7.6	9	1	3	南西
	下旬	29.0	23.7	26.6	71.5	26.3	95.4	9	1	3	南西
六月	上旬	32.1	25.3	29.0	65.9	27.6	4.2	10	…	1	南西
	中旬	32.7	25.4	29.2	59.8	28.3	8.0	10	…	1	南西
	下旬	32.5	26.3	29.7	63.6	28.9	28.1	10	…	3	南西
七月	上旬	31.1	25.9	28.9	72.2	27.6	290.2	8	…	3	南西
	中旬	31.9	24.9	28.8	67.2	28.1	96.2	7	2	6	南西
	下旬	30.4	25.0	27.9	71.3	27.6	426.0	6	4	7	南西
八月	上旬	28.2	24.7	26.4	84.4	26.2	467.1	1	4	9	南西
	中旬	28.1	24.1	26.0	83.8	25.3	577.5	1	3	10	南西
	下旬	30.8	25.1	28.0	77.3	27.4	7.0	9	2	2	南西
九月	上旬	32.4	26.7	29.5	71.7	28.3	30.5	10	…	2	南西
	中旬	32.4	26.4	29.3	72.6	28.2	11.5	9	1	3	北西
	下旬	31.9	25.2	28.8	71.5	27.4	164.8	9	1	3	北西
十月	上旬	32.2	25.9	29.5	74.5	26.9	97.0	7	1	3	南西
	中旬	28.8	21.2	25.3	70.6	25.1	…	10	…	…	北西
	下旬	31.0	21.1	26.6	64.3	24.3	…	11	…	…	北西
十一月	上旬	29.4	22.5	26.2	74.7	24.1	10.5	8	1	1	北西
	中旬	26.5	18.1	22.4	69.1	20.9	…	8	2	…	北西
	下旬	25.2	17.2	21.4	69.0	20.2	…	6	4	…	北西
十二月	上旬	26.1	19.0	22.6	70.7	20.3	8.0	9	…	1	北西
	中旬	27.0	19.4	23.4	71.7	21.2	…	10	…	…	北西
	下旬	22.2	15.2	18.9	72.8	19.3	…	11	…	…	北西

月別	旬別	氣溫 C° 平均最高	平均最低	平均	平均濕度	平均地溫	雨量	天候 晴天日數	曇天日數	降雨日數	最多風向
		度	度	度	%	度	mm	日	日	日	
一月	上旬	23.3	15.0	19.2	70.5	18.3	…	10	…	…	北西
	中旬	23.1	14.4	18.9	68.5	17.8	…	10	…	…	北西
	下旬	24.3	16.7	19.9	78.0	18.8	…	11	…	…	北西
二月	上旬	24.2	13.6	19.0	68.1	18.7	…	10	…	…	北西
	中旬	25.7	14.1	20.4	64.5	18.9	…	10	…	…	北西
	下旬	26.6	16.0	21.9	65.0	20.3	..	8	…	…	北西
三月	上旬	27.8	18.0	23.8	59.8	21.8	…	10	…	…	北西
	中旬	23.0	15.7	18.9	72.8	19.8	27.7	4	6	4	北西
	下旬	26.4	19.2	23.1	76.1	21.8	40.0	8	2	3	北西

備考　1　平均地溫ハ十糎、二十糎、三十糎ノ平均ヲ示セリ

2　天候欄中晴天日數ハ終日晴レタル日、曇天日數ハ平均雲量八以上ノ日、降雨日數ハ一日一粍以上降雨アリタル日ヲ示セリ

農　藝　部

農　藝　部

第一　甘　藷

耕　種　梗　概

苗　床

整　地　四月五日排水良好ナル圃地ヲ選ビ、深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ叮嚀ニ土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ナラシメ、幅一〇〇糎トシ高サ四〇糎内外ノ高畦ヲ作リ、株間三〇糎、深サ一五糎ノ植穴ヲ掘リ種伏ニ便ナラシメタリ

選　種　種藷ノ大サ中位ニシテ形狀、外皮ノ色、其ノ他品種固有ノ特徴アルモノヲ選ベリ

種伏期　四月八日

種伏法　整地ノ際造リタル植穴ヘ種藷ヲ挿込ミ、頂部ヲ少シク細土ヲ以テ覆ヒ、其ノ上ニ藁ヲ藷ノ見エザル程度ニ覆ヘリ

發　芽　發芽始　四月三十日、發芽終　五月十日

除　草　五月五日ヨリ八月十日迄適宜之ヲ行ヘリ

肥　料　施用セズ

苗ノ增殖　苗床ニ於ケル發芽並ニ生育狀態ハ何レモ優良ナリシモ、所要本數多キト、全試驗區共苗ヲ一定スル目的ヲ以テ、蔓ノ先端部ノミ三〇糎内外ヲ採ル必要上ヨリ、前述ノ苗ヲ更ニ各品種共〇・三「アール」宛本圃同樣ノ耕種ニヨリ、六月五日挿植ヲナシ苗ノ增殖ヲナセリ、挿植後ノ活着並ニ生育狀態共ニ良好ニシテ目的ノ良苗ヲ得タリ

本　圃

整　地　綠肥栽培跡地其ノ他地力均一ナリト思ハルヽ圃場ヲ深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ碎キ、更ニ改良犁ニテ數回往復

シ、豫定ノ高畦ヲ造リ後鍬ニテ手直シヲナセリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量		
				窒素	燐酸	加里
	kg		kg	kg	kg	kg
堆肥	11,200	…	11,200	56.00	29.12	70.58
硫酸アンモニア	140	…	140	28.84	…	…
過燐酸石灰	120	…	120	…	22.80	…
硫酸加里	120	…	120	…	…	57.60
計	…	…	…	84.84	51.92	128.18

採　苗　各品種共蔓ノ先端部ヨリ五節ヲ有スルモノヲ種苗トセリ

畦幅及株間　畦幅一〇〇糎　株間三〇糎

挿植法　先端部一〇糎ヲ出シ斜ニ挿シ覆土セリ　（船底植）

管　理

作業別 ＼ 試験別	簽用品種試験 甲組	簽用品種試験 乙組	食卓用品種試験
	月日	月日	月日
中耕除草 第一回	10.24	10.25	10.26
中耕除草 第二回	12.25	12.26	12.27
培土	10.28	10.29	10.30
蔓返シ 第一回	11.14	11.15	11.16
蔓返シ 第二回	1.15	1.16	1.17

一品種試驗

目　的　當場育成品種ヲ始メ州ノ内外ヨリ蒐集セル品種ニ就キ、生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ各種用途ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ、圃場ノ異ナル毎ニ標準品種ヲ栽培セリ

供試品種　簽用十品種、食卓用十品種

作　況　苗ノ生育ハ各區共良好ニシテ良苗ヲ得クリ、本圃ニ於テハ挿植前後降雨アリタルタメ活着良好ナリシモ、其ノ後十一月ヨリ翌年二月迄ハ例年ニ比シ降雨少ナク、爲ニ土地乾燥甚シク爾後ノ生育ハ頗ル不良ナル結果ヲ示セリ「いものめいが」ノ被害ハ相當有リタルモ、「ありもどきぞうむし」ノ被害ハ稍少ナカリキ

成　績　「ヘクタール」當　（甲乙二組ノ平均數）

製簽用品種試驗　（挿植期九月十三日　收穫期三月二十九日）

品種名	塊根收量 上藷	塊根收量 屑藷	塊根收量 計	生莖葉收量	簽收量及歩留 簽收量	簽收量及歩留 歩留	七ケ年平均收量 塊根	七ケ年平均收量 簽
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg	kg
昭五雜一號	19,152	3,024	22,176	11,424	6,498	29.3	25,745（五ケ年）	8,395（五ケ年）
昭五實三號	25,200	3,528	28,728	5,712	7,354	25.6	30,599	7,831
昭六實二號	18,312	2,525	20,837	12,768	6,543	31.4	25,277	7,917
昭六實三號	27,914	1,512	28,728	8,064	7,268	25.3	26,994	7,448
昭六實四號	21,000	2,184	23,184	13,440	7,025	30.3	26,514	7,771
昭七實三號	22,680	2,856	25,536	18,144	7,431	29.1	30.078（五ケ年）	8,573（五ケ年）
昭七實十號	25,032	2,024	28,056	1,515	8,866	31.6	29,820（五ケ年）	9,142（五ケ年）
昭八實十五號	20,328	1,680	23,008	11,424	7,248	31.5	25,783（四ケ年）	8,009（四ケ年）
臺農第十號	24,194	4,536	28,720	15,120	8,444	29.4	27,987	7,418
嘉義種	30,240	4,872	35,042	28,224	10,337	29.5	34,855	9,407（三ケ年）

食卓用品種試驗　（挿植期九月十五日　收穫期四月十日）

品種名	塊根收量 上藷	塊根收量 屑藷	塊根收量 計	生莖葉收量	簽收量及歩留 簽收量	簽收量及歩留 歩留	七ケ年平均收量 塊根	七ケ年平均收量 簽
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg	kg
オイラン埼玉二號	13,440	2,350	15,790	6,720	5,084	32.2	19,729（五ケ年）	6,971（五ケ年）
オイラン埼玉一號	13,944	2,352	16,296	8,736	5,410	33.2	19,133（五ケ年）	6.769（五ケ年）
花魁	19,560	2,688	22,248	10,080	8,048	35.8	20,011	7,327
臺農第二十二號	18,648	4,536	23,184	14,448	8,764	37.8	20,049	7,435
臺農第二十一號	16,632	2,688	19,320	26,880	7,148	37.0	18,288	7,111

品種名	塊根收量			生莖葉收量	簽收量及歩留		七ケ年平均收量	
	上藷	屑藷	計		簽收量	歩留	塊根	簽
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg	kg
昭六實八號	11,928	2,856	14,784	10,864	5,086	34.4	17,588	6,261
昭六實十三號	15,288	3,024	18,312	10,416	7,032	38.4	18,012	6,504
在來英國	12,600	2,744	15,344	10,080	5,585	36.4	15,177	5,716
砂糖	7,728	840	8,568	15,456	3,393	39.6	10,593 (五ケ年)	4,206 (五ケ年)
昭九實十一號	13,272	3,024	16,296	10,080	5,997	36.8	20,454 (三ケ年)	7,738 (三ケ年)

本年度ノ成積ヲ見ルニ、苗ノ活着良好ナリシモ、其ノ後十一月ヨリ翌年二月迄ハ例年ニ比シ降雨少ナク旱害ヲ受ケタルタメ、收穫當時ノ生莖葉及塊根收量ハ前年度ニ比シ減少セリ

而シテ簽用品種ニ於テ、塊根收量最モ多シリハ嘉義種ニシテ、標準區臺農第十號ニ比シ二割强ノ增收ヲ示シ、昭五實三號、昭六實三號、臺農第十號、昭七實十號昭七實三號等順次之ニ次ゲリ、又簽收量ニ於テ、最モ多カリシハ嘉義種ニシテ、昭七實十號、臺農第十號、昭七實三號、昭五實三號、臺六實三號等順次之ニ次ゲリ

食卓用品種中ニ於テハ、臺農第二十二號收量最モ多ク、花魁、臺農第二十一號、昭六實十三號、オイラン埼玉一號、昭九實十一號等順次之ニ次ギ、收量多ク且ツ食味優良ナルモノハ同ジク臺農第二十二號、花魁、臺農第二十一號、臺六實十三號オイラン埼玉一號、昭九實十一號等ナリキ

七ケ年平均塊根收量ヲ見ルニ、簽用品種ニ於テハ嘉義種(三ケ年)、昭五實三號、昭七實三號(五ケ年)、昭七實十號(五ケ年)等多ク、食卓用品種ニアリテハ昭九實十一號(三ケ年)、臺農第二十二號、花魁、オイラン埼玉二號等多カリキ

二 地 方 試 驗

(一) 品 種 試 驗

目　的　當場ニ於テ品種試驗ノ結果優良ナリト認メタル品種ニ付、土性、土

質及氣象ヲ異ニスル地方ニ於テ試作ヲ行ヒ、生育收量及簽ノ歩留、品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ其ノ地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

耕種梗概　當場品種試驗ニ準ゼリ

試驗地　東石郡朴子街

土質其ノ他　試驗地ハ砂質壤土ニシテ排水良好ナリ　前作物ハ水稻ニシテ（嘉南大圳通水區域）收穫跡地ヲ排水シ整地ヲナシタリ

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　二十二品種

內嘉義種ハ同地方ニ於テ現在多ク栽培セラレツヽアルヲ以テ比較ノタメ加ヘタリ

作況　苗ハ當場ヨリ持參セルモノニシテ良苗ナリシヲ以テ、挿植後ノ活着宜シク又缺損株少ナク良好ナリキ

管理　中耕、除草、培土、蔓返シハ各二回行ヒタリ

成績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（挿植期十月十日 收穫期五月二十四日）

品種名	塊根收量			生莖葉收量	簽收量及歩留		五ケ年平均塊根收量
	上藷	屑藷	計		簽收量	歩留	
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg
嘉義種	50,160	2,640	52,800	34,650	13,200	25.0	38,756
臺農第十六號	23,100	1,320	24,420	33,660	7,253	29.7	27,098
昭六實四號	39,600	1,650	41,250	29,700	11,138	27.0	33,679
昭五實三號	23,760	1,980	25,740	7,920	6,468	25.2	26,603
臺農第十九號	25,740	1,980	27,720	47,520	9,092	32.8	27,633
昭六實三號	35,640	1,980	37,620	32,670	9,781	26.0	30,280
臺農第十號	35,640	990	36,630	25,740	10,330	28.2	27,935
昭七實十號	32,340	330	32,670	26,730	10,258	31.4	28,145 (四ケ年)
昭七實三號	30,360	2,640	33,000	34,650	9,306	28.2	21,415 (四ケ年)
昭八實三十號	23,760	330	24,090	18,810	5,155	21.4	23,767 (三ケ年)
昭八實十五號	27,060	3,300	30,360	19,800	8,319	27.4	30,183 (三ケ年)
昭六實二號	26,400	330	26,730	19,800	8,928	33.4	28,023 (三ケ年)

品種名	塊根收量 上藷	塊根收量 屑藷	塊根收量 計	生莖葉收量	簽收量及歩留 簽收量	簽收量及歩留 歩留	五ケ年平均塊根收量
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg
昭五雜一號	38,940	900	39,530	35,640	11,701	29.6	31,201 (三ケ年)
昭八實三十四號	36,400	550	31,900	29,700	9,060	28.4	2,3357 (二ケ年)
昭八實四十號	22,440	2,750	25,190	25,740	6,650	26.4	25,465 (二ケ年)
昭八實五十三號	23,100	2,750	25,850	35,640	6,152	23.8	27,280 (二ケ年)
昭九實三號	19,470	2,750	22,220	35,640	5,155	23.2	…
昭九實七號	28,880	3,300	32,280	37,600	7,037	21.8	…
昭九實八號	31,680	2,750	34,430	22,770	10,604	30.8	…
昭九實九號	19,800	2,200	22,000	33,660	6,116	27.8	…
昭九實十一號	17,160	2,750	19,910	39,600	6,650	33.4	…
昭九實十二號	30,360	2,200	32,560	35,600	8,726	26.8	…

本年度ノ成績ヲ見ルニ、挿植後活着良好ナリシモ、其ノ後降雨少ナク旱害ヲ受ケタリ　而シテ三月中旬ヨリ收穫ニ至ルマデ屢々降雨アリタルタメ、其ノ生育ハ俄カニ旺盛トナリタルヲ以テ、收穫當時ノ生莖葉收量、塊根收量共ニ例年ニ比シ稍増加セリ　而シテ供試品種中塊根收量最モ多カリシハ嘉義種ニシテ、昭六實四號昭五雜一號、昭六實三號、臺農第十號、昭九實八號等順次之ニ次ゲルモ、簽收量ニ於テハ嘉義種最モ多ク、昭五雜一號、昭六實四號、昭九實八號、臺農第十號、昭七實十號等順次之ニ次ゲリ

五ケ年平均塊根收量ヲ見ルニ、嘉義種最モ多ク、昭六實四號、昭五雜一號（三ケ年）、昭六實三號、昭八實十五號（三ケ年）、昭七實十號（四ケ年）等之ニ次ゲリ

二　アルカリ土壤適應品種選出試驗

目　的　廣ク州下海岸地方ニ存在スル「アルカリ」土壤ニ適スル甘藷ノ優良品種ヲ得ントス

耕種梗概　當場品種試驗ニ準ゼリ

試驗地　北門郡佳里街

土質其ノ他　試驗地ハ砂質壤土ニシテ、乾燥期ニハ鹽分ガ地表一面ニ白ク降霜セルガ如ク現ハル、前作ハ黄麻ニシテ地味ハ中位、地力ハ概シテ均一ナリ　同地方ハ主トシテ甘藷作ニシテ、甘蔗、水稻及甘藷ノ輪作ヲ主トシ、尙試驗地附近ノ强鹽分地中ニハ甘藷枯死シ生育ゼルモノアリ

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　三十品種

作　況　苗ハ當場ヨリ持參シテ挿植シタルモ、比較的土壤水分アリシヲ以テ活着良好ナリシガ、其ノ後三月下旬並ニ四月中旬ニ降雨アリタル外全生育期間ヲ通ジ降雨殆ンド無ク生育稍々不良ナリキ

管　理　中耕、除草等各二回、蔓返シハ三回行ヒタリ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（挿植期九月五日　收穫期四月二十六日）

品種名	塊根收量 上藷	塊根收量 屑藷	塊根收量 計	生莖葉收量	簽收量及歩留 簽收量	簽收量及歩留 歩留	六ケ年平均塊根收量
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg
臺農第八號	8,064	2,352	10,416	28,560	2,771	26.6	23,274
臺農第九號	29,960	6,440	36,400	26,880	10,847	29.8	33,177
臺農第十號	21,000	9,072	30,072	16,800	7,217	24.0	25,650
臺農第十六號	28,000	4,368	32,368	40,320	8,998	27.8	24,643
臺農第十七號	17,976	8,064	26,040	15,120	8,854	34.0	24,871
臺農第十九號	33,040	7,560	40,600	36,960	11,385	28.0	34,082 (五ケ年)
昭五雜一號	12,432	8,400	20,832	26,880	7,208	34.6	19,231 (二ケ年)
昭五實三號	23,856	7,728	31,584	16,800	8,970	28.4	30,247 (三ケ年)
昭六實二號	20,160	2,688	22,848	18,480	7,768	34.0	24,306 (二ケ年)
昭六實三號	16,800	1,680	18,480	15,154	5,396	29.2	22,819 (三ケ年)
昭六實四號	26,800	4,704	31,584	13,440	11,244	35.6	25,608 (四ケ年)
昭七實三號	10,752	3,864	14,616	15,120	5,174	35.4	20,464 (三ケ年)
昭七實十號	18,144	4,704	22,848	13,440	7,997	35.0	27,614 (三ケ年)
昭八實十五號	25,536	4,200	29,736	16,800	9,040	30.4	34,904 (二ケ年)
昭八實三十號	13,440	2,352	15,792	10,080	4,169	26.4	20,892 (二ケ年)
烏葉	17,472	3,864	21,336	11,760	6,315	29.6	29,819
幼藤仔	28,896	672	29,568	10,080	7,983	27.0	26,821

品種名	塊根收量 上藷	塊根收量 屑藷	塊根收量 計	生莖葉收量	簽收量及步留 簽收量	簽收量及步留 步留	六ケ年平均塊根收量
	kg	kg	kg	kg	kg	%	kg
應菜葉	21,168	4,368	25,536	15,120	7,763	30.4	26,957
芋變	19,488	2,688	22,176	10,080	5,540	25.0	26,022
紅丹	21,840	1,008	22,848	13,440	6,260	27.4	23,690
澎湖紅	22,176	1,008	23,184	10,080	5,657	24.4	24,811
白和蘭	16,128	4,200	20,328	11,760	5,936	29.2	23,836
菱角	23,856	3,696	27,552	20,160	7,770	28.2	25,778
嘉義種	18,144	6,384	24,528	10,080	7,604	31.0	26,215 (四ケ年)
昭七實十四號	8,680	2,296	10,976	10,080	2,744	25.0	19,234 (三ケ年)
昭八實十一號	11,760	2,520	14,280	10,080	4,998	35.0	19,709 (三ケ年)
昭八實三十四號	11,984	672	12,656	10,080	3,594	28.4	15,981 (三ケ年)
昭八實五十三號	12,432	3,024	15,456	10,080	4,575	29.6	19,346 (四ケ年)
昭九實八號	7,224	7,728	14,952	16,800	3,588	24.0	19,389 (二ケ年)
昭九實十一號	11,088	3,360	14,448	13,440	4,912	34.0	16,344 (二ケ年)

本年度ノ成績ヲ見ルニ、苗ハ活着良好ナリシモ其ノ後降雨少ナカリシタメ、生育不良ニシテ收穫當時ノ生莖葉收量及塊根收量共ニ例年ニ比シ減少セリ　而シテ供試品種中塊根收量最モ多カリシハ、臺農第十九號、臺農第九號、臺農第十六號、昭六實四號等ニシテ、昭五實三號、臺農第十號、昭八實十五號等之ニ次ゲリ

六ケ年平均塊根收量ヲ見ルニ、昭八實十五號(二ケ年)、臺農第十九號(五ケ年)、臺農第九號、昭五實三號(三ケ年)、烏葉、昭七實十號(三ケ年)等之ニ次ギ、大體之等ノ品種ハ鹽分ニ對スル抵抗性強キモノヽ如シ

第二　甘　蔗

一　甘蔗作ニ對スル棉間作利害試驗

目　的　甘蔗作ニ棉ヲ間作スル場合ノ利害關係ヲ知ラントス

耕種梗概　甘蔗ハ畦幅一二〇糎、株間三〇糎トシ、棉ハ甘蔗ノ各畦間ニ一列又

ハ一畦置ニ一列間作シ、株間一本仕立區ハ二五糎、二本仕立區ハ三〇糎トセリ

但シ一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一五〇糎)ハ甘蔗ノ畦幅ヲ一五〇糎、株間四〇糎ノ二條植トセリ

甘蔗ノ「ヘクタール」當施量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
大豆粕	563	…	563	36.14	7.43	10.53
硫酸アンモニア	…	563	563	115.98	…	…
過燐酸石灰	375	…	375	…	71.25	…
硫酸加里	113	…	113	…	…	54.24
計	…	…	…	152.12	78.68	64.77

棉ノ施肥量ハ品種試驗ニ準ゼリ

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ一「アール」トセリ

區名	試驗區別 其ノ一	其ノ二	其ノ三	其ノ四	其ノ五	其ノ六	其ノ七
第一區	甘蔗單作區	甘蔗單作區	甘蔗單作區	甘蔗單作區	甘蔗單作區	甘蔗單作區	甘蔗單作區
第二區	一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區	一畦置一列間作二本仕立區
第三區	一列間作一本仕立區	一列間作一本仕立區	一列間作二本仕立區(棉無肥料)	一列間作一本仕立區	一列間作一本仕立區	一列間作一本仕立區	一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一五〇糎)
第四區	一畦置一列間作二本仕立區	一畦置一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區(甘蔗切採)	一畦置一列間作二本仕立區	一畦置一列間作二本仕立區	一畦置一列間作二本仕立區	一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一二〇糎)
第五區	棉單作區	棉單作區	一列間作一本仕立區	棉單作區	棉單作區	棉單作區	—
第六區	棉單作區跡地甘蔗單作區	棉單作區跡地甘蔗單作區	一畦置一列間二本仕立區	棉單作區跡地甘蔗單作區	棉單作區跡地甘蔗單作區	棉單作區跡地甘蔗單作區	—
第七區	—	—	棉單作區	—	—	—	—
第八區	—	—	棉單作區跡地甘蔗單作區	—	—	—	—

供試品種　甘蔗　爪哇實生二七二五號(其ノ一、其ノ二、其ノ三、其ノ五、其ノ六其ノ七) F 一〇八號(其ノ四)

棉　陸地棉エキスプレス

作　況　甘蔗ハ昭和十二年七月十九日(其ノ一)、八月二十日(其ノ二)、九月十三日(其ノ三)、九月十九日(其ノ四)、十月十五日(其ノ、五其ノ六)九月十四日(其ノ七)ニ挿植シ、活着發芽共ニ良好ニシテ、各區共中耕除草三回、培土三回ヲ行ヒ何レモ生育良好ナリキ、收穫ハ十四年一月二十五日ヨリ一月三十一日迄ニ行ヘリ

棉ハ昭和十二年六月二十四日(其ノ一)、六月二十五日(其ノ二、其ノ三)、六月二十六日(其ノ四)六月二十八日(其ノ五)、八月二十六日(其ノ六)、六月二十九日(其ノ七)ニ播種シ、發芽良好ニシテ順調ナル生育ヲ續ケタルモ、六月下旬ヨリ八月上旬ニ亘ル長期ノ降雨ニヨリ、生育ヲ阻害セラレタル事大ナリキ、然レ共其ノ後ノ天候恢復ト共ニ、生育モ漸次良好トナレリ、間引二回、中耕及除草二回、培土二ヲ行ヒ、十二年十二月上旬(其ノ一、其ノ二、其ノ三、其ノ四、其ノ五、其ノ七)十三年二月中旬(其ノ六)ニ何レモ收穫ヲ終了スルヲ得タリ

成　績　「ヘクタール」當(甲乙二組ノ平均數)

(イ) 棉　收　量　表

其ノ一 (昭和十二年六月二十四日播種 同　年十二月一日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數	二ケ年平均繰綿收量	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg		kg	
一列間作二本仕立區	108.0	2,716	1,170	51	1,221	31.8	26.0	372	13	385	63.6	487	75.5
一列間作一　仕立區	115.3	2,181	1,165	43	1,208	32.0	26.5	373	11	384	63.5	460	71.3
一畦置一列間作二本仕立區	108.4	1,164	699	30	729	32.0	26.0	227	8	335	38.8	299	46.4
棉單作區	101.3	2,755	1,814	99	1,913	32.0	25.0	580	25	605	100.0	645	100.0

其ノ二 (昭和十二年六月二十五日播種 同　年十二月一日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數	四ケ年平均繰綿收量	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg		kg	
一列間作二本仕立區	116.8	2,897	1,439	85	1,524	31.8	25.5	458	22	480	73.2	522	75.3
一列間作一本仕立區	122.0	2,558	1,437	63	1,500	31.5	27.0	453	17	470	71.6	462	66.7
一畦置一列間作二本仕立區	119.7	1,506	868	46	914	32.0	28.0	278	13	291	44.4	307	44.3
棉單作區	109.0	3,281	1,950	124	2,074	32.0	25.5	624	32	656	100.0	693	100.0

其ノ三 (昭和十二年六月二十五日播種 同　年十二月一日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數	六ケ年平均繰綿收量	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg		kg	
一列間作二本仕立區	122.0	2,870	1,743	59	1,802	31.5	26.5	549	16	565	76.5	485	68.5
一列間作二本仕立區(棉無肥料)	80.7	1,417	918	58	976	31.5	24.5	289	14	303	41.0	333 (三ケ年)	47.1
一列間作二本仕立區(甘蔗切採)	117.3	2,738	1,628	45	1,673	32.0	26.0	521	12	533	72.1	545 (二ケ年)	77.0
一列間作一本仕立區	116.4	2,614	1,628	50	1,678	31.8	25.0	518	13	531	71.9	460 (四ケ年)	65.0
一畦置一列間作二本仕立區	113.6	1,312	883	25	908	31.5	26.5	278	7	285	38.6	303 (三ケ年)	42.8
棉單作區	105.1	2,947	2,220	64	2,284	32.5	26.0	722	17	739	100.0	708 (五ケ年)	100.0

其ノ四 (昭和十二年六月二十六日播種 同　年十二月二日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	
一列間作二本仕立區	121.5	3,019	1,403	34	1,437	32.0	25.0	449	9	458	85.1
一列間作一本仕立區	118.1	2,665	1,496	46	1,542	31.5	26.0	471	12	483	89.8
一畦置一列間作二本仕立區	111.5	1,323	750	39	789	32.0	24.0	240	9	249	46.3
棉單作區	111.4	2,997	1,673	41	1,714	31.5	26.0	527	11	538	100.0

其ノ五 (昭和十二年 六 月二十八日播 種 / 同 年十二月 二 日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數	四ケ年平均繰綿收量	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg		kg	
一列間作二本仕立區	108.5	2,290	1,609	74	1,683	33.0	27.0	531	20	551	71.2	502	69.2
一列間作一本仕立區	106.6	2,031	1,528	42	1,570	33.0	28.0	504	12	516	66.7	470 (三ケ年)	64.8
一畦置一列間作二本仕立區	108.1	1,269	796	13	809	33.0	26.3	263	4	267	34.5	282	38.9
棉單作區	92.1	3,021	2,222	108	2,330	33.5	28.0	744	30	774	100.0	725	100.0

其ノ六 (昭和十二年 八 月二十六日播 種 / 同 十三年 二 月十 二 日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數	四ケ年平均繰綿收量	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg		kg	
一列間作二本仕立區	76.3	2,542	632	70	702	33.2	16.6	233	12	245	87.5	249	83.3
一列間作一本仕立區	72.4	1,991	462	67	529	32.7	15.0	173	8	181	64.6	225 (三ケ年)	75.2
一畦置一列間作二本仕立區	86.6	998	175	28	203	32.0	16.0	65	3	68	24.3	106 (三ケ年)	35.5
棉單作區	73.0	2,779	703	109	812	33.0	15.0	268	12	280	100.0	299	100.0

其ノ七 (昭和十二年 六 月二十九日播 種 / 同 年十二月 二 日收穫濟)

試驗區別	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量指數
	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	
一畦置一列間作二本仕立區	121.4	1,222	1,038	17	1,055	33.0	26.0	343	4	347	60.9
一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一五〇糎)	119.0	2,023	1,556	29	1,585	32.0	28.0	498	8	506	88.8
一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一二〇糎)	112.0	2,400	1,720	41	1,761	32.5	28.0	559	11	570	100 0

(ロ) 甘蔗收量表

其ノ一 (昭和十二年七月十 九 日植付 / 同 十四年一月二十七日收穫) 爪哇實生二七二五號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數	二ケ年平均收量	收量指數
	m	m	%		本	kg		kg	
甘蔗單作區	3.23	1.33	2.9	…	62,100	146,700	100.0	148,275	100.0
一列間作二本仕立區	3.71	1.37	2.2	…	61,200	128,700	87.7	131,850	88.9
一列間作一本仕立區	3.52	1 35	2.2	…	60,750	131,400	89.6	130,700	88.1
一畦置一列間作二仕立區	3.58	1.28	2.1	…	63,000	143,550	97.9	143,025	96.5
棉單作區跡地甘蔗單作區	2.61	1.41	3.1	…	57,150	90,000	61.3	86,810	58.5

其ノ二 (昭和十二年八月二 十 日植付 / 同 十四年一月二十六日收穫) 爪哇實生二七五號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數	四ケ年平均收量	收量指數
	m	m	%		本	kg		kg	
甘蔗單作區	3.53	1.35	2.9	…	61,650	143,100	100.0	130,188	100.0
一列間作二本仕立區	3.38	1.36	2.8	…	64,360	127,350	89.0	120,398	92.5
一列間作一本仕立區	3.65	1.49	2.2	…	61,200	128,700	89.9	118,946	91.4
一畦置一列間作二仕立區	3.46	1.34	3.6	…	62,550	140,400	98.1	129,299	99.3
棉單作區跡地甘蔗單作區	2.79	1.53	2.4	…	55,350	88,200	61.6	85,646 (三ケ年)	65.8

其ノ三 (昭和十二年九月十三日植付 / 同 十四年一月三十日收穫) 爪哇實生二七二五號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數	六ケ年平均收量	收量指數
	m	m	%		本	kg		kg	
甘蔗單作區	3.18	1.29	2.2	…	61,650	127,800	100.0	123,456	100.0
一列間二本仕立區	3.16	1.30	2.2	…	60,300	117,900	92.3	121,609	98.5
一列間作二本仕立區(棉無肥料)	3.23	1.31	2.3	…	59,850	114,750	89.8	118,370 (三ケ年)	95.9
一列間作二本仕立區(甘蔗切採)	3.33	1.32	3.0	…	60,300	111,600	87.3	113,175 (二ケ年)	91.7
一列間作一本仕立區	3.41	1.30	2.3	…	58,950	115,650	90.5	118,088 (四ケ年)	95.7
一畦置一列間作二本仕立區	3.37	1.33	2.2	…	62,100	126,450	98.9	133,787 (三ケ年)	108.4
棉單作區跡地甘蔗單作區	3.20	1.38	1.6	…	55,800	87,750	68.7	85,901 (三ケ年)	69.6

其ノ四 (昭和十二年九月十九日植付 同十四年一月二十五日收穫) F一〇八號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數
	m	m	%	本	本	kg	
甘蔗單作區	3.67	1.49	…	…	66,150	153,900	100.0
一列間作二本仕立區	4.21	1.59	…	…	65,700	153,000	99.4
一列間作一本仕立區	4.08	1.67	…	…	64,350	148,500	96.5
一畦置一列間作二本仕立區	3.05	1.36	…	…	61,650	154,350	100.3
棉單作區跡地甘蔗單作區	2.96	1.42	…	…	52,200	108,450	70.5

其ノ五 (昭和十二年十月十五日植付 同十四年一月二十九日收穫) 爪哇實生二七二五號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數	四ケ年平均收量	收量指數
	m	m	%		本	kg		kg	
甘蔗單作區	3.35	1.35	2.2	…	61,650	109,800	100.0	116,402	100.0
一列間作二本仕立區	3.33	1.34	1.5	…	60,750	105,750	96.3	114,904	98.7
一列間作一本仕立區	3.30	1.31	1.5	…	59,850	108,450	98.8	117,729 (三ケ年)	101.1
一畦置一列間作二本仕立區	3.00	1.29	2.3	…	59,400	108,900	99.2	119,483	102.6
棉單作區跡地甘蔗單作區	2.97	1.36	4.0	…	56,700	85,950	78.3	87,041 (三ケ年)	74.8

其ノ六 (昭和十二年十月十五日植付 同十四年一月二十八日收穫) 爪哇實生二七二五號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數	四ケ年平均收量	收量指數
	m	m	%		本	kg		kg	
甘蔗單作區	2.85	1.31	3.6	…	62,100	123,300	100.0	119,094	100.0
一列間作二本仕立區	3.14	1.41	3.0	…	60,300	104,850	85.0	106,059	89.1
一列間作一本仕立區	3.10	1.31	2.3	…	57,600	108,900	88.3	107,990 (三ケ年)	90.7
一畦置一列間作二本仕立區	3.48	1.37	2.2	…	60,750	112,500	91.2	117,108 (三ケ年)	98.3
棉單作區跡地甘蔗單作區	2.39	1.43	1.2	…	54,000	69,750	56.6	71,775 (二ケ年)	60.3

其ノ七 (昭和十二年九月十四日植付 同十四年一月二十九日收穫) 爪哇實生二七二五號

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗歩合	欠損株數	總本數	總收量	收量指數
	m	m	%		本	kg	
甘蔗單作區	3.38	1.33	2.9	…	62,550	121,050	100.0
一畦置一列間作二本仕立區	2.95	1.33	3.0	…	59,400	128,700	106.3
一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一五〇糎)	3.52	1.31	1.9	…	95,400	149,040	123.1
一列間作二本仕立區(甘蔗畦幅一二〇糎)	3.40	1.30	…	…	56,700	110,250	91.1

本年度ノ成績ヲ見ルニ

其ノ一 (棉 六月下旬播種 甘蔗七月中旬植付) 爪哇實生二七二五號

甘蔗作ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ八七・七、一列間作一本仕立區ハ八九・六、一畦置一列間作二本仕立區ハ九七・九、棉單作區跡地甘蔗單作區ハ六一・三ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、單作區ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ六三・六、一列間作一本仕立區ハ六三・五、一畦置一列間作二本仕立區ハ三八・八ヲ示セリ

其ノ二 (棉 六月下旬播種 甘蔗八月中旬植付) 爪哇實生二七二五號

甘蔗作ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ八九・〇、一列間作一本仕立區ハ八九・九、一畦置一列間作二本仕立區ハ九八・一、棉單作區跡地甘蔗單作區ハ六一・六ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、單作區ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ七三・二、一列間作一本仕立區ハ七一・六、一畦置一列間作二本仕立區ハ四四・四ヲ示セリ

其ノ三 (棉 六月下旬播種 甘蔗九月中旬植付) 爪哇實生二七二五號

甘蔗作ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ九二・三、一列間作二本仕立區(棉無肥料)ハ

八九・八、一列間作二本仕立區（甘蔗切採）ハ八七・三、一列間作一本仕立區ハ九〇・五、一畦置一列間作二本仕立區ハ九八・九、棉單作區跡地甘蔗單作區ハ六八・七ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、單作區ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ七六・五、一列間作二本仕立區（棉無肥料）ハ四一・〇、一列間作二本仕立區（甘蔗切採）ハ七二・一、一列間作一本仕立區ハ七一・九、一畦置一列間作二本仕立區ハ三八・六ヲ示セリ

其ノ四　（棉　六月下旬播種／甘蔗九月中旬植付）F一〇八號

甘蔗作ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ九九・四、一列間作一本仕立區ハ九六・五、一畦置一列間作二本仕立區ハ一〇〇・三、棉單作區跡地甘蔗單作區ハ七〇・五ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、單作區ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ八五・一、一列間作一本仕立區ハ八九・八、一畦置一列間作二本仕立區ハ四六・三ヲ示セリ

其ノ五　（棉　六月下旬播種／甘蔗十月中旬植付）爪哇實生二七二五號

甘蔗作ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ九六・三、一列間作一本仕立區ハ九八・八一畦置一列間作二本仕立區ハ九九・二、棉單作區跡地甘蔗單作區ハ七八・三ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、單作區ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ七一・二、一列間作一本仕立區ハ六六・七、一畦置一列間作二本仕立區ハ三四・五、ヲ示セリ

其ノ六　（棉　八月下旬播種／甘蔗十月中旬植付）爪哇實生二七二五號

甘蔗作ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區ハ八五・〇、一列間作一本仕立區ハ八八・三、一列間作二本仕立區ハ九一・二、棉單作區跡地甘蔗單作區ハ五六・六ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、單作區ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立

區ハ八七・五、一列間作一本仕立區ハ六四・六、一畦置一列間作二本仕立區ハ二四・三ヲ示セリ

其ノ七　（棉　六月下旬播種／甘蔗九月中旬植付）爪哇實生二七二五號

甘蔗ニアリテハ、單作ト間作トヲ比較スルニ、單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區（甘蔗畦幅一五〇糎）ハ一二三・一、一列間作二本仕立區（甘蔗畦幅一二〇糎）ハ九一・一、一畦置一列間作二本仕立區ハ一〇六・三ヲ示セリ

棉作ニアリテハ、一列間作二本仕立區（甘蔗畦幅一二〇糎）ノ繰綿收量ヲ一〇〇トシタル場合、一列間作二本仕立區（甘蔗畦幅一五〇糎）ハ八八・八、一畦置一列間作二本仕立區ハ六〇・九ヲ示セリ

第三　大小麥

耕種概概

整　地　九月上旬、綠肥（田菁）ヲ鋤込ミタル圃場ヲ更ニ深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ細碎シ、地表ヲ均一ナラシメタリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量		
				窒素	燐酸	加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	12,000	…	12,000	60.00	31.20	75.60
大豆粕	600	…	600	38.52	7.92	11.22
過燐酸石灰	300	…	300	…	57.00	…
人糞尿	…	3,000	3,000	17.10	3.90	8.10
計	…	…	…	115.62	100.02	94.92

畦幅及播幅　畦幅六〇糎、播幅二〇糎

種子ノ豫措日　銹病及黑穗病豫防ノ目的ヲ以テ、種子ハ播種前冷水溫湯浸法ヲ行ヘリ

播種量　「ヘクタール」當一〇〇立內外ノ割合ヲ以テセリ

播種法　基肥ヲ施シタル後淺キ作條ヲ作リ、之ニ播種シ薄ク覆土セリ

管　理　除草ハ十一月十三日ニ行ヒ、中耕培土ハ十一月二十四日、十二月十日ノ二回ニ行ヒ、追肥ハ十一月二十三日ニ施シ、銹病豫防ノ目的ヲ以テ出穗前二回一・七式銅石鹼液ヲ撒布セリ

尙出穗黃熟セル頃ヨリ鳥追小兒ヲ附添ハシメ、鳥害ヲ豫防セリ

一　品　種　試　驗

目　的　州下海岸地帶並ニ嘉南大圳通水區域內ノ雜作區ノ利用作物トシテ、麥ノ取入ハ相當有利ナルガ如ク考察セラルヽガ故ニ、之等ニ適スル優良品種ヲ得ントスル目的ヲ以テ、當場育成品種ヲ始メ州ノ內外ヨリ多數ノ品種ヲ蒐集シ、之ガ生育及收量等ノ優劣ヲ試査セントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　小麥十二品種、大麥三品種

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

小　麥　（播種期十月二十九日）

品種名	出穗期	成熟期	收量	收穫時稈長	一立重量	穗ノ調査 長サ	穗ノ調査 着粒數	七ケ年平均收量
	月日	月日	kg	cm	g	cm		kg
長崎小麥一號	12.18	2. 6	2,352	86.3	758	7.4	59.0	2,301（五ケ年）
臺南フロレンス一號	12.20	2.11	2,185	100.7	783	9.8	32.3	2,398
埼玉二七號	12.18	2. 3	2,592	85.0	778	8.7	34.3	2,386（五ケ年）
ハードホワイト	12.20	2.12	2,192	99.0	778	9.9	33.7	2,277
臺南三號	12.26	2.14	1,450	99.3	785	9.2	44.5	2,484（六ケ年）
ブサ四號	12.20	2.12	2,196	100.7	783	9.9	34.7	2,131（二ケ年）
江島神力	1. 9	2.27	1,481	107.3	775	9.5	46.8	2,163
一號熊本小麥	1. 7	2.27	905	91.0	770	7.5	61.3	2,068
ブサ一二號	1. 5	2.23	1,796	108.3	788	8.9	32.7	1,702（三ケ年）
臺南二號	1.26	3.13	1,685	102.5	730	10.2	33.6	2,174（六ケ年）
キヤンベリヤ	1 27	3. 6	822	103.2	750	9.0	26.0	1,575（六ケ年）
在來赤	1.18	3. 6	1,427	113.6	778	14.0	57.0	1,587

大　麥　（播種期十月二十九日）

品種名	出穗期	成熟期	收量	收穫時稈長	一立重量	穗ノ調査 長サ	穗ノ調査 着粒數	七ケ年平均收量
	月日	月日	kg	cm	g	cm		kg
在來種	12.28	2.19	2,075	90.7	573	10.6	58.0	2,363
臺南一號	1.10	2.27	1,926	85.3	570	8.0	50.7	2,392（六ケ年）
臺南二號	1. 6	2.27	2,442	84.7	575	9.7	47.0	2,709（六ケ年）

本年度ノ成績ヲ見ルニ、小麥ニ於テ收量最モ多カリシハ埼玉二七號ニシテ、長崎小麥一號、ブサ四號、「ハードホワイト」、臺南フロレンス一號等順次之ニ次ギ、大麥ニ於テハ臺南二號收量最モ多ク、在來種之レニ次ゲリ

次ニ七ケ年平均收量ニ於テハ、臺南三號（六ケ年）收量最モ多ク、臺南フロレンス一號、埼玉二七號（五ケ年）、長崎小麥一號（五ケ年）、「ハードホワイト」等順次之レニ次ギ、大麥ニアリテハ臺南二號（六ケ年）收量最モ多ク、臺南一號（六ケ年）、之レニ次ゲリ

二　小麥間作利害驗　（地方試驗）

A.　甘藷作ニ對スル小麥間作利害試驗

目　的　州下海岸地方ニ於テ、甘藷作ニ小麥ヲ間作スル場合ノ利害關係ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ一「アール」トセリ

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗

一　小麥單作區

二　甘藷九〇糎間作區

三　甘藷一二〇糎間作區

四　甘藷九〇糎單作區

五　甘藷一二〇糎單作區

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗

一　小麥單作區

二　甘藷九〇糎間作區

三　甘藷一二〇糎間作區

四　甘藷九〇糎單作區

五　甘藷一二〇糎單作區

供試品種　小麥　江島神力

甘藷　烏葉

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

試驗地　虎尾郡崙背庄

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗

小　麥　（播種期十月二十九日　收穫期三月十五日）

試驗區別	出穗期	成熟期	收量	收穫時稈長	一立重量	三ケ年平均收量
	月 日	月 日	kg	cm	g	kg
小麥單作區	1. 13	3. 15	827	86.0	750	1,064
甘藷九〇糎間作區	1. 13	3. 15	655	89.5	765	606
甘藷一二〇糎間作區	1. 13	3. 15	597	89.5	760	504

甘　藷　（挿植期十月二十日　收穫期五月十八日）

試驗區別	生莖葉收量	收穫時草丈	塊根收量			簽步留	三ケ年平均塊根收量
			上藷	屑藷	計		
	kg	cm	kg	kg	kg	%	kg
甘藷九〇糎間作區	4,222	67.5	6,889	1,482	8,371	27.0	12,136
甘藷一二〇糎間作區	3,167	70.0	5,611	1,556	7,167	27.0	10,571
甘藷九〇糎單作區	5,630	69.5	9,334	2,296	11,630	27.0	12,730
甘藷一二〇糎單作區	4,722	77.5	7,000	2,167	9,167	27.0	11,451

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗

小　麥　（播種期十月二十九日　收穫期三月十五日）

試驗區別	出穗期	成熟期	收量	收穫時稈長	一立重量	三ケ年平均收量
	月 日	月 日	kg	cm	g	kg
小麥單作區	1. 13	3. 15	964	85.8	750	1,281
甘藷九〇糎間作區	1. 13	3. 15	780	89.0	745	647
甘藷一二〇糎間作區	1. 13	3. 15	655	92.3	740	534

甘　藷　（挿植期十月二十日　收穫期五月十八日）

試驗區別	生莖葉收量	收穫時草丈	塊根收量			簽步留	三ケ年平均塊根收量
			上藷	屑藷	計		
	kg	cm	kg	kg	kg	%	kg
甘藷九〇糎間作區	3,482	63.0	10,667	1,333	12,000	27.0	15,698
甘藷一〇二糎間作區	2,834	66.0	7,667	1,278	8,945	27.0	12,926
甘藷九〇糎單作區	5,185	68.5	12,667	1,852	14,519	27.0	15,878
甘藷一二〇糎單作區	3,056	69.5	10,223	1,111	11,334	27.0	13,482

本年度ノ成績ニ於テ單作ト間作トヲ比較スルニ

小麥作ニアリテハ

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ收量ヲ一〇〇トシタル場合、甘藷九〇糎間作區ハ七九・二、甘藷一二〇糎間作區ハ七二・二ニシテ

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ收量ヲ一〇〇トシタル場合、甘藷九〇糎間作區ハ八〇・九、甘藷一二〇糎間作區ハ六七・九ヲ示セリ

甘藷作ニアリテハ

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ塊根收量ヲ一〇〇トシタル場合、甘藷九〇糎間作區ハ七二・〇、甘藷一二〇糎間作區ハ七八・二ニシテ

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ塊根收量ヲ一〇〇トシタル場合、甘藷九〇糎間作區ハ八二・七、甘藷一二〇糎間作區ハ七八・九ヲ示セリ

B.　甘蔗作ニ對スル小麥間作利害試驗

目　的　州下海岸地方ニ於テ、甘蔗作ニ小麥ヲ間作スル場合ノ利害關係ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ一「アール」トセリ

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗

一　甘蔗單作區

二　小麥一條播間作區

三　小麥一畦置一條播間作區

四　小麥單作區

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗

一　甘蔗單作區

二　小麥一條播間作區

三　小麥一畦置一條播間作區

四　小麥單作區

供試品種　小麥　江島神力

甘蔗　爪哇實生二七二五號

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

試驗地　虎尾郡崙背庄

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組平均數）

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗

小　麥　（播種期十月二十九日　收穫期三月十九日）

試驗區別	出穗期	成熟期	收量	收量時稈長	一立重量	三ケ年平收均量
	月日	月日	kg	cm	g	kg
小麥單作區	1. 13	3. 15	897	76.0	765	1,191
小麥一條播間作區	1. 13	3. 15	492	77.5	760	570
小麥一畦置一條播間作區	1. 13	3. 15	383	74.5	760	384

甘　蔗　（挿植期昭和十二年十月十四日　收穫期同十四年二月二十四日）

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗步合	總本數	總收量	三ケ年平均收量
	m	m	%	本	kg	kg
甘蔗單作區	2.165	1.135	77.0	53,887	110,923	95,431
小麥一條播間作區	2.150	1.120	77.0	45,184	94,071	83,656
小麥一畦置一條播間作區	2.180	1.120	79.0	41,666	83,218	82,525

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗

小　麥　（播種期十月二十九日　收穫期三月十九日）

試驗區別	出穗期	成熟期	收量	收穫時稈長	一立重量	三ケ年平均收量
	月日	月日	kg	cm	kg	kg
小麥單作區	1. 13	3. 15	960	79.0	765	1,360
小麥一條播間作區	1. 13	3. 15	614	80.0	765	647
小麥一畦置一條播間作區	1. 13	3. 15	376	73.0	755	420

甘　蔗　（挿植期昭和十二年十二月十四日　收穫期同十四年二月二十四日）

試驗區別	莖長	梢頭部	出穗步合	總本數	總收量	三ケ年平均收量
	m	m	%	本	kg	kg
甘蔗單作區	2.11	1.135	78.0	50,365	104,442	88,085
小麥一條播間作區	2.15	1.150	78.0	44,258	92,482	77,300
小麥一畦置一條播間作區	2.15	1.120	79.0	40,555	85,222	75,658

本年度ノ成績ニ於テ單作ト間作トヲ比較スルニ

小麥作ニアリテハ

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ收量ヲ一〇〇トシタル場合、小麥一條播間作區ハ五四・八、小麥一畦置一條播間作區ハ四二・七ニシテ

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ收量ヲ一〇〇トシタル場合、小麥一條播間作區ハ六四・〇、小麥一畦置一條播間作區ハ三九・二ヲ示セリ

甘蔗作ニアリテハ

（一）　風ノ方向ト直角ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、小麥一條播間作區ハ八四・八、小麥一畦置一條播間作區ハ七七・〇ニシテ

（二）　風ノ方向ト平行ニ栽培スル試驗ノ單作區ノ蔗莖收量ヲ一〇〇トシタル場合、小麥一條播間作區ハ八八・五、小麥一畦置一條播間作區ハ八一・六ヲ示セリ

第四 落花生

耕種梗概

整　地　深耕犁ヲ以テ二回耕起シタル後、刈耙及手耙ニテ土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ニセリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量 窒素	燐酸	加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	10,000	…	10,000	50.0	26.0	63.0
過燐酸石灰	300	…	300	…	57.0	…
硫酸加里	150	…	150	…	…	72.0
計	…	…	…	50.0	83.0	135.0

畦幅株間　畦幅大粒種ハ五〇糎、小粒種ハ四〇糎、株間大粒種ハ二五糎、小粒種ハ二〇糎トセリ

播種量及播種法　「アール」當大粒種ハ二・五立、小粒種ハ一・五立ノ割合ニテ一株ニ子實三・四粒宛ヲ點播シ鍬ヲ以テ覆土セリ

管　理　播種後十五日頃鍬ニテ中耕及除草ヲ兼ネ行ヒ、其後二回、鍬ニテ除草ヲセリ

尙結莢ヲ容易ナラシムルタメ培土ヲ行ヘリ

收　穫　葉色稍々黃色トナリ、且ツ硬化シ下部ヨリ落葉シ初メタル時收穫ニ着手セリ

一品種試驗

目　的　當場育成品種ヲ始メ、州ノ內外ヨリ蒐集セル品種ニ付、其ノ生育狀態收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　夏作二十六品種、冬作十五品種

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組平均數）

其ノ一　夏　作　（播種期三月十四日）

	品種名	收穫期	生莖葉收量	莢付收量 上莢	屑莢	計	子實收量 上	屑	計	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 上莢	屑莢	十一ケ年平均子實收量
		月日	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	%	%	kg
大粒種	山東省一等品選出	7.12	8,000	1,843	176	2,019	1,179	53	1,232	64	30	1,229
	達磨	〃	9,400	1,957	184	2,141	1,272	63	1,335	65	34	1,365 (八ケ年)
	膠州府產	〃	8,700	1,617	246	1,863	1,019	62	1,080	63	25	1,143 (六ケ年)
	直隸省御河沿岸	〃	7,700	1,468	200	1,668	949	66	1,016	64	33	1,154 (六ケ年)
	千葉中粒四三號	〃	9,300	1,758	251	2,009	1,125	88	1,213	64	35	1,209 (八ケ年)
	千葉大粒七四號	〃	9,000	1,492	243	1,735	955	97	1,052	64	40	1,161 (六ケ年)
	千葉中粒五五號	〃	8,300	1,554	249	1,803	1,011	82	1,092	65	33	1,246 (六ケ年)
	バーヂニヤ	〃	9,000	1,765	153	1,918	1,201	38	1,238	68	25	1,145 (五ケ年)
	立落花生	〃	8,700	1,820	100	1,920	1,183	35	1,218	65	35	1,351 (八ケ年)
	靜岡立性	〃	8,500	1,727	236	1,963	1,157	94	1,256	67	40	1,226 (八ケ年)
	擽枝仔豆	〃	9,600	1,925	95	2,020	1,309	28	1,337	68	30	1,293 (八ケ年)
	臺南第一號	7.7	8,000	1,986	127	2,113	1,291	43	1,334	65	34	1,294 (二ケ年)
	臺南第二號	〃	8,200	2,054	130	2,183	1,335	45	1,381	65	35	1,358 (二ケ年)
小粒種	バレンシヤ	7.2	7,300	2,636	124	2,760	1,872	52	1,924	71	42	1,257 (五ケ年)
	爪哇一號	〃	7,000	2,658	111	2,769	1,887	49	1,937	71	45	1,126
	爪哇三號	〃	7,300	2,644	110	2,754	1,904	44	1,947	72	40	1,152
	爪哇K第二號	〃	6,000	2,370	125	2,495	1,683	63	1,745	71	50	1,366 (四ケ年)
	爪哇K第三號	〃	5,800	2,470	130	2,600	1,778	57	1,836	72	44	1,405 (四ケ年)
	爪哇K第十號	〃	5,500	2,609	109	2,718	1,853	36	1,888	71	33	1,431 (四ケ年)
	爪哇K第十二號	〃	6,000	2,612	120	2,732	1,828	34	1,862	70	28	1,364 (四ケ年)
	爪哇K第十三號	〃	5,500	2,492	103	2,595	1,794	31	1,825	72	30	1,396 (四ケ年)
	爪哇K第十五號	〃	6,000	2,290	83	2,373	1,672	25	1,696	73	30	1,371 (四ケ年)
	白油豆第一號	〃	6,500	2,760	140	2,900	1,959	56	2,016	71	40	1,652 (四ケ年)
	白油豆第二號	〃	6,300	3,080	166	3,246	2,156	69	2,226	70	42	1,647 (四ケ年)
	白油豆第五號	〃	6,000	2,729	139	2,862	1,965	48	2,014	72	35	1,556 (四ケ年)
	白油豆（在來種）	〃	6,200	2,300	120	2,420	1,610	48	1,658	70	40	1,438 (二ケ年)

本年度夏作ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ大粒種ニ於テハ臺南第二號ニシテ、擽枝仔豆、達磨、臺南第一號、山東省一等品選出、靜岡立性等順次之ニ次

ゲリ　小粒種ニ於テハ白油豆第二號收量最モ多ク、白油豆第一號、白油豆第五號爪哇三號、爪哇一號、バレンシヤ等順次之ニ次ゲリ

次ニ累年平均子實收量ヲ見ルニ、大粒種ニ於テハ達磨（八ケ年）最モ多ク、臺南第二號（二ケ年）、立落花生（八ケ年）、臺南第一號（二ケ年）、擽枝仔豆（八ケ年）千葉中粒五五號（六ケ年）等順次之ニ次ゲリ　小粒種ニ於テハ白油豆第一號（四ケ年）收量最モ多ク、白油豆第二號（四ケ年）、白油豆第五號（四ケ年）、白油豆（四ケ年）、爪哇K第十號（四ケ年）、爪哇K第三號（四ケ年）等順次之ニ次ゲリ

其ノ二　冬　　作　（播種期九月二十日　收穫期一月九日）

品種名	生莖葉收量	莢付收量 上莢	莢付收量 屑莢	莢付收量 計	子實收量 上	子實收量 屑	子實收量 計	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 上莢	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 屑莢	十一ケ年平均子實收量
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	%	%	kg
爪哇一號	4,800	2,478	142	2,620	1,834	57	1,891	74	40	1,145
爪哇三號	4,650	2,580	166	3,016	2,081	72	2,152	73	43	1,144
バレンシヤ	4,500	2,350	132	2,482	1,668	47	1,716	71	36	1,268（四ケ年）
爪哇K第二號	5,200	2,790	85	2,875	2,065	29	2,094	74	35	1,554（四ケ年）
爪哇K第三號	4,950	2,828	119	2,947	2,121	49	2,171	75	42	1,589（四ケ年）
爪哇K第十號	4,900	2,434	101	2,535	1,825	44	1,869	75	44	1,492（四ケ年）
爪哇K第十二號	4,850	3,032	143	3,175	2,244	57	2,301	74	40	1,667（四ケ年）
爪哇K第十三號	4,950	2,930	148	3,078	2,168	56	2,224	74	38	1,587（四ケ年）
爪哇K第十五號	4,650	2,576	164	2,740	1,932	66	1,998	75	40	1,579（四ケ年）
白油豆第一號	5,200	2,425	142	2,567	1,770	57	1,827	73	40	1,630（四ケ年）
白油豆第二號	5,500	2,486	187	2,673	1,815	78	1,893	73	43	1,713（四ケ年）
白油豆第五號	4,900	2,463	214	2,677	1,773	75	1,848	72	35	1,514（四ケ年）
臺南第一號	5,600	2,607	165	2,772	1,695	53	1,747	65	32	1,608（三ケ年）
臺南第二號	5,500	2,455	170	2,625	1,621	51	1,672	66	30	1,607（三ケ年）
白油豆（在來種）	4,800	2,350	178	2,528	1,715	63	1,778	73	35	1,552（三ケ年）

本年度冬作ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ爪哇K第十二號ニシテ、爪哇K第十三號、爪哇三號、爪哇K第三號、爪哇K第二號、爪哇K第十五號等順次之次ニゲリ

次ニ累年平均子實收量ヲ見ルニ、白油豆第二號（四ケ年）最モ多ク、爪哇K第十二號（四ケ年）、臺南第一號（三ケ年）、白油豆第一號（四ケ年）、臺南第二號（三ケ年）、爪哇K第三號（四ケ年）等順次之ニ次ゲリ

二　地　方　試　驗

（一）品　種　試　驗

目　的　當場ニ於テ品種試驗ノ結果優良ナリト認メタル品種ニ付、土性、土質及氣象ヲ異ニスル地方ニ於テ、其ノ生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ其ノ地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗地　夏冬作共虎尾郡虎尾街

土質其他　砂質壤土ニシテ前作ハ蔬菜ナリ

耕種梗概　本場品種試驗ニ準ゼリ

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　夏冬作共六品種

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

其ノ一　夏　　作　（播種期二月三日　收穫期七月二日）

品種名	生莖葉收量	莢付收量 上莢	莢付收量 屑莢	莢付收量 計	子實收量 上	子實收量 屑	子實收量 計	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 上莢	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 屑莢	二ケ年平均子實收量
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	%	%	kg
白油豆第一號	5,865	1,800	137	1,937	1,296	49	1,345	72	36	1,396
白油豆第二號	6,150	1,850	137	1,987	1,332	47	1,379	72	33	1,329
白油豆第五號	4,530	1,668	150	1,818	1,217	51	1,268	73	34	1,324
爪哇一號	4,350	1,500	127	1,627	1,050	42	1,092	70	33	1,122
爪哇三號	4,800	1,743	187	1,930	1,202	60	1,262	69	32	1,293
白油豆（在來種）	4,320	1,500	147	1,647	960	56	1,016	64	38	1,108

本年度夏作ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ白油豆第二號ニシテ、白油豆第一號、白油豆第五號、爪哇三號等順次之ニ次ゲリ

次ニ二ケ年平均子實收量ヲ見ルニ、白油豆第一號最モ多ク、白油豆第二號、白油豆第五號、爪哇三號、爪哇一號等順次之ニ次ゲリ

其ノ二　冬　　作　（播種期九月二日 收穫期十二月二十日）

品種名	生莖葉收量	莢付收量 上莢	莢付收量 屑莢	莢付收量 計	子實收量 上	子實收量 屑	子實收量 計	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 上莢	莢付百瓦ニ對スル子實重量歩合 屑莢	二ケ年平均子實收量
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	%	%	kg
白油豆第一號	4,720	1,970	435	2,405	1,438	165	1,603	73	38	1,539
白油豆第二號	4,850	2,030	397	2,427	1,481	158	1,639	73	40	1,722
白油豆第五號	4,570	1,980	387	2,367	1,405	143	1,548	71	37	1,867
爪哇一號	6,020	1,750	410	2,160	1,295	143	1,438	74	35	1,623
爪哇三號	5,650	1,640	410	2,050	1,213	139	1,352	74	34	1,602
白油豆（在來種）	5,430	1,180	454	1,634	791	217	1,008	67	48	1,012

本年度冬作ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ白油豆第二號ニシテ、白油豆第一號、白油豆第五號、爪哇一號、爪哇三號等順次之ニ次ゲリ

次ニ二ケ年平均子實收量ヲ見ルニ、白油豆第五號最モ多ク、白油豆第二號、爪哇一號、爪哇三號、白油豆第一號等順次之ニ次ゲリ

第五　棉　（畑作）

耕　種　梗　概

整　地　深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ニテ土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ニセリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	10,000	…	…	10,000	50.00	26.00	63.00
過燐酸石灰	150	…	…	150	…	28.50	…
硫酸加里	80	…	…	80	…	…	38.40
大豆粕	300	…	…	300	19.26	3.96	561
人糞尿	…	4,500	4,500	9,000	51.30	1170	24.30
計	…	…	…	…	120.56	70.16	131.31

但シ堆肥ノ半量ハ整地ノ際ニ施用シ、殘餘及其他ノ基肥ハ播種ノ際ニ施用セリ、追肥ハ各試驗區共ニ第一回ハ播種後一ケ月目、第二回ハ播種後一ケ月半ニ、同量ノ水ヲ以テ稀釋シ施用セリ

畦幅及株間　畦幅七五糎トシ、株間ハ印度棉及內地棉ハ二〇糎、陸地棉ハ二五糎トセリ

播種量及播種法　「アール」當一立ノ割合ニテ、一株三・四粒ヲ點播シ鍬ヲ以テ覆土セリ

管　理　中耕除草ハ適宜ニ之ヲ行ヘリ、間引ハ二回之ヲ行ヒ一株一本トセリ

「ふたてんこみどりよこばひ」驅除ノタメ、品種試驗區並品種豫備試驗區ハ七月二十八日及九月十日ノ二回、畦幅株間試驗區、摘心除贅芽並ニ種子豫措ニ關スル試驗區ハ、七月三十日及九月十一日ノ二回、播種期試驗區ハ左表ノ通リ今津殺蟲劑又ハデリス液ヲ撒布セリ尙各試驗區共九月下旬頃ヨリ「わたのめいが」、十月中旬頃ヨリ「あかほしかめむし」發生セルヲ以テ、驅除ニ努メタル結果大害ナカリキ、灌漑ハ播種期試驗區ニ於テ、九月ヨリ三月迄ニ至ル各播種區ハ播種當時發芽促進ノタメ又ハ其發育初期ニ於テ實施セリ

試驗區別	今津殺蟲劑又ハデリス液撒布回數 第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回
	月日	月日	月日	月日	月日	月日
十月十日播種區	12. 20	1. 27	2. 4	2. 20	3. 8	4. 22
十一月十日同	〃	〃	〃	〃	〃	〃
十二月十日同	1. 27	2. 4	2. 20	3. 8	4. 6	〃
一月十日同	2. 4	2. 20	3. 8	4. 6	4. 20	…
二月十日同	3. 8	4. 6	4. 22	5. 15	6. 3	…
三月十日同	4. 22	5. 15	6. 3	6. 21	…	…
四月十日同	5. 15	6. 3	6. 21	8. 12	…	…
五月十日同	6. 3	6. 21	7. 15	〃	…	…
五月三十日同	6. 21	7. 15	8. 12	…	…	…
六月十日同	7. 15	8. 12	9. 10	…	…	…

試驗區別	今津殺蟲劑又ハデリス液撒布回數					
	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
六 月二十日播種區	7. 26	8. 12	9. 10	…	…	…
六 月三十日同	8. 12	9. 10	10. 5	…	…	…
七 月十 日同	〃	〃	〃	…	…	…
七 月二十日同	〃	〃	〃	…	…	…
七 月三十日同	9. 10	10. 5	11. 25	…	…	…
八 月十 日同	10. 5	11. 25	12. 20	…	…	…
八 月二十日同	〃	〃	〃	…	…	…
八 月三十日同	〃	〃	〃	…	…	…
九 月十 日同	11. 25	12. 20	1. 15	…	…	…

尙各試驗區ニ於テ印度棉ハ今津殺蟲劑又ハデリス液ヲ全然撒布セザリキ

一 品 種 試 驗

目　的　當場育成品種ヲ始メ州ノ內外ヨリ蒐集セル品種ニ付、其生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・五「アール」トセリ

供試品種　十品種

作　況　本年度ノ作況ヲ見ルニ播種後適當ナル降雨アリテ發芽狀態良ク順調ナル生育ヲ續ケタルモ、七月二十五日ヨリ八月二十日ニ至ル二十七日間ノ連續的降雨（降雨量一四七〇・六粍）ノ被害ヲ受ケタルタメ相當生育ヲ阻害セラレタリ、然レドモ其ノ後ノ天候恢復ト共ニ、肥培管理ニ努メタル結果、生育ヲ恢復シ其ノ後順調ナル發育ヲ遂ゲタリ

而シテ各區共七月下旬ヨリ開花ヲ始メ、九月中旬ヨリ收穫ニ着手シ十二月中旬迄ニハ收穫ヲ完了スルヲ得タリ

蟲害ニ就イテハ七月中旬頃ヨリ「ふたてんこみどりよこばひ」ノ發生漸次多カリシヲ以テ、七月下旬並ニ九月上旬ニ夫々驅除ニ努メタルタメ、其ノ被害ヲ輕減スルヲ得タリ

尙「わたのめいが」、「あかほしかめむし」、「くさおびりんが」等ノ發生ヲ多少見タルモ、其ノ被害極メテ輕微ナリキ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期六月十一日

品種名	收穫期		草丈	乾燥莖收量	實棉收量			繰綿歩合		繰綿收量			八ケ年平均繰綿收量
	始	終			上棉	屑棉	計	上	屑	上綿	屑綿	計	
	月 日	月 日	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
デルフオス	9. 17	12. 5	125	3,300	1,540	110	1,650	33.2	26.0	512	29	540	621（四ケ年）
エキスプレス	〃	〃	122	3,120	1,394	78	1,472	31.0	25.0	434	19	453	580
トライス	9. 12	〃	115	3,060	1,289	72	1,361	30.5	23.0	392	17	410	543（七ケ年）
メキシカン	〃	〃	133	3,240	1,263	95	1,358	31.8	26.0	401	25	426	584（七ケ年）
ライトニングエキスプレス	〃	〃	115	3,240	1,403	90	1,493	32.1	24.0	451	22	473	548（六ケ年）
ゴーチ	9. 14	12. 8	133	3,360	1,270	80	1,350	33.4	25.0	424	20	444	557（五ケ年）
P・A一號	9. 13	12. 12	131	3,600	1,217	106	1,323	32.5	27.0	395	29	424	587（五ケ年）
キングス、インブルーブド	9. 7	11. 30	112	2,520	1,180	50	1,230	30.8	22.0	363	11	374	491（三ケ年）
A	9. 19	12. 10	109	3,000	1,552	134	1,686	33.6	29.0	521	39	560	…
B	9. 13	12. 12	113	3,480	1,353	94	1,447	29.2	22.0	395	21	416	…

本年度ノ成績ヲ見ルニ、繰綿收量最モ多カリシハ「A」ニシテ、「デルフオス」「ライトニング・エキスプレス」、「エキスプレス」、「ゴーチ」、「メキシカン」等順次之レニ次ゲリ

次ニ累年平均繰綿收量ニ於テハ「デルフオス(四ケ年)」、最モ多ク、「P. A一號(五ケ年)」、「メキシカン(七ケ年)」、「エキスプレス(八ケ年)」、「ゴーチ(五ケ年)」等順次之レニ次ゲリ

二 品種豫備試驗

目　的　當場育成品種ヲ始メ州ノ內外ヨリ蒐集セル品種ニ付、其ノ生育狀態收量及品質等ヲ調査シ、品種試驗ニ供用スベキ品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・一五「アール」トセリ

供試品種　四十五品種

作　況　本年度ノ作況ヲ見ルニ大體品種試驗ト同樣ナル傾向ヲ示セリ

成　績　本年度ノ成績ヲ見ルニ、繰綿收量最モ多カリシハ「ダーワーアメリカン」ニシテ、「S. N. R」、「カハンドワアツプランド」、「アコラブリ」、「二八九F」、「L. S. S」、「K. A. I」、「ハーフアンドハーフ(新)」、「斯字四號棉種」、「斯字四號棉籽」等順次之ニ次ゲリ

次ニ累年平均繰綿收量ニ於テハ「ダーワーアメリカン（七ケ年)」最モ多ク、「デキシイ（七ケ年)」、「バーネツト(五ケ年)」、「ザクリーブランド（七ケ年)」、「ハーフアンドハーフ（新)(三ケ年)」、「ベンネツト（五ケ年)」、「キング（七ケ年)」、「P. A 四號（五ケ年)」、「カハンドワアツプランド(五ケ年)」、「テキサス(五ケ年)」等順次之ニ次ゲリ

三　播　種　期　試　驗

目　的　播種期ノ早晩ニ依リ生育狀態、收量及品質等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ、以テ州下ニ於ケル播種適期ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ、每月一回乃至三回（自六月至八月）播種シテ試査セリ

供試品種　「エキスプレス」

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

作　況　自十月至二月各十日播種區

各區共播種當時ハ降雨少ナカリシタメ、灌水ニ依リ發芽ヲ促進セリ、生育初期ニ於テハ、乾燥甚シカリシト氣溫低カリシトニヨリ發育不良ナリキ、然レドモ三月下旬頃ヨリ漸次氣溫ノ上昇ヲ來タシ、屢々降雨アリタルタメ、各區共五月迄ニハ相當ノ發育ヲ遂ゲタリ、

而シテ十月十日播種區ハ同年十二月下旬、十一月十日播種區ハ三月上旬、十二月十日播種區ハ四月中旬、一月十日播種區ハ四月下旬、二月十日播種區ハ五月上旬ニ開花ヲ始メ、十月十日播種區ハ四月下旬、十一月十日播種區ハ五月下旬、十二月十日播種區ハ六月上旬、一月十日及二月十日播種區ハ六月中旬ニ夫々收穫ヲ開始シ、自七月二十五日至八月二十日二十七日間ノ連續的降雨ニ遭遇シタルタメ、雨期中ニ於ケル收穫量ハ少カリシモ、十月中旬頃迄ニハ殆ンド收穫ヲ完了スルヲ得タリ

三、四月各十日、五月十日、三十日播種區

五月十日播種區ハ播種當時降雨少ナカリシ爲メ、灌水ニヨリ發芽ヲ促進セルモ、其ノ他ノ各區ハ播種前後ニ適當量ノ降雨アリタルヲ以テ、發芽ハ良好ニシテ其ノ後ニ於ケル氣溫ノ上昇ト降雨トニヨリ、生育モ亦頗ル良好ナリキ、三月十日播種區ハ五月中旬、四月十日播種區ハ五月下旬、五月十日播種區ハ六月下旬、五月三十日播種區ハ七月上旬ニ開花ヲ始メ、夫々六月下旬、七月上旬、八月中旬、八月下旬ニ收穫ヲ開始シ、前者ノ二區ハ十一月上旬、後者ノ二區ハ十二月中旬頃ニハ殆ンド收穫ヲ終了スルヲ得タリ

而シテ三、四月各十日播種、五月十日播種ノ三區ハ收穫ノ初期ニ、五月三十日播種區ハ開花初期ニ前記ノ長期ニ亘ル降雨ニ遇ヒ、著シク棉樹ノ成育ヲ阻害セラレタルタメ、雨期中ニ於ケル落蕾、落蒴多ク收穫少ナカリシモ、九月上旬頃ヨリ天候ノ恢復ト共ニ順調ナル生育ヲ續クルニ至レリ

六月十日、二十日、三十日、七月十日、二十日、三十日、播種區七月三十日播種區ハ播種當時ニ於ケル降雨ノタメ、發芽稍々不良ナリシモ、其ノ他ノ各區ハ播種當時土壤中ニ適當量ノ水分ヲ保有セルタメ、發芽ハ極メテ良好ニシテ爾後ノ生育モ亦順調ナリキ

然ルニ各區共生育ノ初期ニ於テハ前記ノ長期ニ亘ル降雨ノ被害ニヨリ、棉樹ハ殆ンド倒伏シ、一時生育ヲ停止セルガ如キ狀態ニアリタ

ルモ、其ノ後ノ天候恢復ト共ニ、早速株起シヲ始メ其ノ他適當ノ肥培管理ノ方法ヲ講ジタル結果、漸次生育モ恢復セラレ、豪雨ノ被害ヲ見ザルガ如キ良好ナル發育ヲ遂ゲタリ

而シテ六月十日播種區ハ七月下旬、六月二十日播種區ハ八月中旬、六月三十日播種區ハ九月上旬、七月十日播種區ハ九月中旬、七月二十日及三十日播種區ハ九月下旬ニ開花ヲ始メ、夫々九月上旬、九月中旬、十月中旬、十一月上旬、十一月中旬、十一月下旬ニ收穫ヲ開始シ、前者ノ三區ハ十二月下旬、後者ノ三區ハ翌年一月下旬頃迄ニハ收穫ヲ終了スルヲ得タリ

八月十日、二十日、三十日播種區

八月十日及二十日播種區ハ播種當日豪雨アリタルタメ、發芽ヲ阻害セラレ稍々不良ナリキ、八月三十日播種區ハ土壤中ニ充分ナル濕氣アリタルタメ、發芽ハ極メテ良好ナリキ、前者二區共發芽當時及ビ生育初期ニ於テ豪雨ノ被害ヲ受ケタルタメ、稍々發育ヲ停止セラレタルモ、天候恢復ト共ニ生育モ亦漸次恢復シ、其ノ後ハ充分ナル發育ヲ遂ゲタリ而シテ八月十日播種區ハ十月上旬、八月二十日及三十日播種區ハ十月中旬ニ夫々開花ヲ始メ、八月十日及二十日播種區ハ十一月下旬、八月三十日播種區ハ十二月上旬ニ收穫ヲ始メ、各區共翌年ノ二月下旬頃迄ニハ收穫ヲ終了スルヲ得タリ

九月十日播種區

播種前後降雨アリタルタメ、發芽ハ良好ニシテ其ノ後モ順調ニ生育ヲ續ケタルモ十一月中旬以後ハ氣溫漸次低下シ、且ツ乾燥甚ダシカリシヲ以テ、充分ナル發育ヲ遂グル事能ハザリキ、而シテ十一月上旬ニ開花ヲ始メ、翌年ノ一月上旬ニ收穫ヲ開始シ、三月下旬頃ニ漸ク收穫ヲ終了スルヲ得タリ

以上ノ作況ヲ綜合スルニ、本年度ハ自十月至二月各播種區ハ乾燥期中ニ栽培セルヲ以テ、生育初期ニ於テハ殆ンド伸長セザリシモ、大

體三、四月播種區ト同樣四月下旬頃ヨリ生育ヲ開始シ、其後充分ナル發育ヲ遂ゲタリ、而シテ自十月至二月各播種區ハ收量ニ於テ稍々良好ナルモ、一般ニ生育期間長キト乾燥期中棉樹ノ枯死スルモノ等有リテ、栽培上不適當ナリキ、三、四月播ハ生育旺盛ニシテ且ツ收量多キモ、開絮期ハ屢々降雨ニ遭遇セルタメ、棉花ノ品質ヲ害サル、事多カリキ、次ニ六、七月各播種區ハ播種當時又ハ生育初期ニ於テ、長期ニ亘ル降雨ノ被害ヲ蒙リタルタメ、棉樹ハ殆ンド倒伏シ、相當ニ發育ヲ阻害サレタルモ、天候ノ恢復ト共ニ極力肥培管理ニ努メタル結果、其ノ後ハ順調ナル發育ヲ遂ゲ就中六月上旬ヨリ七月上旬迄ニ栽培セルモノハ一般ニ良成績ヲ得タリ、八月播種區ハ降雨後ナルヲ以テ、生育初期ハ充分ナル伸長ヲナシ、且ツ十月上旬頃迄屢々降雨アリタルト氣溫高カリシトニ依リ、其ノ生育振リハ六、七月ニ比シテ稍々劣リタルモ概シテ良好ナリキ

成　績「ヘクタール」當

播種期	收穫期 始	收穫期 終	草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	六ケ年平均繰綿收量
	月 日	月 日	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
十月十日	4. 30	9. 10	120	3,400	1,156	110	1,266	32.0	24.0	370	26	396	405 (二ケ年)
十一月十日	5. 27	〃	125	4,000	1,412	123	1,535	31.5	25.0	445	31	476	453 (二ケ年)
十二月十日	6. 10	9. 25	122	4,500	1,449	108	1,557	32.0	24.0	464	26	490	412 (二ケ年)
一月十日	6. 12	10. 10	118	3,800	1,378	95	1,473	31.5	24.0	434	23	457	458 (二ケ年)
二月十日	6. 14	10. 15	125	3,000	1,403	120	1,523	31.5	26.0	442	32	473	457 (二ケ年)
三月十日	6. 22	11. 10	110	3,700	1,400	66	1,466	32.0	25.0	448	16	464	613
四月十日	7. 8	〃	115	3,850	1,290	60	1,350	32.0	24.0	413	14	427	630
五月十日	8. 16	12. 5	118	3,600	1,360	57	1,417	32.0	24.0	435	14	449	564
五月三十日	8. 30	12. 15	115	3,800	1,379	88	1,467	32.0	26.0	442	23	464	512 (四ケ年)
六月十日	9. 8	12. 20	120	3,400	1,623	104	1,727	31.5	26.0	511	27	538	637
六月二十日	9. 17	〃	125	3,200	1,710	126	1,836	31.5	24.0	538	31	569	686 (四ケ年)
六月三十日	10. 15	12. 30	124	3,800	1,580	103	1,683	32.0	25.0	506	26	532	686 (四ケ年)

播種期	收穫期 始	收穫期 終	草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	六ケ年平均繰綿收量
	月 日	月 日	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
七 日十日	11. 2	1. 15	122	3,500	1,520	83	1,603	31.5	25.0	478	21	499	574
七 月二十日	11. 15	1. 20	125	3,300	1,266	67	1,333	32.0	24.0	405	16	421	467 (四ケ年)
七 月三十日	11. 25	1. 25	120	3,100	1,252	48	1,300	32.3	24.0	403	12	415	420 (四ケ年)
八 月十日	11. 30	2. 5	115	3,250	1,220	63	1,283	32.0	25.0	390	16	406	312
八 月二十日	12. 8	2. 20	113	3,500	1,276	74	1,350	32.0	25.0	408	19	427	311 (四ケ年)
八 月三十日	12. 17	2. 25	105	3,300	966	51	1,017	32.0	23.0	309	12	321	217 (四ケ年)
九 月十日	1. 6	3. 20	95	3,000	560	73	633	32.2	25.0	181	18	199	134 (三ケ年)

本年度ノ成績ヲ見ルニ、繰綿收量最モ多カリシハ六月二十日播種區ニシテ、六月十日播種區、六月三十日播種區、七月十日播種區、十二月十日播種區、十一月十日播種區等順次之ニ次ゲリ

次ニ累年平均繰綿收量ヲ見ルニ、六月三十日播種區（四ケ年）收量最モ多ク、六月二十日播種區（四ケ年）、六月十日播種區（六ケ年）、四月十日播種區（六ケ年）、三月十日播種區（六ケ年）、七月十日播種區（六ケ年）等順次之ニ次ゲリ

四 畦幅株間試驗

目　的　畦幅、株間ノ廣狹ニヨリ生育狀態、收量等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ、以テ最適栽培距離ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ、各區ニ甲乙二組ヲ設ケ左記方法ニヨリ試査セリ

畦幅試驗 畦幅	畦幅試驗 株間	畦幅試驗 一區株數	株間試驗 畦幅	株間試驗 株間	株間試驗 一區株數
cm	cm	本	cm	cm	本
50	25	240	60	20	250
60	25	200	60	25	200
75	25	160	60	30	170
90	25	140	90	20	180
105	25	125	90	25	140
120	25	100	90	30	120

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

作　況　播種前後土壤中ニ適當量ノ濕氣アリテ、發芽ハ極メテ良好ニシテ其後順調ナル生育ヲ續ケタルモ、七月二十五日ヨリ八月二十日迄ニ至ル長期間ノ降雨ニ依リ、棉樹ハ倒伏シ生育ヲ阻害セラレタリ

然レドモ其後天候ノ恢復ト共ニ、生育モ亦恢復シ充分ナル發育ヲ遂ゲタリ

而シテ或ル限度ヲ有スルモ、大體ニ於テ畦幅、株間廣キモノ程成績良好ニシテ、狹キモノ程充分ナル成育ヲ遂グル事ヲ得ザリシタメ、劣リタル結果ヲ示セリ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期六月十日）

其ノ一 畦幅試驗

畦幅	株間	草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	六ケ年平均繰綿收量
cm	cm	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
50	25	121	4,617	1,018	69	1,087	30.0	25.0	305	17	322	548
60	25	122	5,032	1,123	58	1,181	30.5	25.0	343	15	357	576
75	25	120	5,091	1,135	96	1,231	30.0	26.0	346	25	371	562
90	25	122	5,202	1,373	85	1,458	29.7	25 0	408	21	429	…
105	25	122	4,630	1,179	81	1,260	29.7	25.0	350	21	371	…
120	25	123	4,703	1,019	69	1,088	29.7	26.0	303	18	321	…

其ノ二 株間試驗

畦幅	株間	草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	六ケ年平均繰綿收量
cm	cm	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
60	20	126	5,032	1,151	31	1,182	29.7	25.0	342	8	350	519
60	25	125	5,106	1,162	56	1,218	30.0	25.0	348	14	362	573
60	30	117	5,180	1,203	46	1,249	30.5	26.0	367	12	379	561
90	20	129	5,412	1,192	58	1,250	30.5	25.0	364	15	379	…
90	25	120	5,559	1,232	46	1,279	30.5	26.0	376	12	388	…
90	30	118	4,969	1,120	43	1,163	30.5	25.0	342	12	354	…

本年度ノ成績ヲ見ルニ、畦幅試驗ニ於テハ畦幅九〇糎區收量最モ多ク、七五糎區、一〇五糎區、六〇糎區等順次之ニ次ゲリ、株間試驗ニ於テハ株間二五糎區(畦幅九〇糎)收量最モ多ク、二〇糎區(畦幅九〇糎)、三〇糎區(畦幅六〇糎)、二五糎區(畦幅六〇糎)等順次之ニ次ゲリ

次ニ累年平均繰綿收量ヲ見ルニ、畦幅試驗ニ於テハ畦幅七五糎區最モ多ク、六〇糎區之ニ次ギ、株間試驗ニ於テハ、株間二五糎區收量最モ多ク、三〇糎區、二〇糎區等順次之ニ次ゲリ

五　摘心除贅芽ニ關スル試驗

目　的　摘心除贅芽ノ有無並ニ其ノ方法如何ニ依リ、生育狀態、收量及品質等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ、以テ最適方法ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ、主莖ノ心止メノミヲ施行セリ

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

作　況　本年度ハ例年ニ比シ天候順調ナラザリシタメ、其ノ生育ハ前年ニ比シ稍々劣リタル傾向ヲ示セリ、而シテ播種後百日目摘心區、百十日目摘心區ヲ中心トセルモノハ、收量多ク且ツ熟期モ整一ナリ、之レヨリ早ク摘心セルモノ又ハ晩ク摘心セルモノハ收量稍々少ナク、百三十日目摘心區、無摘心區ハ收量少ナカリキ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期六月九日）

試驗區別	收穫期 始	收穫期 終	草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	五ケ年平均繰綿收量
	月日	月日	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
無摘心區	9.11	12.2	119	5,065	1,086	92	1,178	30.5	25.0	331	23	354	537
播種後七十日目摘心區	9.10	〃	95	4,500	1,101	90	1,190	30.7	26.0	338	24	362	550
同八十日目摘心區	9.12	〃	102	4,532	1,142	73	1,215	30.5	26.0	348	19	367	555
同九十日目摘心區	9.11	〃	108	4,665	1,151	71	1,222	30.5	27.0	351	19	370	596
同百日目摘心區	9.10	〃	110	4,798	1,140	91	1,231	31.0	26.0	353	24	377	528 (三ケ年)
同百十日目摘心區	9.12	〃	116	5,198	1,168	91	1,259	30.7	26.0	358	24	382	524 (三ケ年)
同百二十日目摘心區	9.11	〃	114	5,065	1,120	76	1,196	30.7	25.0	344	16	360	503 (三ケ年
同百三十日目摘心區	9.12	〃	119	5,332	1,043	81	1,124	30.5	26.0	318	21	339	482 (三ケ年)

本年度ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ播種後百十日目摘心區ニシテ、同百日目摘心區、同九十日目摘心區、同八十日目摘心區等順次之ニ次ゲリ

次ニ累年平均繰綿收量ヲ見ルニ、播種後九十日目摘心區（五ケ年）收量最モ多ク、同八十日目摘心區(五ケ年)、同七十日目摘心區(五ケ年)、無摘心區(五ケ年)播種後百日目摘心區（三ケ年）等順次之ニ次ゲリ

六　種子豫措ニ關スル試驗

目　的　種子ノ豫措ノ如何ニヨリ、其ノ生育狀態、收量及品質等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ、以テ最適方法ヲ知ラントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

作　況　豫措處理區ハ何レモ無處理區ニ比シ、發芽良好ニシテ且ツ整一ナリキ、就中硫酸處理區、浸水(十二時間)草木灰塗附區等ハ發芽早ク且ツ揃ヒ、從ツテ其ノ後ノ發育モ良好ナリキ、浸水(十二時間)區ハ之レニ次ギ、無處理區ニ於テハ發芽稍不揃ニシテ從ツテ成績稍不良ナリキ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期六月九日）

試驗區別	收穫期 始	收穫期 終	草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	五ケ年平均繰綿收量
	月日	月日	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
無處理區	9. 11	12. 2	118	4,273	1,170	96	1,266	31.0	26.0	363	25	388	543
浸水(十二時間)區	〃	〃	126	4,536	1,318	124	1,442	31.0	27.0	408	34	442	556
浸水(十二時間)草木灰塗附區	9. 10	〃	127	5,184	1,329	129	1,458	31.5	28.0	419	36	455	577
硫酸處理區	〃	〃	122	4,665	1,385	77	1,462	31.5	27.0	436	21	457	593

本年度ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ硫酸處理區ニシテ、浸水（十二時間）草木灰塗附區、浸水（十二時間）區、無處理區等順次之レニ次ゲリ

次ニ累年平均成績ニ於テハ本年度同樣ノ繰綿收量順位ヲ示セリ

七 地 方 試 験

(一) 山 手 地 方

イ 品 種 試 験

目　的　當場ニ於テ品種試驗ノ結果優良ナリト認メタル品種ニ付、土性、土質及氣象ヲ異ニスル山手地方ニ於テ、其ノ生育狀態、收量及品質ノ優劣ヲ試査シ、以テ其ノ地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗地　新化郡南化庄

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　十一品種

耕種梗概　當場品種試驗ニ準ゼリ

作　況　發芽後數日ニシテ、長期ニ亘ル降雨ノ被害ヲ受ケタルタメ、棉樹ハ殆ンド倒伏シ、或ハ山崩レノ爲圃場ノ大半流出セルヲ以テ本試驗ハ之ヲ廢止セリ

(二) 鹽 分 地 地 方

イ 品 種 試 験

目　的　當場ニ於テ品種試驗ノ結果優良ナリト認メタル品種ニ付、土性、土質及氣象ヲ異ニスル强鹽分地地方ニ於テ、其ノ生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ其ノ地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗地　北門郡七股庄

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　七品種

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期六月十六日）

品種名	收穫期 始	收穫期 終	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量 上棉	實棉收量 屑棉	實棉收量 計	繰綿歩合 上	繰綿歩合 屑	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	三ケ年平均繰綿收量
	月 日	月 日	cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
エキスプレス	9. 20	12. 13	52.0	5,625	849	27	876	31.1	25.0	264	7	271	315
デキシー	〃	〃	47.0	5,090	858	53	911	33.7	24.3	289	13	302	333
メキシカン	〃	〃	45.0	5,615	828	45	873	31.8	26.0	263	12	275	326
ダーワーアメリカン	〃	〃	59.6	4,265	611	35	646	37.6	27.6	230	10	240	356
紫蘇棉	〃	〃	49.0	3,620	584	29	613	38.3	26.0	224	8	232	322
デルフオス	〃	〃	45.0	4,060	828	53	881	33.2	26.0	275	14	289	301 (二ヶ年)
P. A. 一號	〃	〃	61.0	5,360	741	23	764	32.5	27.0	241	6	247	275 (二ケ年)

本年度ノ成績ヲ見ルニ、繰綿收量最モ多カリシハ「デキシー」ニシテ、「デルフオス」之レニ次ギ、「メキシカン」、「エキスプレス」等順次之レニ次ゲリ

次ニ三ケ年平均ニ於テ、繰綿收量最モ多カリシハ「ダーワーアメリカン」ニシテ、「デキシー」、「メキシカン」、「紫蘇棉」等順次之レニ次ゲリ

ロ 肥 料 試 験

目　的　鹽分地地方ニ於ケル棉栽培上、肥料三要素ノ經濟的用量ヲ査定セントス

試驗地　北門郡七股庄

(1) 三 要 素 適 量 試 験

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・一五「アール」トセリ

供試品種　エキスプレス

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

但シ肥料ハ硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里ノ各半量ヲ基肥トシテ播種前ニ、殘リ半量ハ追肥トシテ施用セリ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期六月十六日）

試驗區別	窒素	燐酸	加里	收穫期 始	收穫期 終	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量	繰綿歩合上綿	繰綿收量	三ケ年平均繰綿收量
	kg	kg	kg	月 日	月 日	cm	kg	kg	%	kg	kg
無窒素區	…	120	120	9. 20	12. 13	45.0	3,750	594	31.3	184	203
窒素少量區	60	120	120	〃	〃	43.0	4,313	680	30.0	203	249
窒素中量區	120	120	120	〃	〃	50.0	4,716	777	31.0	240	296
窒素多量區	180	120	120	〃	〃	51.6	5,288	950	31.0	292	326
窒素最多量區	240	120	120	〃	〃	51.0	6,825	750	31.0	232	306
無燐酸區	120	…	120	〃	〃	42.0	2,719	416	31.0	142	210
燐酸少量區	120	60	120	〃	〃	42.0	3,488	615	31.0	191	246
燐酸中量區	120	120	120	〃	〃	50.0	4,716	777	31.0	240	296
燐酸多量區	120	180	120	〃	〃	52.0	5,513	935	31.0	288	307
無加里區	120	120	…	〃	〃	54.0	3,694	462	31.0	142	222
加里少量區	120	120	60	〃	〃	60.0	4,069	686	31.5	215	265
加里中量區	120	120	120	〃	〃	50.0	4,716	777	31.0	240	296
加里多量區	120	120	180	〃	〃	59.0	5,231	863	31.5	271	295
無肥料區	…	…	…	〃	〃	48.0	3,000	375	31.0	116	152

本年度ノ成績ヲ見ルニ、窒素、燐酸、加里何レモ多量區ノ收量多カリキ

次ギニ三ケ年平均繰綿收量ヲ見ルニ、窒素、燐酸、ニ於テハ多量區、加里ニ於テハ中量區多カリキ

(2) 肥料用量試驗

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇•一五「アール」トセリ

供試品種　エキスプレス

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

但シ肥料ハ「ヘクタール」當要素量次ノ如シ

試驗區別	窒素	燐酸	加里
	kg	kg	kg
少量區	60	40	60
中量區	120	80	120
多量區	180	120	180

而シテ自二區至四區ノ肥料ハ窒素、燐酸、加里肥料トシテ、夫々硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ用ヒ、其ノ半量ヲ基肥トシテ播種前ニ、殘リ半量ハ追肥トシテ施用シ、自五區至七區ノ堆肥併用量ハ、少量六〇〇瓩、中量一二〇〇瓩、多量一八〇〇瓩ノ割合ニシテ、其ノ全量ヲ基肥トシテ、各不足分ノ三要素量ハ夫々硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ以テ補給シ、其ノ各半量ヲ基肥トシテ播種前ニ、殘リ半量ハ追肥トシテ施用セリ

成　績「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）播種期六月十六日）

試驗區別	收穫期 始	收穫期 終	收穫時草丈	乾燥莖收量	實棉收量	繰綿歩合（上綿）	繰綿收量	三ケ年平均繰綿收量
	月 日	月 日	cm	kg	kg	%	kg	kg
第一無肥料區	9. 20	12. 13	48.0	3,000	375	31.0	116	152
第二少量區（堆肥併用セズ）	〃	〃	49.5	4,200	638	31.0	196	228
第三中量區（同）	〃	〃	50.0	4,725	810	31.0	250	281
第四多量區（同）	〃	〃	50.0	5,728	969	31.0	300	333
第五少量區（堆肥併用）	〃	〃	56.0	4,444	581	31.0	179	250
第六中量區（同）	〃	〃	51.0	4,913	860	31.0	266	272
第七多量區（同）	〃	〃	48.0	5,006	923	31.0	285	300

本年度ノ成績ヲ見ルニ、堆肥ヲ併用セルモノモ、併用セザルモノモ何レモ肥料多量區最モ收量多ク、中量區、少量區之レニ次ギ、無肥料區最モ劣レリ

次ギニ三ケ年平均繰綿收量ニ於テモ、同樣ノ傾向ヲ示セリ

八　品　種　改　良

(一) 純系分離

第一年目

「エキスプレス」「デルフオス」「パンジヤブアメリカン一號」「パンジヤブアメリカン二號」「パンジヤブアメリカン三號」「パンジヤブアメリカン四號」「海島棉」「グイザ」「ズランゴ」「キヤンボデア」「ロングステープル」「オクラコトン」「陸地棉三八

〇號」「カハンドワアツプランド」「デキシー」等ニ付優良ナルモノ七十三系統ヲ分離セリ

第二年目

「エキスプレス」「グイザ」「オクラコトン」「海島棉」「陸地棉三八〇號」「カハンドワアツプランド」「デキシー」「デルフオス」「パンジヤブアメリカン一號」等ニ付優良ナルモノ二十系統ヲ分離セリ

第三年目

「エキスプレス」「グイザ」「オクラコトン」「海島棉」「陸地棉三八〇號」「カハンドワアツプランド」「デキシー」等ニ付優良ナルモノ二十五系統ヲ分離セリ

第四年目

「エキスプレス」「海島棉」等ニ付優良ナルモノ十五系統ヲ分離セリ

第五年目

「エキスプレス」ニ付優良ナルモノヲ三系統分離セリ

(二) 人工交配

性強健ニシテ收量、品質共優良、且ツ早熟性ノ優良品種ヲ育成センタメ、各種組合セニ依リ交配ヲ行ヘリ

第六 黄麻 (畑作)

耕種梗概

整地　深耕犁ヲ以テ二回深耕シタル後、刈耙及手耙ニテ土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ニセリ

肥料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	10,000	…	…	10,000	50.00	26.00	63.00
硫酸アンモニア	180	…	…	180	37.08	…	…
過燐酸石灰	100	…	…	100	…	19.00	…
硫酸加里	150	…	…	150	…	…	72.00
人糞尿	…	5,000	5,000	10,000	57.00	13.00	27.00
計	…	…	…	…	144.08	58.00	162.00

畦幅及株間　畦幅四十五糎トシ、間引キテ株間ヲ十五糎内外トセリ

播種量及播種法　「ヘクタール」當一五立ノ割合ニテ條播シ鍬ニテ薄ク覆土セリ

管理　發芽後間引ハ二回行ヒ、中耕及除草ハ適宜之ヲ行ヘリ

一品種試驗

目的　當場育成品種ヲ始メ州ノ内外ヨリ蒐集セル品種ニ付、其ノ生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　十二品種

成績　「ヘクタール」當　(播種期四月一日 收穫期七月二十一日)

品種名	收穫當時莖長	生莖收量	生粗皮收量	生纖維收量	精製乾燥纖維收量(生粗皮ヲ浸水セルモノ)	生莖ニ對スル精製乾燥纖維歩合(生粗皮ヲ浸水セルモノ)	五ケ年平均生莖收量	五ケ年平均精製乾燥纖維收量(生粗皮ヲ浸水セルモノ)
	cm	kg	kg	kg	kg	%	kg	kg
青皮(當場純系種)	275	55,440	19,792	12,197	2,384	4.3	51,825	2,399
紅皮(同)	281	51,840	19,544	11,508	1,970	3.8	48,989	2,038
青皮(大埤)	270	58,320	22,337	14,288	2,799	4.8	43,226	1,981
青皮(歸仁)	278	58,320	20,820	13,005	2,741	4.7	40,634	1,746
青皮(水上)	279	56,160	21,172	12,524	2,640	4.7	42,535	1,895
臺中白烟脂(中研農業部)	265	59,040	21,254	13,284	2,539	4.3	49,790	1,938
淡青皮(元長)	277	59,760	20,737	11,952	2,510	4.2	39,639	1,636
淡紅皮(同)	191	54,000	20,898	10,422	2,484	4.6	39,301	1,934
カブスラリヤD一五四(印度)	285	55,440	19,570	14,969	2,550	4.6	41,354	1,964
チンスローグリーン(同)	325	43,200	12,960	8,986	2,462	5.7	41,195	2,336
青皮(鹽水)	276	57,600	21,139	12,499	2,650	4.6	39,347	1,600
紅皮(大埤)	301	60,480	22,196	15,301	3,024	5.0	44,200	1,836

本年年ノ成績ヲ見ルニ、播種前後降雨アリタルタメ、發芽及其ノ後ノ成育共ニ順調ニシテ良好ナル成績ヲ得タリ

而シテ供試品種中生莖收量最モ多カリシハ紅皮(大埤)ニシテ、淡青皮(元長)、

臺中白烟脂（中研農業部）、青皮（歸仁）、青皮（鹽水）等順次之ニ次ゲリ又精製乾燥纖維收量（生粗皮ヲ浸水セルモノ）最モ多カリシハ紅皮（大埤）ニシテ、青皮（大埤）、青皮（歸仁）、青皮（鹽水）、青皮（水上）等順次之ニ次ゲリ

尙五ケ年平均生莖收量ヲ見ルニ、青皮（當場純系種）、紅皮（當場純系種）等收量優リ、精製乾燥纖維收量（生粗皮ヲ浸水セルモノ）ニ於テハ、青皮（當場純系種）、チンスローグリーン（印度）、紅皮（當場純系種）、青皮（大埤）等之ニ次ゲリ

第七　キヤツサバ

耕　種　梗　概

整　地　深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ碎キ、地表ヲ均一ナラシメタリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量		
				窒素	燐酸	加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	15,000	…	15,000	75	39	94
硫酸アンモニア	75	75	150	31	…	…
過燐酸石灰	100	100	200	…	38	…
硫酸加里	37.5	37.5	75	…	..	36
計	…	…	…	106	77	130

畦幅及株間　畦幅九〇糎、株間六〇糎トセリ

植付法及植付本數　「ヘクタール」當一八〇〇〇本ノ割合ニテ一株一本植トシ、直立ニ挿植セリ（苗ノ長サ一五糎內外）

管　理　中耕及除草ハ二回、培土ハ一回之レヲ行ヒタリ

一　品　種　試　驗

目　的　州ノ內外ヨリ蒐集セル品種ニ付、其ノ生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　二十八品種

成　績　「ヘクタール」當　（植付期昭和十三年二月二十五日　收穫期同　十四年三月十七日）

品種名	收穫時草丈	生莖收量	塊根收量	製簽收量	簽步留	五ケ年平均塊根收量
	m	kg	kg	kg	%	kg
爪哇第一號	2.50	24,840	15,480	6,811	44.0	17,975
同　第二號	3.06	41,040	6,480	2,722	42.0	13,546
同　第三號	2.70	22,680	14,760	5,756	39.0	17,654
同　第四號	2.60	33,480	15,120	6,350	42.0	15,554
同　第五號	2.86	27,000	15,480	6,811	44.0	18,727
同　第六號	2.77	30,240	15,480	6,037	39.0	20,979
同　第七號	3.09	30,780	10,080	4,284	42.5	13,495
同　第八號	2.99	29,700	6,120	2,693	44.0	12,452
同　第九號	2.94	35,640	9,360	4,118	44.0	12,281
同　第十號	2.76	41,040	7,020	3,089	44.0	15,020
同　第十一號	2.78	35,640	9,000	3,690	41.0	14,522
同　第十二號	2.57	30,780	13,680	5,746	42.0	15,437
同　第十三號	2.81	28,620	16,920	6,937	41.0	16,800
同　第十四號	2.94	50,760	12,600	4,788	38.0	13,609
同　第十五號	3.13	34,560	15,840	6,494	41.0	20,218
布哇白	2.94	48,600	5,040	2,167	43.0	10,014
同　赤	3.15	37,800	11,880	4,871	41.0	8,274
印度白	3.88	37,800	1,800	801	44.5	5,407
同　赤	3.28	54,000	2,160	950	44.0	4,609
爪哇赤莖	3.15	35,640	7,200	2,808	39.0	9,665
同　青莖	3.17	54,000	7,380	2,878	39.0	8,918
爪哇	3.09	59,640	6,480	2,722	42.0	7,244
金子二號	3.12	50,760	12,960	5,443	42.0	16,141
同　四號	3.30	45,360	6,840	2,941	43.0	11,412
生食用	3.30	16,740	6,840	3,078	45.0	10,512
ボルネオ	3.23	52,380	4,680	1,872	40.0	5,532
在來種	3.37	64,800	3,600	1,548	43.0	7,273
新營種	2.95	43,200	9,600	4,032	42.0	11,047（四ケ年）

本年度ノ成績ヲ見ルニ、挿植後ノ活着良ク其ノ後ノ生育モ良好ナリシモ、七月下旬ヨリ八月中旬ニ至ル約一ケ月間、連續的降雨ノ襲來ヲ蒙リタルタメ、相當生育

ヲ阻害セラレタリ、然レドモ天候ノ恢復ト共ニ、爾後ノ生育ハ幾分良好トナレリ

而シテ供試品種中塊根收量最モ多カリシハ爪哇第十三號ニシテ爪哇第十五號爪哇第一號、爪哇第五號、爪哇第六號等順次之ニ次ゲリ

次ニ五ケ年平均塊根收量ニ於テハ爪哇第六號收量最モ多ク、爪哇第十五號、爪哇第五號、爪哇第一號等順次之レニ次ゲリ

第八　蔬　菜

一　夏　季　蔬　菜

耕　種　概　概

整　地　深耕犁ヲ以テ數回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ニセリ

肥　料　普通區ニ對スル「アール」當施用量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	追肥 第三回	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	300.0	…	…	…	300.0	1.50	0.78	1.89
人糞尿	60.0	…	…	…	60.0	0.34	0.08	0.16
大豆粕	9.0	…	…	…	9.0	0.58	0.12	0.17
過燐酸石灰	2.5	…	…	…	2.5	…	0.48	…
硫酸安母尼亞	…	1.2	1.2	1.2	3.6	3.16	1.46	2.22

備　考　基肥多用區ハ普通區ノ基肥ヲ倍量施シ、追肥多用區ハ同ジク追肥ヲ倍量施シ、追肥回數多用區ハ追肥多用區ト同量トセリ

畦巾及株間　葉菜類及ビ根菜類ハ畦巾四〇糎ノ條播、莖菜類ハ畦巾四五糎株間一五糎、果菜類ハ畦巾六〇糎、株間三〇糎トセリ

管　理　中耕、除草培土、灌水、害蟲驅除等適宜ニ之ヲ行ヒ、周到ナル注意ノ下ニ栽培セリ

(一) 栽　培　法　試　驗

目　的　當州ニ於テハ毎年五、六月ヨリ八月末ニ至ル期間、一般ニ蔬菜ノ栽培困難ナルタメ、良質ナル蔬菜甚ダ少ナキヲ以テ、左記方法ニヨリ同期ニ於ケル蔬菜ノ合理的栽培法ヲ知ラントス

供試種類　丸葉山東菜、雪白體菜、二十日大根、葱、茄子

試驗方法　左記方法ニヨリ栽培セリ

一　普　通　區｛普通肥料トシテ前表ノ用量ヲ施セルモノ

二　基肥多用區｛基肥ハ普通區ノ二倍量ヲ施セルモノ

三　追肥多用區｛基肥ハ普通區ト同樣ニシ、追肥ハ普通區ノ二倍量ヲ施セルモノ

四　追肥回數多用區｛前者ト同樣ナルモ、其ノ追肥ハ出來ル限リ回數ヲ多ク分施シ促成栽培ヲ行ヒタルモノ

成　績　「アール」當（成績最モ優良ナルモノ）

區別	丸葉山東菜 播種期	丸葉山東菜 收穫期	丸葉山東菜 收量	丸葉山東菜 害蟲	雪白體菜 播種期	雪白體菜 收穫期	雪白體菜 收量	雪白體菜 害蟲	二十日大根 播種期	二十日大根 收穫期	二十日大根 收量	二十日大根 害蟲
	月日	月日	kg		月日	月日	kg		月日	月日	kg	
普通區	5.9	6.9	27,660	多	5.9	6.9	72,000	多	5.9	6.9	27,000	無
基肥多用區	〃	〃	2,460	多	〃	〃	32,760	多	〃	〃	15,000	無
追肥多用區	〃	〃	45,300	多	〃	〃	72,600	多	〃	〃	38,400	無
追肥回數多用區	〃	〃	11,880	多	〃	〃	42,000	多	〃	〃	25,500	無

區別	葱 播種期	葱 收穫期	葱 收量	葱 害蟲	茄子 播種期	茄子 收穫期	茄子 收量	茄子 害蟲
	月日	月日					kg	
普通區	5.9	8.26	99,540	無	5.9	自 5.27 至 8.12	204,960	無
基肥多用區	〃	〃	66,360	無	〃	自 5.27 至 8.12	199,620	無
追肥多用區	〃	〃	72,660	無	〃	自 5.27 至 8.12	206,340	無
追肥回數多用區	〃	〃	75,600	無	〃	自 5.27 至 8.12	207,960	無

本年度ノ成績ヲ見ルニ、前年度ヨリ害蟲ノ被害多ク、從ツテ收量ハ前年度ヨリ何レモ減少ヲ來セルモ、結果ハ例年ト同ジク各種蔬菜共ニ、露地栽培ノ多肥區ニ於テ良好ナル成績ヲ得タリ

次ニ夏季蔬菜ノ適種選出ヲ目的トシテ、印度 濠洲、ブラジル及內地其他ノ各地

ヨリ、比較的夏季栽培ニ適スト稱セラルヽモノヲ多數蒐集シ、露地栽培ノ適法ニヨリ試作ヲ行ヘリ

今之ガ成績ノ比較的優良ナルモノヲ示セバ次ノ如シ

種類名	品種名	播種期	收穫期	生育狀態	一〇「アール」當收量
		月 日	月 日		kg
里芋	土垂	4. 6	9. 12	良	1,260
	海老	〃	〃	良	1,470
	赤芽	〃	〃	良	1,606
	石川早生	〃	〃	良	1,200
	東京早生	〃	〃	良	943
	八頭	〃	〃	良	576
	豐後	〃	〃	良	1,620
菠薐草	印度菠薐草	5. 2	5. 27	良	1,360
豆	十六豆	4. 27	自 6. 14 至 7. 20	良	1,280
	二十六豆	〃	〃	良	2,770
	黑種三尺	〃	〃	良	2,670
茄子	眞黑	3. 17	自 5. 27 至 8. 2	良	3,263
	蔓眞	4. 18	自 6. 20 至 8. 2	良	3,109
	橋眞	〃	自 6. 14 至 8. 2	良	2,018
玉萵苣	ミグノネート	〃	6. 10	良	936
甘蕃椒	赤太長	〃	自 7. 2 至 8. 15	良	1,155
	黃太長	〃	〃	良	839
ゴーダービン	スネークゴード	4. 8	全部採種用ニ供セリ		
オクラ	バンダツカ	4. 22			
	a	〃			
	b	〃			
	c	〃			
	ホワイトベルベツト	〃			
	アメリカン、ロンググリーン	〃			
	ベンデイ	〃			
	ロンググリーン	〃			

二 葱 頭

耕 種 梗 概

整 地　深耕犁ヲ以テ充分耕起シタル後、刈耙及手耙ニテ土塊ヲ碎キ、地表ヲ均一ナラシメタリ

肥 料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	追肥 第三回	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg		kg	kg	kg
堆肥	15,000	…	…	…	15,000	75.00	39.00	94.50
人糞尿	…	3,750	3,750	3,750	11,250	64.13	14.63	30.38
大豆粕	150	…	…	…	150	9.63	1.98	2.81
過燐酸石灰	150	…	…	…	150	…	28.50	…
硫酸加里	150	…	…	…	150	…	…	72.00
計	…	…	…	…	…	148.76	84.11	199.69

畦巾及株間　畦巾五〇糎トシ、鍬幅ヲ出來ル限リ廣クシ、淺キ作條ヲ作リ之ニ條播セリ

播種量　「アール」當〇・一立內外トセリ

中耕及除草　適宜之ヲ行ヘリ

管 理　發芽後苗ノ生長スルニ從ヒ規定ノ間隔（一二糎）ヲ保タシムル樣間引ヲナシ、地表ヲ澎軟ナラシメタリ、尙病害豫防ノ目的ニテ「八—八式石灰ボルドー合劑」又ハ「一七式銅石鹼液」等ヲ數回撒布シ收穫三〇日乃至四〇日前ニ於テ莖葉ノ捻伏ヲナシ結球ノ促進ヲ計リタリ

(一) 品 種 試 驗

目 的　內外各地ヨリ主ナル品種ヲ蒐集シ、之ガ生育、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　六品種

成　績　一〇「アール」當（播種期九月五日一九月六日　收穫期二月十七日）

區名	品種名	發芽期	發芽良否	生育狀態	結球ノ難易	結球ノ早晩	一〇「アール」當收量	一鱗球ノ平均重量
		月 日					kg	kg
第一區	ホワイトポーテユガル（當場採種白）	9, 14	稍不良	良	易	早	1,410	115
第二區	比律賓種	〃	良	良	易	早	2,520	105
第三區	スペシヤル、アーリーバーレツタ	〃	不良	…	…	…	…	…
第四區	シヤムレツド、バライテイ	〃	不良	…	…	…	…	…
第五區	ホワイトポーテユガル（當場採種赤）	〃	不良	良	易	早	1,440	97
第六區	ホワイトポーテユガル（新）	9, 15	良	良	易	早	1,830	130

本年度ノ成績ヲ見ルニ、供試品種中收量最モ多カリシハ第二區ノ「比律賓種」ニシテ、第六區「ホワイトポーテユガル（新）」、第一區「ホワイトポーテユガル（當場採種白）」等順次之ニ次ゲリ

（二）播種期試驗

目　的　播種期ノ早晩ニヨリ生育狀態、收量及品質等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ、以テ當州下ニ於ケル播種適期ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ、每月一回（自九月至三月）五日ニ播種セリ

供試品種　ホワイトポーテユガル（當場採種白）

成　績　一〇「アール」當

播種期	結球難易	收穫期	一鱗球ノ平均重量	收量	四ケ年平均收量
		月 日	g	kg	kg
九月五日	易	2, 18	112	1,656	2,057
十月五日	稍易	3, 7	105	1,224	884
十一月五日	稍易	4, 17	72	876	347
十二月五日	難	…	…	…	…
一月五日	難	…	…	…	…
二月五日	難	…	…	…	…
三月五日	難	…	…	…	…

本年度ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ九月播ニシテ、十月播十一月播等順次之ニ次ゲリ、而シテ十二月以降三月迄ニ播種セル各區ハ、何レモ發芽不良ニシテ其生育モ惡シク、遂ニ枯死シ成績ヲ得ルコト能ハザリキ

次ニ四ケ年平均收量ヲ見ルニ、九月播最モ多ク、十月播、十一月播區等順次之ニ次ゲリ依ツテ之ヲ見ルニ當地方ノ播種適期ハ九月中ナルモノノ如シ

三　豌　豆

耕　種　梗　概

整　地　深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ニテ土塊ヲ碎キ、地表ヲ均一ニセリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	15,000	…	…	15,000	75.00	39.00	94.00
過燐酸石灰	345	…	…	345	…	65.55	…
硫酸加里	12	…	…	12	…	…	5.76
人糞尿	…	1,875	1,875	3,750	21.38	4.88	10.12
計	…	…	…	…	96.38	109.43	110.38

畦巾及株間　畦巾ハ矮性種、蔓性種、共六〇糎トシ、株間ハ矮性種、一五糎、蔓性種二五糎トシテ點播セリ

播種量　「アール」當一立內外トセリ

中耕及除草　適宜ニ之ヲ行ヘリ

管　理　蔓性種ハ二〇糎內外ニ伸長シタル時、一二〇糎內外ノ支柱ヲ與ヘ尙病害豫防ノタメ「ボルドー」合劑ヲ數回撒布セリ

（一）品　種　試　驗

目　的　從來本島南部地方ハ豌豆ノ產地ニシテ、殊ニ當州下ノ如キハ其栽培面積全島ノ約半數ヲ占メ、其面積少ナカラザレドモ優良品種極メテ

少シ、故ニ州ノ内外ヨリ主ナル品種ヲ蒐集栽培シ、之ガ生育狀態、收量及品質等ヲ試査シ以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　矮性種十品種、蔓性種九品種

成　　績　一〇「アール」當

（1）矮　性　種　（播種期十月二十四日）

品種名	發芽期	發芽良否	生育狀態	收穫期	收量 生莢	收量 生子實	四ケ年平均收量 生莢	四ケ年平均收量 生子實
	月日			月日	kg	kg	kg	kg
アメリカン、ウオンダー	11. 2	良	良	自 12. 16 至 1. 30	356	140	418	133
フアストアンド、ベスト	〃	良	良	自 12. 16 至 1. 30	248	104	235	106
ブリユー、バンタムピース	〃	良	良	自 12. 27 至 1. 30	389	151	381	116
T號極早生莢豌豆	〃	良	良	…	…	…	…	…
YS號極極早生豌豆	〃	良	良	…	…	…	…	…
ヤマト三十日絹莢豌豆	〃	良	良	自 12. 27 至 1. 30	140	72	235	39
ラジオ豌豆	〃	良	良	自 12. 27 至 1. 30	313	151	294	204
日本蔓無絹莢	〃	良	良	自 1. 9 至 2. 3	216	130	132	64
イエツトス、ベレルードピース	〃	良	良	自 12. 16 至 1. 30	270	130	293	97
イエツトスアーリークロツプピース	〃	良	良	自 12. 16 至 1. 9	259	140	468	160

（2）蔓　性　種　（播種期十月二十四日）

品種名	發芽期	發芽良否	生育狀態	收穫期	收量 生莢	收量 生子實	四ケ年平均收量 生莢	四ケ年平均收量 生子實
	月日			月日	kg	kg	gk	kg
アルダーマン	11. 2	良	良	自 2. 13 至 2. 27	352	194	314	127
ウスイ豌豆	〃	良	良	自 2. 13 至 3. 5	707	326	679	306
アラスカ豌豆	〃	良	良	自 2. 13 至 2. 22	96	48	146	44
フレンチシユガー	〃	良	良	自 2. 13 至 2. 27	183	87	260	68
マンモース、メルチングシユガー	〃	良	良	自 2. 22 至 2. 27	104	50	…	…
オランダ	〃	良	良	自 1. 6 至 3. 5	626	326	571	372
パトナ	〃	良	良	自 1. 30 至 3. 5	151	75	193	65
ラージホワイト、マローフアスト	〃	良	良	自 1. 30 至 2. 27	203	98	289	128
在來種	〃	良	良	自 1. 30 至 2. 27	168	88	…	…

本年度ノ成績ヲ見ルニ

生子實ニ於テハ、矮性種十品種中收量最モ多カリシハ「ラジオ」ニシテ、「ブリコーバンタムピース」、「アメリカンウオンダー」、「イエツトスアーリークロツプピース」等順次之ニ次ギ、蔓性種ニアリテハ、九品種中收量最モ多カリシハ「オランダ」及「ウスイ豌豆」ニシテ、「アルダーマン」之ニ次ゲリ

生莢ニ於テ收量最モ多カリシハ、矮性種ニ於テハ「ブリユーバンタムピース」ニシテ、「アメリカンウオンダー」、「ラジオ豌豆」、「イエツトスペレルードピース」等順次之ニ次ギ、蔓性種ニアリテハ「ウスイ豌豆」最モ多ク、「オランダ」、「アルダーマン」、「ラージホワイトマローフアスト」等順次之ニ次ゲリ

尙四ケ年平均成績ヲ見ルニ、前年同樣生子實ノ收量最モ多カリシハ、矮性種ニ於テハ「ラジオ豌豆」、「イエツトスアーリークロツプピース」等ニシテ、蔓性種ニアリテハ「オランダ」、「ウスイ豌豆」等ナリキ、生莢收量ノ最モ多カリシハ、矮性種ニ於テハ「イエツトスアーリークロツプピース」、「アメリカンウオンダー」等ニシテ、蔓性種ニアリテハ「ウスイ豌豆」、「オランダ」等ナリキ

四　蔬菜採種法ノ研究

州下ニ於テ採種困難ナル內外優良蔬菜ニ付キ、採種法ヲ研究シ蔬菜栽培ノ發達ニ資センタメ、本年度ハ次記種類ニツキ施行セリ

一　甘　藍（サクセツシヨン）

二　人　參（アーリーチヤンテネー）

三　蕪　菁（天王寺）

四　葱　頭（ホワイトポーテユガル）

成　績

種類名	品種名	播種期	發芽期	移植期	作付面積	結球始期	抽臺期	開花期	採種期	採種量
		月日	月日	月日	アール	月日				立
人參	アーリー、チヤンテネー	9. 10	9. 18	…	0.1	…	三月下旬	四月中旬	自五月上旬至五月中旬	0.15
	同	10. 10	10. 18	…	0.1	…	三月下旬	四月中旬	自五月上旬至五月中旬	0.10

種類名	品種名	播種期	發芽期	移植期	作付面積	結球始期	抽臺期	開花期	採種期	採種量
		月 日	月 日	月 日	アール	月 日				立
蕪菁	同	11. 10	11. 18	…	0.1	…	五月上旬	五月下旬	—	…
	同	12. 10	12. 19	…	0.1	…	—	—	—	…
	天王寺	9. 10	9. 12	…	0.1	…	三月上旬	—	—	…
	同	10. 10	10. 13	…	0.1	…	—	—	—	…
	同	11. 10	11. 13	…	0.1	…	—	—	—	…
甘藍	サクセッション	8. 30	9. 4	10. 25	0.3	11. 30	三月中旬	四月上旬	自四月下旬至五月中旬	0.6
葱頭	ホワイト、ポーテユガル	9. 10	9. 20	…	0.3	…	十二月上旬	十二月下旬	自一月下旬至三月上旬	0.02

本年度ノ成績ヲ見ルニ、人參ニ於テハ九月播、十月播共ニ抽臺率惡シク、十分ナル成績ヲ得ルコト能ハザリキ、十一月播ハ開花期ニ、十二月播ハ抽臺後、何レモ連續的ノ降雨ニ依リ腐敗枯死セリ

蕪菁ニアリテハ、九月播ノモノ三月上旬ニ至リテ多少ノ抽臺ヲ見タルモ、開花スルニ至ラズシテ腐敗枯死シ、其他十月十一月播ノモノハ何レモ抽臺セズニ腐敗枯死セルタメ成績ヲ得ルコト能ハザリキ

其他甘藍、葱頭等ハ抽臺開花中ニ於テ病蟲害ノ被害ヲ受ケタルタメ、充分ナル成績ヲ得ルコト能ハザリキ

五　優良蔬菜種子ノ增殖

當場ニ於テ從來試驗セル結果、優良ト認メタル種類ニツキ、配付ノ目的ヲ以テ種子ノ增殖ヲ行ヘリ、其成績次ノ如シ

種類名	品種數	播種期	移植期	開花期	播種期	作付面積	採種量
		月 日					
萊豆	11	9. 9	…	十一月中旬	自十二月中旬至三月上旬	5.0	145.0
印度菠薐草	1	11. 5	…	一月下旬	自三月中旬至四月下旬	3.0	250.0
玉萵苣	4	9. 6	10. 20	十二月上旬	自一月中旬至三月上旬	1.0	6.0
甘蕃椒	3	8. 30	〃	十一月上旬	自一月中旬至三月下旬	0.6	2.5
花椰菜	1	8. 30	11. 5	二月上旬	自三月中旬至四月上旬	0.3	1.5
萊豆	4	10. 16	…	十一月中旬	自一月上旬至一月下旬	1.2	10 5

第九　デリス

耕種梗概

苗床

整地　改良犁ヲ以テ二回深耕シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ碎キ、地表ヲ均一ナラシメ幅一米內外ノ平畦ヲ造レリ

挿穗ノ選擇　挿穗ハ長サ二〇糎內外ニテ二芽以上ヲ有スルガ如ク切斷シ、木質化セル蔓莖ヲ選擇セリ

挿植期　十一年十一月十日

挿植法　挿穗ハ一五糎×一〇糎內外ノ間隔ヲ以テ上部ノ一芽ヲ地表ニ現ハスガ如ク斜ニ挿シタル後、敷藁ヲナシテ日光ノ直射及乾燥ヲ防ギ尙適宜灌水セリ

發芽　發芽始三月五日、發芽終四月二十一日

除草　適宜ニ之ヲ行ヘリ

肥料　施用セズ

本圃

整地　深耕犁ヲ以テ二回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ碎キ基肥ヲ入レ更ニ往復耕起シ、豫定ノ畦ヲ造リ後移植セリ

肥料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	20,000	…	20,000	100.0	52.0	126.6
過燐酸石灰	0,580	…	0,580	…	104.3	..
人糞尿	4,580	6,000	10,580	60.0	13.7	28.4
計	…	…	…	160.0	170.0	155.0

追肥ハ第一回四、〇〇〇瓩 第二回二〇〇〇瓩ニ、二分シテ施用セリ

畦幅及株間　畦幅一二〇糎、株間九〇糎

移植期　五月中ニ行ヘリ

管理　移植後覆藁ヲナシ適度ニ灌水ヲ行ヒ、中耕一回、除草三回、蔓返シ三回乃至四回行ヘリ

一品種試驗

目的　廣ク內外各地ヨリ多數品種ヲ蒐集栽培シ、生育狀態、收量及有効成分ノ含有量等ヲ試査シ、州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・三「アール」トシ、各區ニ甲乙二組ヲ設ケ供試品種（這トバ、中トバ、立トバ）ニ付試査セリ

供試品種　九品種臺南第一號、臺南第二號、臺南第三號、臺南第五號、臺南第六號、臺南第八號、臺南第九號、臺南第四號、臺南第七號

成績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

收量調査

區別	品種名	地上莖ノ調査 最長	最短	生枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當（一五六〇〇本） 生根重量	乾根重量	乾燥歩合	收量順位	取寄先及品種
		m	m	本	kg	g	g	kg	kg	%		
第一區	臺南第一號	6.980	3.510	8.7	1.617	363.0	157.5	5662,800	2457,000	43.4	5	嘉義這トバ
第二區	臺南第二號	8.030	3.230	9.1	1.741	364.5	166.5	5685,800	2597,400	45.7	4	ボルネオ這トバ
第三區	臺南第三號	6.425	3.050	6.5	1.161	314.5	129.0	4906,200	2013,400	41.0	6	ゲーランン這トバ
第四區	臺南第五號	6.045	2.896	8.2	2.315	438.5	193.5	6840,600	3018,600	44.1	2	新營中トバ
第五區	臺南第六號	9.015	4.700	6.9	2.310	534.0	255.5	8330,400	3985,800	47.9	1	ボルネオ中トバ
第六區	臺南第八號	2.863	1.790	6.2	1.435	371.5	173.5	5795,400	2706,600	46.7	3	ボルネオ立トバ

備考　第七區、第八區、第九區、ハ苗ヲ同時ニ得ラレザリシニヨリ一ケ年遲レタリ

同生育調査

區別	品種名	植付月日	活着良否	生育狀態	收穫月日	生育日數
		年 月 日			年 月 日	
第一區	臺南第一號	11. 5.30	良	可	13. 5.19	二ケ年
第二區	臺南第二號	〃	良	良	13. 5.23	同
第三區	臺南第三號	〃	良	可	13. 5.26	同
第四區	臺南第五號	〃	良	可	13. 5.27	同
第五區	臺南第六號	〃	良	最良	13. 5.27	同
第六區	臺南第八號	〃	稍良	可	13. 6.3	同

本試驗ハ目下繼續中ニシテ未調査ノモノ有レドモ調査ヲ終リタルモノニ付此ヲ示セバ、第五區デリス臺南第六號、最モ收量多ク、第四區デリス臺南第五號（以上中トバ）第六區デリス臺南第八號、（立トバ）第二區デリス臺南第二號、第三區デリス臺南第三號、第一區デリス臺南第一號（以上這トバ）等順次之レニ次ゲリ

備考　有効成分ノ含有量及含有率ハ分析依頼中ナリ

二栽培法試驗

（一）繁殖法試驗

目的　デリスノ繁殖法ニハ種々アルト共ニ其等ノ適期明カナラズ、故ニ本試驗ハ如何ナル繁殖法ニ對シテハ如何ナル時期ヲ以テ最モ適スルヤヲ試査シ、以テ各種繁殖法ニ對シ最モ合理的ナル適期ヲ知ルト共ニ最モ有利ナル繁殖法ニ對スル最適期ヲ知ラムトス

試驗方法　挿木根分ケ及壓條法ニ付每月一回中旬之ヲ施行シ之ガ活着歩合ノ良否ヲ調査セリ

供試品種　臺南第一號

成績

區別	繁殖方法調査本數 / 月別	挿木	根分	壓條
		五〇本宛	一〇本宛	一〇本宛
		%	%	%
第一區	四月	40.0	60.0	40.0
第二區	五月	64.0	60.0	30.0
第三區	六月	62.0	70.0	40.0
第四區	七月	80.0	50.0	80 0
第五區	八月	64.0	10.0	30.0
第六區	九月	74.0	40.0	50.0
第七區	十月	54.0	10.0	80.0
第八區	十一月	70.0	10.0	80.0
第九區	十二月	44.0	30.0	90.0
第十區	一月	76.0	50.0	90.0
第十一區	二月	82.0	70.0	70.0
第十二區	三月	78.0	50.0	30.0

本年度ノ成績ヲ見ルニ、挿木ニ於テハ第十一區二月最モ活着良ク次ニ第四區七月、第十二區三月、第十區一月、第六區九月、第八區十一月、等之レニ次ギ、其他ノ月ハ著シク劣レリ

根分ニ於テハ第十一區二月、第三區六月、相等シク稍々良好ニシテ、第一區四月、第二區五月、第四區七月、第十區一月、第十二區三月等之レニ次キ、其他ノ月ハ著シク劣レリ

壓條ニ於テハ第九區十二月、第十區一月、等シク良好ニシテ第四區七月、第七區十月、第八區十一月、第十一區二月、等之レニ次ギ其他ハ著シク劣レリ

(二) 植付適期試驗

目　的　栽培時期ニヨリ其收量及ビ有効成分ノ含有量ニ差アリト思ハルヽニヨリ其適期ヲ知ラントス

試驗方法　九月ヨリ各月別ノ中旬ニ植付滿二ケ年栽培シ收量及有効成分ヲ調査セリ

供試品種　臺南第一號

成　績「ヘクタール」當

收量調査

區別	試驗別	地上莖ノ調査 最長	最短	主枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當(一五六〇〇本) 生根重量	乾根重量	乾燥歩合	收量順位
		m	m	本	kg	gg	kg	gk	kg	%	
第一區	十月收穫	6.410	2.910	9.6	2.092	383.0	173.0	5974.800	2698.800	45.2	1
第二區	十一月收穫	7.020	2.910	9.0	1.611	334.0	149.0	5210.400	2324.400	44.6	4
第三區	十二月收穫	7.596	3.715	10.2	1.960	339.5	155.0	5296.200	2418.000	45.7	3
第四區	一月收穫	7.835	3.550	8.3	2.279	320.0	164.0	4992.000	2558.400	43.2	2
第五區	二月收穫	6.890	2.870	7.7	1.687	287.0	149.0	4477.200	2324.400	51.9	5
第六區	三月收穫	6.990	2.590	5.5	1.204	217.0	97.0	3385.200	1513.200	44.7	8
第七區	四月收穫	7.158	3.400	5.4	1.420	218.0	97.0	3400.800	1513.200	44.5	7
第八區	五月收穫	7.690	3.510	7.7	1.501	320.0	117.0	4992.000	1825.200	36.6	6
第九區	六月收穫	5.699	3.020	4.4	.526	98.0	45.0	1528.800	702.000	45.9	12
第十區	七月收穫	5.680	2.620	5.0	.643	116.0	49.0	1809.600	764.400	42.3	11
第十一區	八月收穫	6.425	2.280	4.4	.793	161.0	54.0	2517.600	842.400	38.7	10
第十二區	九月收穫	6.425	2.715	4.7	.919	138.0	55.0	2152.800	858.000	39.9	9

同生育調査

區別	試驗別		植付月別	活着良否	生育狀態	收穫月日	生育期間
			年月日			年月日	
第一區	十月收穫	五月挿木苗	11.11.15	良	可	13.10.15	二ケ年
第二區	十一月收穫	六月挿木苗	11.12.15	良	可	13.11.15	同
第三區	十二月收穫	七月挿木苗	12. 1.15	良	可	13.12.15	同
第四區	一月收穫	八月挿木苗	12. 2.15	良	可	14. 1.15	同
第五區	二月收穫	九月挿木苗	12. 3.15	良	可	14. 2.15	同
第六區	三月收穫	十月挿木苗	12. 4.15	良	可	14. 3.15	同
第七區	四月收穫	十一月挿木苗	12. 5.15	良	可	14. 4.15	同
第八區	五月收穫	十二月挿木苗	12. 6.15	良	可	14. 5.15	同
第九區	六月收穫	一月挿木苗	12. 7.15	良	可	14. 6.15	同
第十區	七月收穫	二月挿木苗	12. 8.15	良	可	14. 7.15	同
第十一區	八月收穫	三月挿木苗	12. 9.15	良	可	14. 8.15	同
第十二區	九月收穫	四月挿木苗	12.10.15	良	可	14. 9.15	同

本年度ノ成績ヲ見ルニ、第一區五月挿木苗十一月植十月收穫セルモノ、乾根收量ハ最モ多ク

第四區　八月挿木苗二月植一月收穫セルモノ之レニ亞ギ

第三區　七月挿木苗一月植十二月收穫

第二區　六月挿木苗十二月植十一月收穫

第五區　九月挿木苗三月植二月收穫

第八區　十二月挿木苗六月植五月收穫

第七區　十一月挿木苗五月植四月收穫

第六區　十月挿木苗四月植三月收穫

第十二區　四月挿木苗十月植九月收穫

第十一區　三月挿木苗九月植八月收穫

第十區　二月挿木苗八月植七月收穫

第九區　一月挿木苗七月植六月收穫

等順次收量ヲ減ゼリ

之ヲ要約スルニ、滿二ケ年栽培ヲナストセバ本圃植付ヲ十一月ヨリ二月迄トシ、收穫期ハ十月ヨリ一月迄ニナセシモノヽ收量最モ多シ次ニ植付期ヲ三月ヨリ六月迄トシ收穫期ハ二月ヨリ五月迄ニ行ヒシモノ之レニ亞グ、植付期ヲ七月ヨリ十月迄トシ收穫期ヲ六月ヨリ九月迄ニ行ヒシモノハ收量最モ少ナカリキ

備　考　有効成分ノ含有率ハ分析依頼中

（三）挿穗ニ關スル試驗

目　的　挿穗ノ長短及熟度ニヨリ其生育狀態、收量及有効成分等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査ツ以テ最適ノ長サ及熟度ヲ知ラントス

試驗方法

施行期	挿穗ノ長キ	挿穗ノ熟度
一月中旬	一五糎	基　部
二月中旬	二〇糎	中　部
三月中旬	二五糎	上　部
四月中旬	三〇糎	柔軟部

供試品種　臺南第一號

耕種梗概　品種試驗ニ準ゼリ

成　績

區別	挿穗ノ部位	挿木數	發芽平均 一ケ月	二ケ月	三ケ月	四ケ月	五ケ月	發芽百分率	順位
		本	本	本	本	本	本	%	
一五糎區									
第一區	基　部	30	11.5	16.8	17.3	17.5	17.3	57.7	4
第二區	中　部	30	9.0	15.8	16.3	15.5	15.3	51.0	
第三區	上　部	30	6.0	10.3	10.0	10.8	11.0	36.7	
第四區	柔軟部	30	1.8	0.8	1.0	1.0	1.0	3.3	
二〇糎區									
第五區	基　部	30	13.0	20.3	21.5	21.3	21.0	70.0	1
第六區	中　部	30	11.8	17.3	17.8	17.5	17.3	57.7	
第七區	上　部	30	8.5	10.5	10.8	11.5	11.0	36.7	
第八區	柔軟部	30	3.0	3.5	3.0	3.3	2.5	8.3	
二五糎區									
第九區	基　部	30	11.8	19.5	20.8	21.0	19.8	66.0	3
第十區	中　部	30	8.5	16.8	17.3	17.0	17.3	57.7	
第十一區	上　部	30	6.8	14.0	12.3	12.5	12.3	41.0	
第十二區	柔軟部	30	2.3	3.8	2.5	2.5	1.3	4.3	
三〇糎區									
第十三區	基　部	30	11.8	16.8	16.8	17.5	17.3	56.7	2
第十四區	中　部	30	9.5	14.3	17.0	17.3	18.8	62.7	
第十五區	上　部	30	6.3	10.0	11.3	11.8	14.0	46.7	
第十六區	柔軟部	30	1.3	2.5	1.5	1.5	1.8	6.0	

本年度ノ成績ヲ見ルニ、挿穗ノ長サニ於テハ、二〇糎ノモノ活着率最モ多ク次ニ三〇糎ノモノ、二五糎ノモノ、一五糎ノモノ、等順次活着率劣レリ

而シテ蔓ノ位置ニ就テハ概シテ基部最モ活着良ク次ニ中部、上部、ニシテ柔軟部ハ最モ活着率劣レリ

收量調査

一五糎區

區別	試驗別	地上莖ノ調査 最長	最短	主枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當(一五六〇〇本) 生根重量	乾根重量	乾燥歩合	順位
		m	m	本	kg	g	g	kg	kg	%	
第一區	基部	5.790	2.762	8.0	.995	363.0	145.0	5662.800	2262.000	40.0	3
第二區	中部	6.930	2.816	8.5	1.509	298.3	140.9	4653.480	2198.040	47.2	4
第三區	上部	8.158	3.150	11.0	1.813	366.7	150.0	5720.520	2340.000	40.9	2
第四區	柔軟部	9.458	3.133	11.3	1.528	368.3	163.3	5745.480	2547.480	44.3	1

二〇糎區

區別	試驗別	地上莖ノ調査 最長	最短	主枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當 生根重量	乾根重量	乾燥歩合	順位
第五區	基部	8.750	3.075	9.5	1.438	326.7	166.7	5096.520	2600.520	51.0	1
第六區	中部	8.950	3.380	7.8	1.477	299.2	134.2	4667.520	2093.520	44.9	3
第七區	上部	7.775	3.133	8.8	1.700	352.5	107.5	5499.000	2457.000	44.7	2
第八區	柔軟部	8.483	3.216	9.1	1.482	298.3	125.0	4653.480	1950.000	41.9	4

二五糎區

區別	試驗別	地上莖ノ調査 最長	最短	主枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當 生根重量	乾根重量	乾燥歩合	順位
第九區	基部	6.650	3.283	6.0	1.038	275.0	130.0	4290.000	2028.000	45.5	3
第十區	中部	7.650	3.438	7.3	1.695	323.3	145.0	5043.480	2262.000	44.9	1
第十一區	上部	8.925	3.308	8.3	1.525	383.3	141.7	5979.480	2210.520	37.0	2
第十二區	柔軟部	8.733	3.300	7.3	1.183	255.8	100.0	3990.480	1560.000	39.1	4

三〇糎區

區別	試驗別	地上莖ノ調査 最長	最短	主枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當 生根重量	乾根重量	乾燥歩合	順位
第十三區	基部	7.508	3.408	7.0	1.473	313.3	140.0	4887.480	2184.000	44.7	2
第十四區	中部	7.250	3.075	6.5	1.458	285.5	126.7	4453.800	1976.520	44.4	4
第十五區	上部	8.766	3.275	8.0	1.358	351.0	126.7	5475.600	1976.520	26.1	3
第十六區	柔軟部	8.117	3.800	8.7	1.870	436.7	183.3	6812.520	2859.480	42.0	1

本年度ノ成績ヲ見ル＝挿穗ノ長サト乾根ノ收量トノ關係ハ挿穗ノ長サ二〇糎ノモノ、收量最モ多ク挿穗ノ長サ一五糎ノモノ、此レ＝次ギ挿穗ノ長サ三〇糎ノモノ、挿穗ノ長サ二五糎ノモノ、等順次收量ヲ減ゼリ

而シテ挿穗ノ位置ト乾根ノ收量トノ關係＝於テハ一五糎區及ビ三〇糎區ハ上部柔軟部ノ挿穗ハ乾根ノ收量稍々多カリシモ二〇糎區及ビ二五糎區ハ基部及ビ中部

ノ收量僅カ＝多カリキ

備　考　有効成分ノ含有率ハ分析依頼中

(四) 畦幅株間試驗

目　的　畦幅株間ノ廣狹＝ヨリ生育狀態、收量及有効成分等＝如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ以テ最適栽培距離ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ面積〇・三「アール」トシ各區＝甲乙二組ヲ設ケ左記方法＝ヨリ試査セリ

(イ) 株間試驗 畦幅	株間	植付本數	(ロ) 畦幅試驗 畦幅	株間	植付本數
cm	cm	本	cm	cm	本
105	50	56	75	60	60
105	60	48	90	60	50
105	70	41	105	60	43
105	80	35	105	90	29
105	90	32	120	60	42
			120	90	25

供試品種　臺南第一號

耕種梗概　品種試驗＝準ゼリ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

(イ) 株間試驗

區別	試驗別	地上莖ノ調査 最長	最短	主枝數	重量	根ノ調査 一本當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當收量調査 生根重量	乾根重量	ヘクタール當本數	乾燥歩合	順位
	cm	m	m	本	kg	g	g	kg	kg	本	%	
第一區	畦幅一〇五 株間五〇	7.500	3.480	7.4	1.714	368.0	131.0	6888.960	2452.320	18.720	35.6	2
第二區	同 株間六〇	8.000	2.780	9.0	1.570	359.0	152.0	5600.400	2371.200	15.600	42.3	3
第三區	同 株間七〇	7.620	3.000	10.4	1.660	428.0	169.0	5786.560	2284.880	13.520	39.5	4
第四區	同 株間八〇	8.400	3.320	10.6	1.630	326.0	130.0	3898.960	1554.800	11.960	39.9	5
第五區	同 株間九〇	9.460	3.770	10.0	1.980	506.0	290.0	5262.400	3016.000	10.400	57.3	1

本年度ノ成績ヲ見ルニ畦幅一〇五糎トシテ株間九〇糎植收量最モ多ク株間五〇糎植此レニ次ギ株間六糎、株間七〇糎、及ビ株間八〇糎植等順次收量ヲ減少セリ

備　考　畦幅試驗ハ苗ノ不足ニヨリ株間試驗ヨリ稍々遲レタル爲メ收穫期ニ達セザリキ

第十　試　作

一　蔬　菜

次ノ蔬菜類ニツキ試作ヲ行ヘリ、其成績ノ大要次ノ如シ

種類名	品種名	播種期	發芽期	移植期	生育狀態	收穫期	一〇「アール」當收量
		月日	月日	月日		月日	kg
蕃茄	ポンデローサ	8.30	9. 3	10. 5	良	自 12.17 至 2. 8	6,745
	サンノーゼキヤンナー	〃	〃	〃	良	〃	5,555
	サンタクララキヤンナー	〃	〃	〃	良	〃	5,780
	アーリーサンタクララキヤンナー	〃	〃	〃	良	〃	7,481
	愛知（ヤマト）	〃	〃	〃	良	〃	5,844
	アメリカンビユーテイ	〃	〃	〃	良	〃	4,766
	クーバースグローブ	〃	〃	〃	良	〃	4,433
	リビングストン	〃	〃	〃	良	〃	3,941
	ウインゾール	〃	〃	〃	良	〃	4,664
	アーリーフリダム	〃	〃	〃	良	〃	4,231
	オックスハート	〃	〃	〃	良	〃	3,971
	ニユーキング	〃	〃	〃	良	〃	4,486
	夏蒔	〃	〃	〃	良	〃	4,319
	マイヤー	〃	〃	〃	良	〃	3,391
	愛知（尾崎）	〃	〃	〃	良	〃	5,562
	サンノーゼキヤンナー（尾崎）	〃	〃	〃	良	〃	5,994
	サンタクララキヤンナー（尾崎）	〃	〃	〃	良	〃	5,986
	タンゼリン	〃	〃	〃	良	〃	4,563
	ホワイトビユーテイ	〃	〃	〃	良	〃	5,189

種類名	品種名	播種期	發芽期	移植期	生育狀態	收穫期	一〇「アール」當收量
		月日	月日	月日		月日	kg
菠薐草	日本大葉	10.29	11. 6	…	良	12.13	2,100
	オランダ	〃	〃	…	良	〃	2,700
雪白體菜	支那種	〃	10.31	…	良	12.14	2,340
馬鈴薯	大谷種	12.17	1.10	…	良	3. 6	1,260
	男爵	2. 3	3. 1	…	良	4.26	1,551
	狩石白丸	〃	〃	…	良	〃	1,510
	ホワイトシチー	〃	3. 6	…	良	〃	873
	メークキン	〃	2.27	…	良	〃	1,506
	相澤一號	〃	2.28	…	良	4.19	570
	蝦夷錦	〃	〃	…	良	4.26	1,076
	極早生白丸男爵	1. 7	1.31	…	良	4. 2	810
	アーリーローズ	〃	〃	…	良	3.27	773

本年度ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ蕃茄ニ於テハ「アーリーサンタクララキヤンナー」ニシテ、「ポンデローサ」「サンノーゼキヤンナ」「サンタクララキヤンナー（尾崎）」愛知「ヤマト」等順次之ニ次ゲリ、馬鈴薯ニアリテハ九品種中「男爵薯」最モ收量多ク、「石狩白丸」、「メークキン」等之ニ次ゲリ

二　苴　麻

八品種ニ就キ生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ンガ爲、九月一日播種シ翌年五月十五日ニ收穫ヲ完了セリ

品種名	子實收量	子實大小	二ケ年平均子實收量
	kg		kg
佐久間種	1,574	中	1,489
ブレタ	1,389	大	1,197
サンギバール	1,343	大	1,482
ベルメリヨ	880	稍大	1,257
アンナA	1,139	中	1,022
アンナB	926	中	1,302
ブランカA	1,213	中	1,480
ブランカB	1,324	中	1,556

本年度ノ成績ヲ見ルニ、生育期間ノ後期ニ於テ屢々降雨アリテ多少徒長セル傾向アリタリ而シテ供試品種中子實收量最モ多カリシハ佐久間種ニシテ、「プレタ」、「サンギバール」、「ブランカB」等順次之レニ次ゲリ

次ギニ二ケ年平均子實收量ニ於テハ、「ブランカB」收量最モ多ク佐久間種之レニ次ギ、「サンギバール」、「ブランカA」等順次之レニ次ゲリ

三　薑　　黄

四品種ニ就キ其ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ンガタメ、昭和十三年二月十四日種苗ヲ植付ケ、同十四年二月十五日ニ收穫セリ

其ノ成績次ノ如シ　「ヘクタール」當

品種名	根莖收量	品質	四ケ年平均根莖收量
	kg		kg
大黄（在來種）	5,088	深黄	11,371
印度一號A	4,320	同	6,540
印度一號B	7,536	同	15,968（二ケ年）
印度二號	8,256	黄	13,315

本年度ノ成績ヲ見ルニ、根莖收量最モ多カリシハ印度二號ニシテ、印度一號B之レニ次ゲリ

第十一　果　　樹

一　檬　　果

耕　種　梗　概

整　地　改良犁ニテ二回耕起シ、刈耙及手耙ヲ以テ土塊ヲ碎キ、地表ヲ均一ナラシメル後、規定ノ間隔ニ植穴ヲ掘リタリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

幼樹ニ對シテハ

大豆粕、七九〇瓩、過燐酸石灰一八五瓩、硫酸加里一〇五瓩、成樹

成樹ニ對シテハ

大豆粕　八五〇瓩、過燐酸石灰　六二〇瓩、硫酸加里　二七〇瓩、

右肥料ヲ調合シ、年二回三月十二日、及九月二十五日ニ枝ノ直下ヲ標準ニ圓形ニ溝ヲ掘リ、肥料ヲ施シタル後覆土セリ

畦巾及株間　畦巾株間共五、五 米トセリ

栽植本數　「アール」當約三本トセリ

管　理　中耕除草ハ適宜之ヲ行ヒ、樹間ニハ差支無キ限リ綠肥ヲ間作セリ、尙病蟲害ニ對シテハ特ニ注意シテ驅除豫防ニ努メ、果實ニ對シテハ袋掛ヲ行ヒ、以テ病蟲害ノ被害ヲ豫防セリ贅枝、枯枝等ノ剪定ニ對シテハ、果實ノ收穫後適宜之ヲ行ヘリ

（一）品　種　試　驗

目　的　內外各地ヨリ品種ヲ蒐集栽培シ、生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ、以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗方法　一品種ノ作付面積ヲ一、二「アール」トシ、次記品種ニツキ試査セリ

供試品種

品種名	品種名	品種名
Madoe	Aroemanis	Akkelgroom
Pekananda	Manalagi	Carabao
Thenokir	Gadoeng	Lalidjiwo
Golek	Java	Pico
Boedaja	Jaffna	Balawi
Pairi	Dilpasand	Alphonso
Thotapari	Bombay	Langra
Creeping	Golopkhas	Dophara
Jagataramani	Kapatbhanga	Maldah
Malgowa	Sarikhas	Manickjee Rustomjee
All the Year Round	Begumpasing	Bombay Dr Kings Finest
Fujilibibi	Khirsapati	Sipia
Pearaphuli	Sabja	Mombasa
Te-Phala	Neelum	Antonio Rustanji
カルカッタ第一號ヨリ第四號	シヤムホワイト	牛糞樣、柿菓香樣

成　績　本年度ハ開花盛期ノ二、三月頃ニ降雨多カリシ爲メ、結實甚ダ不良ニシテ、供試品種五十品種中結實セルモノハ、「カルカツタ」第三號「カルカツタ」第四號、「カラバオ」、「マドウ」、「アロマニス」、「チエノキル」、「ラリジオ」、「Boedaja」、「Dilpasand」、「Sabja」等ノ十品種ナリシモ、何レモ結實數僅少ナリキ、而シテ之等各品種ノ收量及果實ノ調査成績ヲ示セバ次ノ如シ

品種名	一本當收量		一顆ノ重サ		果實ノ大サ			品質及風味
	個數	重量	最大	平均	長サ	巾	厚サ	
		kg	g	g	cm	cm	cm	
カルカツタ第三號	12	3,356	385	280	9.8	6.8	7.2	品質風味共ニ良好
第四號	12	2,135	254	178	8.5	6.0	6.7	品質風味共ニ良好一種ノ香氣ヲ有ス
カラバオ	9	2,586	370	287	11.5	6.5	6.9	品質風味共ニ優良
マドウ	16	4,192	336	262	8.8	7.2	6.7	品質風味共ニ良好
アロマニス	6	2,232	423	372	10.6	7.9	8.2	品質風味共ニ優良
チエノキル	8	3,552	520	444	12.1	8.3	8.8	品質風味共ニ良好
ラリジオ	26	4,259	205	164	6.2	5.6	6.0	品質稍々良好ナルモ甘味稍々少シ
Boedaja	7	1,645	284	235	8.1	5.8	6.5	品質風味共ニ良好
Dilpasand	4	1,257	375	314	10.4	7.6	8.0	品質風味共ニ良好
Sabja	6	3,480	615	580	9.2	11.1	11.5	品質風味共ニ良好ナルモ酸味稍々多シ

前記各品種中、結實狀態及品質、風味等ノ點ヨリ觀察シテ、「カラバオ」、「アロマニス」、「カルカツタ」第三號等優良ナリキ

(二) 繁殖法試驗

目　的　各種繁殖法ニツキ、之ガ利害得失又ハ經濟的價値ヲ調査シ、併セテ之ヨリ得タル苗木ノ生育狀態及結果等ニ如何ナル影響アリヤヲ試査シ、以テ最モ有利ナル繁殖法ヲ知ラントス

試驗方法　取木及實生在來種ヲ砧木トシタル呼接、芽接、切接等ニツキ施行シ其ノ一部ノ苗ヲ栽植シ、適當ナル方法ニヨリ肥培調査セリ

供試品種　カルカツタ種

成　績　本年度ハ品種試驗同樣各種苗何レモ結實甚ダ不良ナリキ、其成績次ノ如シ

種別	一本當收量		一顆ノ重量		果實ノ大サ		
	個數	重量	最大	平均	長サ	巾	厚サ
		kg	g	g	cm	cm	cm
取木苗	12	3,120	325	260	9.6	6.8	7.2
呼接苗	15	4,170	342	278	9.6	7.0	7.2
芽接苗	10	2,810	345	281	9.7	7.1	7.3
切接苗	10	2,720	340	272	9.6	6.9	7.1

以上各種ノ成績ヲ見ルニ、收量最モ多カリシハ呼接苗ニシテ、取木苗之ニ次ギ果實ハ接木苗何レモ取木苗ニ比シ大ナリキ

(三) 繁殖法對適期試驗

目　的　檬果ノ繁殖法ニハ種々アリト雖モ、其適期明ラカナラズ、故ニ本試驗ハ如何ナル繁殖法ニ對シテハ、如何ナル時期ヲ以テ最モ適スルヤヲ試査シ、以テ各種繁殖法ニ對シ最モ合理的ナル適期ヲ知ラントス

試驗方法　切接及水挿接ニツキ、適當ナル方法ニヨリ每月一回中旬ニ施シ、之ガ利害得失ヲ調査セリ

成　績

(1) 切　接

施術期	本數	活着步合	發芽期	活着難易	九ケ年平均活着步合
		%			%
四月	10	50	五月中旬	易	42
五月	10	60	六月中旬	易	29
六月	10	40	七月下旬	稍易	30
七月	10	40	八月中旬	稍易	43
八月	10	60	九月中旬	易	49
九月	10	80	十月中旬	易	73
十月	10	70	十一月下旬	易	31

施術期	本數	活着歩合	發芽期	活着難易	九ケ年平均活着歩臺
		%			%
十一月	10	40	十二月下旬	稍易	17
十二月	10	30	一月下旬	稍難	14
一月	10	40	二月下旬	稍易	12
二月	10	40	三月中旬	稍易	18
三月	10	60	四月中旬	易	32

（2）水挿接

施術期	本數	活着歩合	發芽期	活着難易	六ケ年平均活着歩合
		%			%
四月	10	70	五月中旬	易	43
五月	10	60	六月中旬	易	50
六月	10	60	七月中旬	易	50
七月	10	40	八月中旬	稍難	53
八月	10	60	九月上旬	易	60
九月	10	80	十月中旬	易	72
十月	10	60	十一月中旬	易	48
十一月	10	40	十二月中旬	稍難	35
十二月	10	40	一月下旬	稍難	33
一月	10	50	二月下旬	稍易	35
二月	10	50	三月中旬	稍易	42
三月	10	60	四月中旬	易	53

本年度ノ成績ヲ見ルニ、切接ニ於テハ九月ニ施術セルモノ最モ良好ニシテ、十月、八月、五月、三月等順次之ニ次ギ、水挿接ニアリテハ、三月、四月、五月、六月、八月、九月、十月等ニ施術セルモノ最モ良好ナリキ

尙切接ノ九ケ年平均成績ニ於テハ、九月ニ施術セルモノ最モ良好ニシテ、八月七月、四月等順次之ニ次ギ、水挿接ノ六ケ年平均成績ニアリテハ、九月最モ良好ニシテ八月、七月順次之ニ次ゲリ

二　果樹母樹園ノ經營並ニ熱帶果樹苗育成配付

目　的　廣ク溫熱帶各種ノ果樹類ヲ蒐集栽培シ、生育習性ヲ調査スルト共ニ

接木、挿木、取木等ノ方法ニヨリ、之ガ母本ノ增殖ヲ圖ランタメ母樹園ヲ經營セリ而シテ、熱帶果樹類ニ對シテハ配付ノ目的ヲ以テ苗木ノ育成ヲ行ヘリ

本年度迄ニ蒐集栽培セル溫熱帶果樹類ヲ擧グレバ次ノ如シ

檬果、サポヂラ、ランプタン、パインアツプル、モンキジヤク、ラツカム、ジヤバプラム、サワソツプ、ブラジルチエリー、ブラジルナツト、マンゴーステーン、マレーアツプル、カリツサ、牛心梨、龍眼、ペカン、蓮霧、蕃石榴、バナナ、蒲桃、荔枝、セイロンオリーブ、蕚婆、五歛子、蕃荔枝、カナリユム、波羅蜜、黃枇、パヽヤ珈琲、マカダミヤナツト、カカオ、アボカード、カシユナツト、蕃齡眼、丸實果物時計草、大長實果物時計草、棗、枇杷、柑橘類、柿毛柿、李、桃

第十二　棉原種圃ノ經營

目　的　總督府棉作ニ關スル年度計劃事業ノ對應事業トシテ種子採種ノタメ棉原種圃ヲ經營セリ

設置場所並ニ面積　新化郡新市庄　五「ヘクタール」
新營郡後壁庄　十「ヘクタール」
東石郡義竹庄　十「ヘクタール」
虎尾郡海口庄　五「ヘクタール」
計　三十「ヘクタール」

原種品種　陸地棉エキスプレス

成　績

郡別	實棉一等棉總收量	「ヘクタール」當實棉收量	種子總收量	摘要
	kg	kg	kg	
新化郡	1,543	309	…	
新營郡	6,989	699	…	
東石郡	7,443	744	…	
虎尾郡	4,738	948	…	
計	20,713	…	12,480	

生產原種ハ之レヲ全部州棉作奬勵事業ニ配給セリ

農藝化學部

農藝化學部

第一　水　稻

一　水稻作ニ對シ窒素質及燐酸質肥料肥効試驗

（一）　窒素質肥料肥効試驗

目　的　水稻作ニ對シ各種窒素質肥料ノ肥効ヲ比較セントス

耕種梗概　水稻品種試驗ニ準ゼリ

但シ肥料ハ「ヘクタール」當窒素七五瓩ノ割合ニ燐酸及加里ハ各一一三瓩ノ割合ニ過燐酸石灰、硫酸加里ヲ以テ施用セリ

供試品種　臺中六五號

試驗區別　一區ノ面積〇・一五「アール」（甲、乙、丙三組ノ平均）

成　績　「ヘクタール」當

第一期作　（播種期一月十一日　挿秧期二月二十七日）

試驗區別	出穂期	成熟期	稈長	分蘖	ヘクタール當收量			一立重量		七ケ年平均籾收量
					籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月 日	月 日	cm	本	kg	kg	kg	g	g	kg
無窒素區	5. 6	6. 6	69. 5	13.8	3,418	2,744	3,105	629	822	3,493
硫酸アンモニア區	5. 5	〃	73. 2	14.8	4,228	3,362	3,315	622	822	4,249
大豆粕區	5. 7	〃	76. 2	18.7	5,509	3,548	4,483	612	814	4.804
尿素石灰區	5. 5	6. 7	72. 0	15.2	3,871	3,101	3,984	620	822	4,103
ロイナホス區	5. 6	〃	73. 9	16.0	4,271	3,395	3,561	627	814	4,294
ニトロホスカ區	5. 5	〃	71. 9	15.4	3,922	3,094	3,313	625	813	4,047
硫燐安區	〃	〃	73. 7	14.4	4,149	3,282	3,585	622	816	4,303
燐安肥料區	〃	〃	75. 5	16.0	4,381	3,472	3,758	626	820	× 4,154

×印ハ六ケ年平均

第二期作 （播種期七月五日 挿秧期七月二十四日）

試驗區別	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	ヘクタール當收量			一立重量		七ケ年平均籾收量
					籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月 日	月 日	cm	本	kg	kg	kg	g	g	kg
無窒素區	9.27	11. 6	77. 8	11.5	2,815	2,148	3,873	600	805	3,115
硫酸アンモニア區	〃	〃	80. 4	14.9	3,166	2,485	4,440	588	801	3,393
大豆粕區	9.28	11. 7	84. 8	14.9	3,487	2,758	4,591	588	801	3,587
尿素石灰區	9.27	11. 6	80. 5	13.1	2,936	2,343	3,583	591	799	3,284
ロイナホス區	〃	〃	80. 4	13.5	3,290	2,569	3,903	595	801	3,402
ニトロホスカ區	〃	〃	77. 9	13.7	3,459	2,736	4,183	597	801	3,319
硫燐安區	〃	〃	81. 2	14.3	3,199	2,527	4,187	590	800	3,364
燐安肥料區	〃	〃	84. 4	15.8	3,078	2,321	4,303	584	799	× 3,491

×印ハ六ケ年平均

本年度ノ成績ヲ見ルニ、第一期作ニ於テハ大豆粕區ノ籾收量最モ多ク、燐安肥料區、ロイナホス區、硫酸アンモニア區、硫燐安區等順次之レニ次ゲリ

第二期作ニ於テハ大豆粕區ノ籾收量優レリ、ニトロホスカ區、ロイナホス區、硫燐安區、硫酸アンモニア區等順次之レニ次ゲリ

（二） 燐酸質肥料肥効試驗

目　的　水稻作ニ對シ各種燐酸質肥料ノ肥効ヲ比較セントス

耕種梗概　水稻品種試驗ニ準ゼリ

但シ肥料ハ「ヘクタール」當燐酸七五瓩ノ割合ニ窒素及加里ハ各一一三瓩ノ割合ニ硫酸アンモニア、硫酸加里ヲ以テ施用セリ

供試品種　臺中六五號

試驗區別　一區ノ面積〇・一五「アール」

成　績　「ヘクタール」當（甲、乙、丙、三組ノ平均數）

第一期作 （播種期一月十一日 挿秧期二月二十七日）

試驗區別	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	ヘクタール當收量			一立重量		七ケ年平均籾收量
					籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月 日	月 日	cm	本	kg	kg	kg	g	g	kg
無燐酸區	5. 6	6. 7	73.9	17.2	4,438	3,564	3,345	633	813	4,199
過燐酸石灰區	〃	〃	77.6	16.5	4,662	3,623	3,746	626	813	4,290
ロイナホス區	〃	〃	76.0	17.7	3,938	3,103	3,662	630	817	4,160
ニトロホスカ區	〃	〃	75.6	12.7	3,645	3,075	3,490	631	818	3,847
硫燐安區	5. 5	〃	77.9	13.6	4,392	3,504	3,527	627	819	4,192
燐安肥料區	5. 8	〃	78.3	17.9	5,097	4,037	3,670	618	815	× 4,519
改良敷島肥料區	5. 6	〃	78.7	15.6	4,440	3,542	3,530	627	816	× 4,291
骨粉區	〃	〃	76.7	13.7	4,435	3,556	3,763	625	816	△ 4,335
燐酸アルミナ區	〃	〃	78.5	15.4	4,764	3,702	3,328	616	819	△ 4,497

×印ハ六ケ年平均　△印ハ五ケ年平均

第二期作 （播種期七月五日 挿秧期七月二十四日）

試驗區別	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	ヘクタール當收量			一立重量		七ケ年平均籾收量
					籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月 日	月 日	cm	本	kg	kg	kg	g	g	kg
無燐酸區	9.27	11. 6	79.3	15.5	2,760	2,211	3,638	574	798	3,275
過燐酸石灰區	〃	〃	79.6	14.4	3,521	2,690	4,491	581	803	3,506
ロイナホス區	〃	〃	80.2	13.5	3,233	2,557	4,287	587	804	3,387
ニトロホスカ區	〃	〃	79.2	15.0	3,036	2,392	4,081	595	806	3,294
硫燐安區	〃	〃	80.4	14.8	3,074	2,444	4,276	581	797	3,370
燐安肥料區	〃	〃	82.1	17.1	3,249	2,547	4,137	580	798	× 3,542
改良敷島肥料區	〃	〃	82.1	16.8	2,999	2,348	4,309	579	795	× 3,448
骨粉區	〃	〃	79.3	15.4	3,461	2,745	4,523	585	792	△ 3,522
燐酸アルミナ區	〃	〃	81.0	16.4	3,223	2,617	4,540	599	799	△ 3,280

×印ハ六ケ年平均　△印ハ五ケ年平均

本年度ノ成績ヲ見ルニ第一期作ニ於テハ燐安肥料區ノ籾收量最モ多ク、燐酸アルミナ區、過燐酸石灰區、無燐酸區、骨粉區等順次之レニ次ゲリ

第二期作ニ於テハ過燐酸石灰區ノ籾收量最モ多ク骨粉區、燐安肥料區、ロイナ

ホス區、燐酸アルミナ區等順次之レニ次ゲリ

第二 棉肥料試驗

(一) 三要素試驗

目　的　州下ニ於ケル代表的土壤ニ付キ棉作ニ對スル三要素天然供給量ノ多寡ヲ檢シ、以テ施肥標準量査定ニ資セントス

試驗方法　試驗容器　煉瓦製ポツト二區制トス

供試土壤　洪積層赭土、砂岩頁岩質土壤、粘板岩質土壤

供試品種　陸地棉エキスプレス

供試區　無肥料區、無窒素區、無燐酸區、無加里區、完全區、完全石灰加用區

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ肥料ハ一「ポツト」當窒素、燐酸及加里各三瓦ノ割合ニ、硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ以テ全量基肥トシテ施用ス

成　績　(甲、乙、二組ノ平均各一枠當收量)(播種期六月十二日)

試驗區別		收穫期 自	收穫期 至	草丈	莖(主根ヲ含ム)	葉及空蒴(落花及落蕾ヲ含ム)	實綿
		月日	月日	cm	g	g	g
洪積層赭土	無肥料區	10.23	11.23	38.0	5.60	20.45	10.50
同	無窒素區	〃	〃	38.0	8.85	29.85	15.40
同	無燐酸區	〃	〃	55.0	24.40	58.80	30.20
同	無加里區	〃	〃	39.0	7.75	23.75	18.20
同	完全區	〃	〃	58.5	30.20	58.80	30.80
同	完全石灰加用區	〃	〃	60.5	37.20	60.80	32.20
砂岩頁岩質土壤	無肥料區	〃	〃	39.0	4.85	22.40	7.70
同	無窒素區	〃	〃	44.0	9.75	32.75	15.10
同	無燐酸區	〃	〃	68.5	22.25	58.75	28.30
同	無加里區	〃	〃	55.0	17.45	41.40	7.60

試驗區別		收穫期 自	收穫期 至	草丈	莖(主根ヲ含ム)	葉及空蒴(落花及落蕾ヲ含ム)	實綿
		月日	月日	cm	g	g	g
同	完全區	10.23	11.23	75.0	24.00	59.20	29.80
同	完全石灰加用區	〃	〃	73.5	39.00	60.50	34.60
粘板岩質土壤	無肥料區	〃	〃	60.0	21.00	50.75	20.20
同	無窒素區	〃	〃	59.0	18.35	62.55	28.40
同	無燐酸區	〃	〃	72.5	23.05	59.20	36.20
同	無加里區	〃	〃	63.0	26.80	52.65	23.80
同	完全區	〃	〃	90.0	30.70	67.85	45.20
同	完全石灰加用區	〃	〃	73.0	29.80	53.15	38.80

本年度ノ成績ヲ見ルニ洪積層赭土ニ於テ三要素天然供給量最少ナルハ窒素ニシテ加里之ニ次ギ燐酸ハ比較的潤澤ニ存スルナラン、實綿收量最モ多カリシハ完全石灰加用區ナリ

次ニ砂岩頁岩質土壤ニアリテハ加里ノ窮乏著シク窒素之ニ次ギ燐酸ハ稍々潤澤ナリ

更ニ粘板岩質土壤ニアリテハ前記二種ノ土壤ニ比シ地力稍々高ク三要素需要ノ度ハ加里ヲ第一トシ以下窒素、燐酸ノ順位ニアリ、而シテ石灰加用ニ依ル增收ヲ認メズ

(二) 三要素適量試驗

目　的　棉作ニ對スル肥料三要素ノ合理且經濟的施用量ヲ査定セントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・三「アール」トシ各區ニ甲乙二組ヲ設ケ左記區別ニヨリ試驗ヲ施行セリ

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量 窒素	ヘクタール當三要素施用量 燐酸	ヘクタール當三要素施用量 加里	備考
		kg	kg	kg	
第一區	無肥料區	…	…	…	
第二區	無窒素區	…	120	120	
第三區	窒素六〇瓩區	60	120	120	

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量			備考
		窒素	燐酸	加里	
		kg	kg	kg	
第四區	同 一二〇瓩區	120	120	120	
第五區	同 一八〇瓩區	180	120	120	
第六區	同 二四〇瓩區	240	120	120	
第七區	無燐酸區	120	…	120	
第八區	燐酸六〇瓩區	120	60	120	
第九區	同 一八〇瓩區	120	180	120	
第十區	無加里區	120	120	…	
第十一區	加里六〇瓩區	120	120	60	
第十二區	同 一八〇瓩區	120	120	180	

（燐酸一二〇瓩區、加里一二〇瓩區ノ二區ハ窒素一二〇瓩區ニ等シキヲ以テ省略セリ）

耕種梗概　品種試験ニ準ズ

但シ肥料ハ硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ用ヒ全量ノ⅓ヲ基肥トシ殘⅔ヲ追肥トシテ播種後三十五日目ノ二回ニ分施セリ

成績　「ヘクタール」當（甲、乙、二組ノ平均數）（播種期六月十二日）

其一　三要素試驗

區番號	區名	收穫期		草丈	收量			繰綿指數	繰綿歩合
		自	至		乾燥莖	實綿	繰綿		
		月 日	月 日	cm	kg	kg	kg		%
第一區	無肥料區	9.21	12.12	49	778	211	62	100	29.4
第二區	無窒素區	〃	〃	56	1,042	542	162	261	29.9
第七區	無燐酸區	〃	〃	86	2,458	1,176	345	556	29.3
第十區	無加里區	〃	〃	70	1,611	655	199	321	30.4
第四區	三要素區	〃	〃	90	2,792	1,240	365	588	29.4

其二　窒素適量試驗

區番號	區名	收穫期		草丈	收量			繰綿指數	繰綿歩合
		自	至		乾燥莖	實綿	繰綿		
		月 日	月 日	cm	kg	kg	kg		%
第二區	無窒素區	9.21	12.12	56	1,042	542	162	100	29.9
第三區	窒素六〇瓩區	〃	〃	77	2,083	1,101	334	206	30.3
第四區	同 一二〇瓩區	〃	〃	90	2,792	1,240	365	225	29.4
第五區	同 一八〇瓩區	〃	〃	88	2,639	1,286	376	232	29.2
第六區	同 二四〇瓩區	〃	〃	85	2,694	1,291	381	235	29.5

其三　燐酸適量試驗

區番號	區名	收穫期		草丈	收量			繰綿指數	繰綿歩合
		自	至		乾燥莖	實綿	繰綿		
		月 日	月 日	cm	kg	kg	kg		%
第七區	無燐酸區	9.21	12.12	86	2,458	946	277	100	29.3
第八區	燐酸六〇瓩區	〃	〃	87	2,514	1,209	365	131	30.2
第四區	同 一二〇瓩區	〃	〃	90	2,792	1,240	365	131	29.4
第九區	同 一八〇瓩區	〃	〃	91	2,764	1,432	441	159	30.8

其四　加里適量試驗

區番號	區名	收穫期		草丈	收量			繰綿指數	繰綿歩合
		自	至		乾燥莖	實綿	繰綿		
		月 日	月 日	cm	kg	kg	kg		%
第十區	無加里區	9.21	12.12	70	1,611	655	199	100	30.4
第十一區	加里六〇瓩區	〃	〃	82	2,250	1,136	346	174	30.5
第四區	同 一二〇瓩區	〃	〃	90	2,792	1,240	365	183	29.4
第十二區	同 一八〇瓩區	〃	〃	89	2,861	1,450	436	219	30.1

本年度ノ成績ヲ見ルニ繰綿收量最モ多カリシハ三要素試驗ニ於テハ無燐酸區、窒素適量試驗ニアリテハ窒素二四〇瓩區、同燐酸ニアリテハ燐酸一八〇瓩區、同加里ニアリテハ加里一八〇瓩區ナリ

（三）窒素質肥料肥効試驗

目的　棉作ニ對シ各種窒素質肥料ノ肥効ヲ比較セントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・二四三「アール」（四・五米×五・四米）トシ各區二組ヲ設ケ、左記區別ニ依リ試驗ヲ施行セリ

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量			備考
		窒素	燐酸	加里	
		kg	kg	kg	
第一區	無肥料區	…	…	…	
第二區	無窒素區	…	120	120	
第三區	硫酸アンモニア區	120	120	120	
第四區	大豆粕區	120	120	120	
第五區	智利硝石區	120	120	120	
第六區	石灰窒素區	120	120	120	
第七區	尿素區	120	120	120	

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ前記各種肥料ハ、何レモ分析ニヨリ所含窒素量ヲ檢知シテ其施用量ヲ査定シ、大豆粕ハ全量ヲ基肥トシ、其他ハ⅓量ヲ基肥トシ、殘⅔量ヲ追肥トシテ播種後三十五日目ノ二回ニ分施セリ

而シテ各區共通ニ施用スベキ燐酸及加里ハ、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ以テシ、前記ト等シク二回ニ分施セリ

成　績　「ヘクタール」當（甲、乙二組ノ平均數）（播種期六月十二日）

區番號	區名	收穫期 自	收穫期 至	草丈	收量 乾燥莖	收量 實綿	收量 繰綿	繰綿指數	繰綿歩合
		月日	月日	cm	kg	kg	kg		%
第一區	無肥料區	9.21	12.12	58	1,047	512	164	100	32.0
第二區	無窒素區	〃	〃	67	1,574	889	269	164	30.3
第三區	硫酸アンモニア區	〃	〃	93	3,071	1,542	472	288	30.6
第四區	大豆粕區	〃	〃	85	2,747	1,490	444	271	29.8
第五區	智利硝石區	〃	〃	87	2,747	1,552	461	281	29.7
第六區	石灰窒素區	〃	〃	84	2,392	1,427	424	259	29.7
第七區	尿素區	〃	〃	91	2,870	1,580	478	291	30.2

本年度ノ成績ヲ見ルニ繰綿收量最モ多カリシハ尿素區ニシテ、硫酸アンモニア區ノ收量之レニ次ギ智利硝石區、大豆粕區、石灰窒素區ノ順位ナリキ

（四）燐酸質肥料肥効試驗

目　的　棉作ニ對シ各種燐酸質肥料ノ肥効ヲ比較セントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・二四三「アール」（四・五米×五・四米）トシ各區ニ甲乙二組ヲ設ケ左記區別ニ依リ試驗ヲ施行セリ

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量 窒素	ヘクタール當三要素施用量 燐酸	ヘクタール當三要素施用量 加里	備考
		kg	kg	kg	
第一區	無肥料區	…	…	…	
第二區	無燐酸區	120	…	120	
第三區	過燐酸石灰區	120	120	120	
第四區	燐酸アルミナ區	120	120	120	
第五區	骨粉區	120	120	120	

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ前記各種肥料ハ何レモ分析ニヨリ所含燐酸量ヲ驗知シテ、其施用量ヲ査定シ其⅓量ヲ基肥トシ殘⅔量ヲ追肥トシテ播種後三十五日目ノ二回ニ分施セリ

而シテ各區共通ニ施用スベキ窒素及加里ハ硫酸アンモニヤ硫酸加里ヲ以テシ、前記ト等シク二回ニ分施セリ

成　績　「ヘクタール」當（甲、乙二組ノ平均數）（播種期六月十二日）

區番號	區名	收穫期 自	收穫期 至	草丈	收量 乾燥莖	收量 實綿	收量 繰綿	繰綿指數	繰綿歩合
		月日	月日	cm	kg	kg	kg		%
第一區	無肥料區	9.21	12.12	58	1,047	512	164	100	32.0
第二區	無燐酸區	〃	〃	90	2,824	1,632	507	309	31.1
第三區	過燐酸石灰區	〃	〃	95	3,333	1,635	505	308	30.9
第四區	燐酸アルミナ區	〃	〃	93	3,071	1,629	491	299	30.1
第五區	骨粉區	〃	〃	87	3,241	1,630	493	301	30.2

本年度ノ成績ヲ見ルニ繰綿收量最モ多カリシハ無燐酸區ニシテ過燐酸石灰區之ニ近ク次デ骨粉區燐酸アルミナ區ニシテ無肥料區ハ著シク收量劣レリ

（五）加里質肥料肥効試驗

目　的　棉作ニ對シ各種加里質肥料ノ肥効ヲ比較セントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・二四三「アール」（四・五米×五・四米）トシ各區ニ甲、乙二組ヲ設ケ左記區別ニヨリ試驗ヲ施行セリ

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量 窒素	ヘクタール當三要素施用量 燐酸	ヘクタール當三要素施用量 加里	備考
		kg	kg	kg	
第一區	無肥料區	…	…	…	
第二區	無加里區	120	120	…	
第三區	硫酸加里區	120	120	120	
第四區	鹽化加里區	120	120	120	
第五區	草木灰區	120	120	120	

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ前記各種肥料ハ何レモ分析ニヨリ所含加里量ヲ驗知シテ、其ノ施用量ヲ査定シ其⅓量ヲ基肥トシ殘⅔量ヲ追肥トシテ播種後三十五日目ノ二回ニ分施セリ

而シテ各區共通ニ施用スベキ窒素及燐酸ハ硫酸アンモニヤ、過燐酸石ヲ以テシ前記ト等シク二回ニ分施セリ

成　績「ヘクタール」當（甲、乙二組ノ平均數）（播種期六月十二日）

區番號	區名	收穫期 自	收穫期 至	草丈	收量 乾燥莖	收量 實綿	收量 繰綿	繰綿指數	繰綿歩合
		月日	月日	cm	kg	kg	kg		%
第一區	無肥料區	9.21	12.12	58	1,047	512	164	100	32.0
第二區	無加里區	〃	〃	78	2,022	1,056	331	202	32.3
第三區	硫酸加里區	〃	〃	97	2,071	1,691	520	317	30.8
第四區	鹽化加里區	〃	〃	90	2,824	1,521	471	287	31.0
第五區	草木灰區	〃	〃	93	3,256	1,537	482	294	31.4

本年度ノ成績ヲ見ルニ繰綿收量最モ多カリシハ硫酸加里區ニシテ以下草木灰區、鹽化加里區ノ順位ナリ

第三　棉ノ肥料施用量ト畦幅株間トノ關係試驗

目　的　棉作ニ當リ肥料施用量ヲ異ニセル場合ニ於ケル畦幅及株間ノ最適距離ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・二四三「アール」（四・五米×五・四米）トシ各區ニ甲、乙二組ヲ設ケ左記區別ニヨリ試驗ヲ施行セリ

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量 窒素	燐酸	加里	備考
		kg	kg	kg	
第一區	肥料小量畦巾株間標準區（畦巾六〇糎 株間二五糎）	60	40	60	
第二區	同　畦巾　七五糎株間　二五糎區	60	40	60	
第三區	同　同　三〇糎區	60	40	60	

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量 窒素	燐酸	加里	備考
		kg	kg	kg	
第四區	同　畦巾　九〇糎株間　二五糎區	60	40	60	
第五區	同　同　三〇糎區	60	40	60	
第六區	肥料中量畦巾株間標準區（畦巾六〇糎 株間二五糎）	120	80	120	
第七區	同　畦巾　七五糎株間　二五糎區	120	80	120	
第八區	同　同　三〇糎區	120	80	120	
第九區	同　畦巾　九〇糎株間　二五糎區	120	80	120	
第十區	同　同　三〇糎區	120	80	120	
第十一區	肥料多量畦巾株間標準區（畦巾六〇糎 株間二五糎）	180	180	180	
第十二區	同　畦巾　七五糎株間　二五糎區	180	180	180	
第十三區	同　同　三〇糎區	180	180	180	
第十四區	同　畦巾　九〇糎株間　二五糎區	180	180	180	
第十五區	同　同　三〇糎區	180	180	180	

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ肥料ハ硫酸アンモニヤ、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ以テ前記要素量ヲ施用シ其⅓量ヲ基肥トシ殘⅔量ヲ追肥トシテ播種後三十五日目ノ二回ニ分施セリ

成　績「ヘクタール」當（甲、乙二組ノ平均數）（播種期六月十二日）

區番號	區名	栽植本數	收穫期 自	收穫期 至	草丈	收量 乾燥莖	收量 實綿	收量 繰綿	繰綿指數	繰綿歩合
		本	月日	月日	cm	kg	kg	kg		%
第一區	肥料小量畦巾六〇糎株間二五糎區	66,400	9.21	12.11	85	2,037	775	235	100	30.3
第二區	同　畦巾七五糎株間二五糎區	53,200	〃	12. 4	89	2,006	871	264	112	30.3
第三區	同　畦巾七五糎株間三〇糎區	44,300	〃	〃	91	2,099	852	259	110	30.4
第四區	同　畦巾九〇糎株間二五糎區	44,400	〃	〃	94	2,068	1,020	308	131	30.2
第五區	同　畦巾九〇糎株間三〇糎區	37,000	〃	12.11	95	2,160	1,074	317	135	29.5
第六區	肥料中量畦巾六〇糎株間二五糎區	66,400	〃	〃	107	3,426	1,203	337	100	28.0
第七區	同　畦巾七五糎株間二五糎區	53,200	〃	〃	111	3,318	1,200	351	104	29.3
第八區	同　畦巾七〇糎株間三〇糎區	44,300	〃	〃	103	3,210	1,199	353	105	29.4

區番號	區名	栽植本數	收穫期 自	收穫期 至	草丈	收量 乾燥莖	收量 實綿	收量 繰綿	繰綿指數	繰綿歩合
		本	月 日	月 日	cm	kg	kg	kg		%
第九區	同 畦巾九〇糎 株間二五糎區	44,400	9,21	12,11	110	3,071	1,310	375	112	28.9
第十區	同 畦巾九〇糎 株間三〇糎區	37,000	〃	〃	114	3,194	1,381	394	117	28.5
第十一區	肥料多量 畦巾六〇糎 株間二五糎區	66,400	〃	〃	107	4,167	1,538	444	100	28.9
第十二區	同 畦巾七五糎 株間二五糎區	53,200	〃	〃	108	4,136	1,626	460	104	28.3
第十三區	同 畦巾七五糎 株間三〇糎區	44,300	〃	〃	116	4,012	1,680	493	111	29.4
第十四區	同 畦巾九〇糎 株間二五糎區	44,400	〃	〃	118	3,765	1,660	473	107	28.5
第十五區	同 畦巾九〇糎 株間三〇糎區	37,000	〃	〃	120	3,242	1,785	512	115	28.9

本年度ノ成績ヲ見ルニ畦巾九〇糎、株間三〇糎區ノ繰綿收量最モ多ク第十四區ヲ除ケバ畦巾株間ノ狹小ナルニツレ繰綿收量漸減ス

第四　土壤中ノ鹽分(鹽化曹達)含有量ノ多少ガ小麥ノ生育ニ及ボス影響ニ關スル試驗

目　的　土壤中ノ鹽分（鹽化曹達）含有量ノ多少ガ小麥ノ生育ニ及ボス影響ヲ知ラントス

試驗方法　一「アール」ノ二〇〇〇分ノ一ノ面積ヲ有スル「ワグネル」氏磁製圓筒ヲ用ヒ各區ニ甲、乙二組ヲ設ケ左記方法ニヨリ試驗ヲ施行ス

供試品種　臺南フロレンス一號

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ肥料ハ一圓筒當リ窒素、燐酸及加里各〇・六瓦ノ割合ニ硫酸アンモニヤ、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ以テシ全量基肥トシテ施用ス

成　績　（甲、乙二組ノ平均一株當收量）（播種期十一月二日）

試驗區別	出穗期	成熟期	草丈	分蘖	子實重量	藁重量	稃重量	備考
	月 日	月 日	cm	本	g	g	g	
食鹽無加用區	12.12	2.11	76.00	9.0	6.03	10.40	0.70	
同　〇・二%加用區	〃	〃	57.66	4·6	3.53	10.70	1.30	

試驗區別	出穗期	成熟期	草丈	分蘖	子實重量	藁重量	稃重量	備考
	月 日	月 日	cm	g	g	g	g	
同　〇・四%加用區	12.12	2.12	69.00	4.6	3.43	9.00	1.06	
同　〇・六%加用區	12.14	2.16	24.60	4.2	2.95	4.20	0.96	
同　〇・八%加用區	12.17	2.20	21.23	3.0	0.40	1.46	0.45	
同　一・〇%加用區	12.22	〃	21.20	2.0	0.20	0.70	0.30	
同　一・二%加用區	〃	2.21	21.00	1.5	0.20	0.80	0.20	

本年度ノ成績ヲ見ルニ加用食鹽ノ增加ニ伴ヒ其ノ被害ヲ增大シ、〇・六%ヲ超ユル時ハ更ニ被害ノ度著シキモノアリ

第五　黃麻肥料試驗

目　的　黃麻栽培上肥料三要素ノ合理且經濟的施用量ヲ査定セントス

試驗方法　本試驗ハ臺南市竹篙厝（臺南本場畑作）並ニ嘉義市車店（嘉義支場水田作）ノ兩所ニ於テ施行シ、一區ノ面積本場ニテハ〇・二四三「アール」（四・五米×五・四米）、支場ニテハ〇・一八「アール」（三六米×五・〇米）トシ、左記區別ヲ設ケ當場純系分離ニ係ル青皮種ニ就キ試驗ヲ施行セリ

區番號	區名	ヘクタール當三要素施用量 窒素	燐酸	加里	備考
		kg	kg	kg	
第一區	無窒素區	…	100	100	
第二區	窒素五〇瓩區	50	100	100	
第三區	窒素一〇〇瓩區	100	100	100	
第四區	窒素一五〇瓩區	150	100	100	
第五區	窒素二〇〇瓩區	200	100	100	
第六區	無燐酸區	100	…	100	
第七區	燐酸五〇瓩區	100	50	100	
第八區	燐酸一五〇瓩區	100	150	100	
第九區	無加里區	100	100	…	
第十區	加里五〇瓩區	100	100	50	
第十一區	加里一五〇瓩區	100	100	150	
第十二區	無肥料區	…	…	…	
第十三區	三要素五〇瓩區	50	50	50	
第十四區	三要素一五〇瓩	150	150	150	

（燐酸一〇〇瓩加里一〇〇瓩及三要素一〇〇瓩ノ三區ハ窒素一〇〇瓩區ニ等シキヲ以テ省略セリ）

耕種梗概　品種試驗ニ準ズ

但シ肥料ハ硫酸アンモニヤ、過燐酸石灰、硫酸加里ヲ施用シ其⅓量ヲ基肥トシ播種前日ニ施用シ殘⅔量ヲ播種後三〇—四〇日經過シ草丈三〇糎以上ニ伸長シタル時追肥トシ施用ス

成　績「ヘクタール」當（甲、乙二組ノ平均數）

臺南本場（畑作）（播種期四月三日）

區番號	區名	收穫期	草丈	乾燥剝皮莖量	乾燥粗皮量	乾燥精洗麻量	同上指數	備考
		月 日	m	kg	kg	kg		
第十二區	無肥料區	8. 9	2.27	2,687	1,891	977	100	
第一區	無窒素區	8.10	2.48	3,847	2,703	1,380	141	
第六區	無燐酸區	8.14	2.90	5,461	4,032	2,282	234	
第九區	無加里區	8.11	2.46	3,141	1,908	988	101	
第三區	三要素區	8.15	2.76	5,381	3,149	1,791	183	窒素一〇〇瓩區ニ等シ

第一區	無窒素區	8.10	2.50	3,847	2,703	1,380	100	燐酸加里及三要素一〇〇瓩區ニ等シ
第二區	窒素五〇瓩區	〃	2.47	4,377	2,997	1,656	120	
第三區	窒素一〇〇瓩區	8.19	2.61	5,381	3,149	1,791	130	
第四區	窒素一五〇瓩區	9. 2	2.67	5,156	3,876	1,709	124	
第五區	窒素二〇〇瓩區	9. 4	2.67	5,400	3,018	1,337	97	

第六區	無燐酸區	8.14	2.62	5,461	4,032	2,282	100	窒素一〇〇瓩區ニ等シ
第七區	燐酸五〇瓩區	9. 5	2.41	4,934	2,920	1,774	78	
第三區	燐酸一〇〇瓩區	8.19	2.61	5,381	3,149	1,791	78	
第八區	燐酸一五〇瓩區	9. 2	2.63	4,788	3,097	1,581	69	

第九區	無加里區	8.11	2.22	3,141	1,908	988	100	窒素一〇〇瓩區ニ等シ
第十區	加里五〇瓩區	8.18	2.38	3,737	2,308	1,298	131	
第三區	加里一〇〇瓩區	8.15	2.61	5,381	3,149	1,791	181	
第十一區	加里一五〇瓩區	8.31	2.65	6,165	3,801	2,112	214	

第十二區	無肥料區	8. 9	2.27	2.687	1,891	977	100	窒素一〇〇瓩區ニ等シ
第十三區	三要素五〇瓩區	8.30	2.56	4,555	2,585	1,347	138	
第三區	三要素一〇〇瓩區	8.15	2.61	5,381	3,149	1,791	183	
第十四區	三要素一五〇瓩區	9. 7	2.79	5,282	3,408	1,841	188	

本年度ノ成績ヲ見ルニ本場ニ於テハ窒素、燐酸ハ一〇〇瓩區ノ收量多ク加里及三要素ハ一五〇瓩區ノ收量優レタリ、又三要素要求ノ度ハ加里最モ大ニシテ窒素之ニ次ギ燐酸最モ少ナカリキ

嘉義支場（水田作）（播種期四月十五日）

區番號	區名	收穫期	草丈	乾燥剝皮莖量	乾燥粗皮量	乾燥精洗麻量	同上指數	備考
		月 日	m	kg	kg	kg		
第十二區	無肥料區	9. 2	2.02	1,397	1,231	1,045	100	
第一區	無窒素區	〃	3.29	2,493	1,861	923	88	
第六區	無燐酸區	〃	3.17	4,948	3,616	2,207	211	
第九區	無加里區	〃	2.81	3,458	2,695	1,334	128	
第三區	三要素區	〃	3.09	5,176	4,217	2,111	202	窒素一〇〇瓩區ニ等シ

第一區	無窒素區	9. 2	3.29	2,493	1,861	922	100	燐酸加里及三要素一〇〇瓩區ニ等シ
第二區	窒素五〇瓩區	〃	2.65	3,375	2,542	1,320	143	
第三區	窒素一〇〇瓩區	〃	3.09	5,176	4,217	2,111	229	
第四區	窒素一五〇瓩區	〃	3.27	6,066	4,873	2,537	275	
第五區	窒素二〇〇瓩區	〃	3.32	6,381	4,986	2,734	296	

第六區	無燐酸區	9. 2	3.17	4,948	3,616	2,207	100	窒素一〇〇瓩區ニ等シ
第七區	燐酸五〇瓩區	〃	3.06	4,726	3,605	1,855	84	
第三區	燐酸一〇〇瓩區	〃	3.09	5,176	4,217	2,111	96	
第八區	燐酸一五〇瓩區	〃	3.04	4,647	3,582	1,826	83	

第九區	無加里區	9. 2	2.81	3,458	2,695	1,334	100	窒素一〇〇瓩區ニ等シ
第十區	加里五〇瓩區	〃	2.82	3,793	2,972	1,576	118	
第三區	加里一〇〇瓩區	〃	3.09	5,176	4,217	2,111	158	
第十一區	加里一五〇瓩區	〃	3.08	6,002	4,770	2,562	192	

第十二區	無肥料區	9. 2	2.02	1,397	1,231	1,045	100	
第十三區	三要素五〇瓩區	〃	2.68	2,844	2,333	1,133	108	
第三區	三要素一〇〇瓩區	〃	3.09	5,176	4,217	2,111	202	窒素一〇〇瓩區ニ等シ
第十四區	三要素一五〇瓩區	〃	3.21	6,895	5,398	2,939	281	

本年度ノ成績ヲ見ルニ窒素ハ二〇〇瓩區、燐酸ハ一〇〇瓩區、加里ハ一五〇瓩區ノ收量優レリ

次ニ三要素要求ノ度ハ窒素ヲ最多トシ以下加里燐酸ノ順位ナリ

病理昆蟲部

病　理　昆　蟲　部

第　一　病　害

一　稻熱病抵抗性品種査定試驗

目　　的　水稻內地種ニ就キ稻熱病ニ對スル抵抗力强キ品種ヲ査定セントス

耕種梗概　水稻內地品種試驗ニ準ゼリ、但シ肥料ハ硫酸「アンモニア」過燐酸石灰硫酸加里ヲ使用シ標準肥料ノ二倍トス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ●〇三「アール」トシ各區ニ甲乙二組ヲ設ケ左記七品種ニ就キ試査セリ

臺中六五號、臺農一八號、N一〇三號、N二四七號、N二五七號

N二五八號、N二六四號

成　　績　「ヘクタール」當（調査株數二〇株甲乙二組ノ平均數）

品種名	稈長	平均一株莖數	穗頸稻熱百分率	節稻熱百分率	穗頸節兩稻熱百分率	穗頸節稻熱百分率合計	葉枯病百分率
	m	本	%	%	%	%	
臺中六五號	1,004	23.3	17.47	2.68	0.75	20.15	…
臺農一八號	900	19.5	52.71	4.99	2.82	57.70	…
N一〇三號	889	17.7	49.15	4.82	2.54	53.97	…
N二四七號	1,009	21.3	36.66	6.35	2.84	43.01	…
N二五七號	1,083	26.7	27.15	19.76	5.81	46.91	…
N二五八號	1,033	26.6	16.53	6.18	1.31	22.71	…
N二六四號	1,112	23.9	9.96	33.84	2.94	43.80	…

收　量

品種名	ヘクタール當收量			一立重量		籾摺歩合	品質
	籾	玄米	藁	籾	玄米		
	kg	kg	kg	g	g	%	
臺中六五號	4,020	3,055	4,440	574	788	76.0	上丁
臺農一八號	1,990	1,502	2,900	570	760	70.0	上下
N一〇三號	3,250	2,356	4,300	555	775	72.5	上下
N二四七號	3,380	2,586	3,825	577	781	76.5	中上
N二五七號	4,760	3,641	5,750	587	768	76.5	上下
N二五八號	4,680	3,580	5,300	570	765	76.5	上
N二六四號	4,925	3,795	5,500	568	785	77.0	中上

本年度ノ成績ヲ見ルニ稻熱病被害最モ多カリシハ臺農一八號ニシテ、N一〇三號、N二五七號、N二六四號、N二四七號、N二五八號、臺中六五號等順次之レニ次ギ被害輕カリキ

籾收量ノ最モ多カリシハN二六四號、ニシテN二五七號、N二五八號、臺中六五號、N二四七號、N一〇三號、臺農一八號等順次之レニ次ゲリ

二　稻熱病被害狀態變異ニ關スル調定

目　的　水稻各品種ニ對スル稻熱病試驗ヲ施行シ水稻各々ニ現ルヽ發病及罹病變異ヲ調査シ以テ抵抗性品種ノ選擇及稻熱病防除ノ資料タラシメントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・一「アール」トシ、各區ニ甲乙二組ヲ設ケ左ノ品種ニ就キ試査ス

標準品種　臺中六五號、龜ノ尾

試驗品種　臺北六號、新竹愛國一號、臺中一一四號、N一〇三號、高雄一〇號臺農二二號

耕種梗概　稻熱病、抵抗性、品種査定試驗ニ準ズ、但シ施肥法、作付法、管理法等ハ各場標準栽培法ニヨル

成　績　〇・一「アール」當（甲乙二組ノ平均數）

品種別	葉稻熱病調査				節稻熱病調査		穗稻熱病調査	
	罹病程度		葉長					
	第一回調査	第二回調査	第一回平均	第二回平均	健全節百分率	罹病節百分率	健全穗百分率	罹病穗百分率
			cm	cm	%	%		
臺中六五號	中	無	31.6	27.6	92.8	7.2	81.1	18.9
臺中一一四號	無	無	33.1	31.9	84.8	15.2	96.1	3.9
N一〇三號	小	小	30.3	32.4	94.6	5.4	76.6	23.4
高雄一〇號	小	小	33.5	34.9	80.1	19 9	88.5	11.5
臺農二二號	中	中	33.3	31.6	91.4	8.6	86.5	13.5
臺北六號	小	小	32.0	25.2	71.1	28.9	70.2	29.8
龜ノ尾	中	小	39.0	29.1	62.0	38.0	50.7	49.3
新竹愛國一號	無	無	34.1	26.1	22.6	77.4	77.1	22.9

本年度ノ成績ヲ見ルニ苗代期中ノ天候ハ順調ニシテ稻熱病ノ發生ヲ見ルニ至ラザリキ二月二十日挿秧後モ快晴打續キ日照多ク稻ノ活着生育共ニ良好ナリシガ三月十日前後ヨリ曇天續キシ爲メニ生育軟弱トナレリ、四月ニ入リテ晴天續キトナリ濕氣高ク稻熱病ノ發生ヲ見ルニ至レリ

第一回葉稻熱病調査ハ四月下旬ニシテ被害ノ最モ多カリシハ龜ノ尾ニシテ臺農二二號、臺中六五號、臺北六號、N一〇三號、高雄一〇號、新竹愛國一號、臺中一一四號、等順次之ニ次ゲリ

四月中旬ヨリ概シテ曇雨天多ク稻ハ生育軟弱トナリ稻熱病ノ蔓延セントス模樣ナリシモ比較的病勢ノ進展ヲ見ズ被害葉ハ枯死シ其後ニ展開セルニ葉ハ比較的病斑少ナク恢復シツヽアリ、五月下旬第二回葉稻熱病調査セルニ被害ノ多カリシハ臺農二二號、ニシテ龜ノ尾、N一〇三號、臺北六號、高雄一〇號、新竹愛國一號、臺中六五號、臺中一一四號、等順次之レニ次ギ輕微トナリ大ナル影響ナキモノヽ如ク出穗セリ其後比較的晴天多ク各品種共健全ナル發育ヲナシツヽアリシモ成熟期ノ近附クニ從ヒ高溫多濕トナリ穗稻熱病漸次發生シ例年ニ比シ被害多カリキ

節稻熱病ノ多カリシハ新竹愛國一號ニシテ、龜ノ尾、臺北六號、高雄一〇號、臺中一一四號、臺農二二號、臺中六五號、N一〇三號、等順次之レニ次ギ被害輕カリキ

穗頸稻熱病ノ多カリシハ龜ノ尾ニシテ、臺北六號、N一〇三號、新竹愛國一號、臺中六五號、臺農二二號、高雄一〇號、臺中一一四號等順次之レニ次ギ被害輕カリキ

收　量

品種別	稈長	分蘖	籾	玄米	一立重量		籾摺歩合
					籾	玄米	
	m	本	kg	kg	g	g	%
臺中六五號	1,063	445.0	4,527	3,599	591	790	79.5
臺中一一四號	1,097	447.5	5,507	4,295	603	799	78.0
N一〇三號	1,026	456.0	4,740	3,617	581	802	76.3
高雄一〇號	1,129	461.5	5,300	3,816	599	793	72.0
臺農二二號	1,035	448.5	4,354	3,048	565	791	70.0
臺北六號	984	489.5	3,347	2,567	581	803	76.7
龜ノ尾	1,074	284.0	2,360	1,673	536	794	70.9
新竹愛國一號	1,040	355.5	2,280	1,653	530	793	72.5

籾收量ノ最モ多カリシハ臺中一一四號ニシテ高雄一〇號、N一〇三號、臺中六五號、臺農二二號、臺北六號、龜ノ尾、新竹愛國一號、等順次之レニ次ゲリ

第二害蟲

一　棉ノ害蟲驅除豫防試驗

目　的　棉ノ害蟲「ふたてんこみどりよこばひ」ニ對シ驅除時期並ニ適當ナル藥劑ヲ知ラントス

耕種梗概　棉ノ品種試驗ニ準ゼリ

（一）藥劑撒布回數試驗

供試品種　「エキスプレス」

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・一「アール」トシ各區ニ甲乙二組ヲ設ケ、デリス根一〇〇瓦ヲ水二〇立ノ割合ニ調製セルモノヲ左記方法ニヨリ試査セリ

比較的幼蟲多キ時期ニ撒布セリ

二回撒布スルモノ、一回撒布スルモノ、無驅除トス

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

區別	試驗別	草丈	乾燥莖收量	實綿收量			繰綿歩合		繰綿收量			收量順位
				上綿	屑綿	計	上綿	屑綿	上綿	屑綿	計	
		m	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	
一區	二回撒布	877	2.678	1,285	59	1,344	28.4	26.7	365	16	381	1
二區	一回撒布	751	2,408	951	68	1,019	28.9	25.8	275	18	293	2
三區	無驅除	757	2,397	457	28	485	29.7	24.4	136	7	143	3

本年度ノ成績ヲ見ルニ、二回驅除區ハ被害少ナク且ツ收量モ多ク、一回驅除區之レニ次ギ無驅除區ハ被害多ク收量モ少ナカリキ

（二）藥劑効力比較試驗

供試品種　「エキスプレス」

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・一「アール」トシ各區ニ甲乙二組ヲ設ケ左記藥劑ヲ撒布シテ試査セリ

第一區　デリス液（二〇〇瓦）
第二區　デリス液（一五〇瓦）
第三區　デリス液（一〇〇瓦）
第四區　デリス液（八〇瓦）
第五區　デリス液（五〇瓦）
第六區　デリス液（三〇瓦）
第七區　デリス液（二〇瓦）
第八區　粉末デリス
第九區　農　光
第一〇區　カンコウ
第一一區　デリス石鹽
第一二區　デリゲン
第一三區　ハルク

第一四區　ピレドゲン

第一五區　今津殺蟲劑

第一六區　無　驅　除

備考

一　藥劑ハ害蟲發生ノ都度撒布セリ

一　デリス液トハデリス根ヲ壓搾シ水ニ浸出シタル液ナリ

成　績「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

區別	試驗別	草丈	乾燥莖收量	實綿收量 上綿	實綿收量 屑綿	實綿收量 計	繰綿歩合 上綿	繰綿歩合 屑綿	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量順位
		m	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	
一區	デリス液（二〇〇瓦）	948	3,881	2,363	129	2,492	32.6	28.2	770	36	806	1
二區	デリス液（一五〇瓦）	984	3,609	2,362	121	2,483	32.1	27.3	758	33	791	2
三區	デスリ液（一〇〇瓦）	884	3,372	1,981	95	2,076	31.6	27.5	626	26	652	4
四區	デリス液（八〇瓦）	925	3,857	2,039	109	2,148	31.5	27.9	642	30	672	3
五區	デリス液（五〇瓦）	980	3,692	1,830	103	1,933	32.2	26.9	589	28	617	6
六區	デリス液（三〇瓦）	938	3,764	1,717	88	1,805	32.7	27.0	562	24	586	7
七區	デリス液（二〇瓦）	857	3,234	1,167	72	1,239	30.6	26.7	357	19	376	12
八區	粉末デリス	927	3,690	1,892	114	2,006	32.5	27.3	615	31	646	5
九區	農光	943	4,052	1,578	110	1,688	32.6	28.3	514	31	545	9
十區	カンコウ	885	3,486	1,676	139	1,815	31.6	27.1	530	28	558	8
十一區	デリス石鹸	892	3,042	1,511	108	1,619	32.0	27.4	484	30	514	10
十二區	デリゲン	841	2,857	1,426	98	1,524	31.1	26.8	444	26	470	11
十三區	ハルク	814	2,929	1,144	103	1,247	30.4	27.6	348	28	376	13
十四區	ピレドゲン	791	3,131	793	41	834	31.3	28.0	248	11	259	15
十五區	今津殺蟲劑	853	2,991	1,042	49	1,091	30.4	26.8	317	13	330	14
十六區	無驅除	770	2,752	619	39	658	29.9	27.0	185	11	196	16

本年度ノ成績ヲ見ルニ、デリス液(二〇〇瓦)區ハ最モ被害少ナク收量モ多ク、デリス液(一五〇瓦)區之レニ次ギデリス液(八〇瓦)區、デリス液(一〇〇瓦)區、粉末デリス區、デリス液(五〇瓦)區、デリス液(三〇瓦)區、カンコウ區、農光區デリス石鹸區、デリゲン區、デリス液(二〇瓦)區、ハルク區、今津殺劑區、ピレドゲン區、等順次之レニ次ギ無驅除區ハ被害多ク收量モ少ナカリキ、而シテデリス劑區ハ何レモ除蟲菊劑區、ニ比シ被害少ナカリキ

（三）　抵抗性品種試驗

供試品種　十品種

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・一「アール」トシ藥劑撒布其ノ他ノ驅除ヲナサズ品種ノ性狀ニヨリ被害程度ヲ試査ス

（1）「ダーワーアメリカン」

（2）「カハンドワアツプランド」

（3）「キヤンボヂヤ」

（4）「グイザ」

（5）「ズランゴ」

（6）「アカラ」

（7）「パンジヤブアメリカン」三號

（8）「デルホス」

（9）「パンジヤブアメリカン」一號

（10）「エキスプレス」

成　績「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

區別	試驗別	草丈	乾燥莖收量	實綿收量 上綿	實綿收量 屑綿	實綿收量 計	繰綿歩合 上綿	繰綿歩合 屑綿	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	收量順位
		m	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	
一區	ダーワーアメリカン	1,403	4,494	2,379	85	2,464	39.8	31.2	947	27	974	1
二區	カハンドワアツプランド	1,113	5,916	1,677	100	1,777	30.7	27.9	515	28	543	2
三區	キヤンボヂヤ	974	6,087	524	96	620	30.7	29.8	161	29	190	5
四區	グイザ	769	1,625	195	30	225	30.5	26.2	60	8	68	10
五區	ズランゴ	1,083	4,740	951	111	1,062	30.3	26.5	288	29	317	3
六區	アカラ	900	2,754	287	57	344	28.8	23.3	83	13	96	9
七區	パンジヤブアメリカン三號	859	3,599	716	57	773	28.1	25.0	201	14	215	4
八區	デルホス	640	1,867	425	18	443	31.8	30.5	135	6	141	7
九區	パンジヤブアメリカン一號	686	2,434	565	36	601	28.8	27.2	163	10	173	6
十區	エキスプレス	675	2,166	347	39	386	28.1	27.0	98	10	108	8

本年度ノ成績ヲ見ルニ、圃場ニ於ケル肉眼的觀察ニテハ第一區「ダーワーアメリカン」第二區「カハンドワアツプランド」第五區「ズランゴ」、第三區「キヤンボヂヤ」、第七區「パンジヤブアメリカン」三號、第九區「パンジヤブアメリカン」一號第八區「デルホス」、第十區「エキスプレス」、第六區「アカラ」、第四區「グイザ」、等順次之レニ次ゲリ

要スルニ葉裏ニ毛ノ長クシテ且ツ密生スル品種ハ被害少ナシ

尙收量ニ於テハ「ダーワーアメリカン」、「カハンドワアツプランゴ」、「パンジヤブアメリカン」三號、「キヤンボヂヤ」、「パンジヤブアメリカン」一號、」デルホス」、「エキスプレス」、「アカラ」、「グイザ」、等順次之レニ次ゲリ

二　デリス劑ノ効力比較試驗

目　的　蔬菜類ノ害蟲ニ對シ、デリス製販賣藥劑並ニデリス根ヲ使用シ害蟲驅除豫防ノ効果ヲ知ラントス

供試品種　冬蔬菜、卷心包頭連白菜

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・一五「アール」トシ左記藥劑ヲ撒布シテ試査セリ

（1）デリゲン二五瓦、石鹼一〇瓦、水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（2）デリテ粉末一〇瓦、石鹼三〇瓦、水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（3）カンコウ　一〇瓦、石鹼三〇瓦、水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（4）ネ　オトン　二五瓦、石鹼三〇瓦、水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（5）デリス根　一〇〇瓦ヲ水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（6）魚藤根　一〇〇瓦ヲ水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（7）今津殺蟲劑　二五瓦、石鹼四〇瓦、水一〇立ノ割ニ調製セルモノ

（8）無驅除區

113155

備　考

藥劑ハ害蟲發生ノ都度撒布セリ

作物ニ對スル害蟲左記ノ如シ

蔬菜名	害蟲名			備考
卷心包頭連白菜	はいまだらのめいが	きすぢとびはむし	あぶらむし類	冬蔬菜

播種期　九月二十六日

移　植　十一月六日

藥劑撒布　十二月二十二日、一月十三日

收　穫　二月十四日

成　績　一〇「アール」當

區別	試驗別	收量	順位
一區	デリゲン	2,074	2
二區	デリス粉末	1,690	4
三區	カンコウ	2,009	3
四區	ネオトン	1,628	5
五區	デリス液	2,323	1
六區	魚藤液	1,591	6
七區	今津殺蟲劑	1,546	7
八區	無驅除	1,092	8

本年度ノ成績ヲ見ルニ第五區デリス液區、最モ收量多ク第一區デリゲン區之レニ次ギ第三區カンコウ區、第二區デリス粉末區、第四區ネオトン區、第六區魚藤液區、第七區今津殺蟲劑區、等順次之レニ次ギ第八區無驅除區ハ收量最モ少ナク被害又多カリキ

三　誘蛾燈ニヨル螟蛾驅除豫防ニ關スル調査

目　的　稻ノ螟蛾ニ對シ高燭電燈ニ飛來スル蛾ヲ捕殺スル事ニヨリ驅除豫防ノ効果ヲ調査セントス

調査方法　夕刻ヨリ夜明ニ至ル間地上一米ノ高サニ一〇〇燭光ノ電燈ヲ點火シ稻ノ栽培期間中每夜飛來スル螟蛾ノ捕殺數ヲ雌雄別ニ調査セリ

成　績

月別	上旬			中旬			下旬			月計		合計
	雌	雄	計	雌	雄	計	雌	雄	計	雌	雄	
一月	58	12	70	105	33	138	338	99	437	501	144	645
二月	70	29	99	151	36	187	0	0	0	221	65	286
三月	79	37	116	4	0	4	157	28	185	240	65	305
四月	53	29	82	27	17	44	130	52	182	210	98	308
五月	61	18	79	207	35	242	1,632	275	1,907	1,900	328	2,228
六月	267	76	343	290	71	361	1,325	356	1,681	1,882	503	2,385
七月	1,202	210	1,412	845	88	933	946	144	1,090	2,993	422	3,435
八月	163	30	193	590	108	698	1,439	138	1,577	2,192	276	2,468
九月	357	65	422	2,095	245	2,340	2,357	583	2,940	4,809	893	5,702
十月	1,614	440	2,054	1,013	278	1,291	1,270	269	1,539	3,897	987	4,884
十一月	57	14	71	0	0	0	0	0	0	57	14	71
十二月	25	9	34	180	50	230	67	18	85	272	77	349

本年度ノ成績ヲ見ルニ、發蛾數ノ最モ多カリシハ九月中旬ヨリ十月上旬ニ至ル期間ニシテ、六月下旬ヨリ七月上旬ニ至ル期間之レニ次ギ八月中下旬、五月下旬等順次之レニ次ゲリ

而シテ本年ハ例年ニ比シテ發蛾數著シク少ナカリキ

四　棉ノ主要害蟲飼育調査

目　的　棉ノ主要害蟲ヲ調査シ其重要ナルモノヨリ順次飼育シテ經過習性ノ大要ヲ知ラントス

調査方法　「くさおびりんが」ノ母蛾ヲ採集飼育シ世代別ニ就キ調査中ニシテ前年度迄ニ於テハ形態ノ大要ヲ記シ次デ習性ヲ調査中ニテ本年度ノ成績左ノ如シ

產卵箇所　本害蟲ハ幼蟲期間ハ莖若シクハ蒴ノ內部ニ喰入加害スルガ故ニ卵期

ニ毒劑ヲ撒布シ置キ孵化ノ時又ハ莖ニ喰入スル時ニ藥劑ヲ食シ致死セシムルノ方法ニ依リ驅除ノ効果ヲ擧ゲントシ先ヅ產卵箇所ヲ調査セリ

產卵箇所　十二月中調査

	若キ莖	托葉	葉ノ表面	葉ノ裏面	葉柄	托柄	苞ノ內面	苞ノ外面
產卵粒數	8	2	2	16	1	2	0	7

備　考　十二月ハくさおびりんがノ成蟲ノ最モ多キ時期ナルニ付キ十二月ニ調査セリ
右ノ成績ニヨレバ葉ノ裏面最モ多ク一六粒全產卵ノ四二%ニシテ若キ莖ノ八粒二一%苞ノ外面七粒一八%等之レニ次ギ他ハ著シク少ナカリキ

五　益蟲飼育並ニ放飼

目　的　益蟲ヲ繁殖シ適要害蟲ノ被害地ニ放飼シテ害蟲被害ノ輕減ヲ圖ラントス

飼育益蟲「くりぷと」瓢蟲

害蟲被害地ニ放飼シテ其結果ヲ調査セリ

成蟲育成數	放飼蟲數			摘要
	成蟲	幼蟲	計	
匹 1,113	匹 110	匹 …	匹 110	放飼後ノ成績比較的良好ナリキ

支　場　之　部

昭和十三年氣象（自昭和十三年一月一日 至昭和十三年十二月三十一日）旬別表

嘉義市車店
嘉義支場觀測

月別	旬別	氣溫 平均最高	氣溫 平均最低	氣溫 平均	平均濕度	平均地溫	日照時數	雨量	天候 晴天日數	天候 曇天日數	天候 降水日數	最多風向
		度	度	度	%	度	時	粍	日	日	日	
一月	上旬	20.9	11.2	16.1	83.8	18.6	41.7	0.0	6	4	0	N
	中旬	23.6	13.2	18.4	87.6	18.0	56.9	0.7	9	1	0	N
	下旬	22.8	13.8	18.3	83.9	18.5	50.6	1.7	7	4	1	N
二月	上旬	20.2	12.9	16.5	89.7	18.6	28.1	11.6	4	4	3	N
	中旬	21.3	14.0	17.6	89.7	18.1	27.9	45.1	4	3	6	N
	下旬	22.7	9.9	16.3	80.0	17.3	69.9	56.7	7	1	9	N
三月	上旬	24.6	15.1	19.9	82.7	19.5	43.3	35.1	4	3	5	N
	中旬	20.6	13.6	17.2	84.2	19.9	19.1	39.5	2	8	3	N
	下旬	23.5	17.1	20.3	84.7	19.8	30.7	135.1	4	3	6	N
四月	上旬	27.2	18.3	22.8	72.2	21.5	65.2	2.3	9	1	1	N
	中旬	27.5	18.9	23.2	76.1	22.3	55.8	104.8	6	2	4	N
	下旬	27.8	21.2	24.5	88.9	23.4	38.3	92.5	5	3	4	N
五月	上旬	31.0	22.7	26.9	67.5	25.5	77.3	…	9	1	..	N
	中旬	30.0	22.8	26.4	73.5	25.8	59.6	32.8	7	1	2	N
	下旬	30.6	22.6	26.6	85.7	26.0	70.7	71.8	6	3	3	N
六月	上旬	32.2	23.8	27.9	67.9	27.4	84.0	49.7	8	0	5	N
	中旬	32.9	24.1	28.5	67.6	27.8	83.9	1.4	10	…	1	N
	下旬	33.2	24.8	28.9	70.6	28.4	86.6	55.1	7	…	3	SW
七月	上旬	32.6	24.3	28.4	74.6	28.0	61.7	216.1	8	0	6	N
	中旬	32.2	23.6	27.9	72.6	27.9	64.3	96.6	6	1	7	N
	下旬	30.9	23.2	27.4	79.0	27.7	64.5	360.2	5	0	9	N
八月	上旬	29.5	23.7	26.6	87.1	26.4	29.4	418.6	3	0	9	SW
	中旬	30.8	23.9	27.4	80.1	27.2	33.0	253.7	3	2	9	SW
	下旬	32.0	24.0	28.0	76.5	27.9	65.0	61.2	6	2	6	SW
九月	上旬	32.3	24.7	28.5	74.5	28.4	70.8	28.1	10	0	2	SW
	中旬	32.2	24.2	28.2	78.7	28.1	60.7	185.4	6	1	5	SW
	下旬	31.2	23.6	27.4	81.9	27.9	58.3	50.3	8	2	3	SW

月別	旬別	氣溫 平均最高	氣溫 平均最低	氣溫 平均	平均濕度	平均地溫	日照時數	雨量	天候 晴天日數	天候 曇天日數	天候 降水日數	最多風向
		度	度	度	%	度	時	粍	日	日	日	
十月	上旬	31.9	24.0	27.9	78.2	27.7	64.1	147.7	6	0	7	S
	中旬	28.9	21.7	25.3	75.8	26.4	57.1	0.2	10	0	0	N
	下旬	29.2	17.6	23.4	70.0	23.9	90.6	0.0	10	1	0	N
十一月	上旬	28.9	19.8	24.4	80.5	24.5	51.7	16.4	7	2	1	N
	中旬	24.8	14.7	19.7	74.7	21.8	52.3	…	5	5	0	N
	下旬	24.3	15.1	19.7	75.4	20.8	46.3	0.0	5	5	0	N
十二月	上旬	25.4	15.6	20.5	83.0	20.9	35.2	6.5	5	5	1	N
	中旬	24.9	18.0	21.4	86.7	21.5	28.3	2.2	4	6	1	N
	下旬	20.6	12.8	16.7	76.3	19.5	35.5	1.7	5	6	1	N

備考

1. 平均地溫ハ一〇糎・二〇糎・三〇糎ノ平均ヲ示セリ
2. 天候欄中晴天日數ハ終日晴レタル日曇天日數ハ平均雲量八以上ノ日、降雨日數ハ一日一粍以上降雨アリタル日ヲ示セリ

農　藝　部

農　藝　部

第一水稻

耕種梗概

內地種

第一期作

苗代

整　地　苗代ハ專用ニシテ前年第二期作挿秧後犁返ヲ行ヒ充分風化セシメ播種一ケ月前ニ灌水シテ刈耙ヲ以テ土塊ヲ細碎シ置キ播種前一週間位ノトキ再ビ灌水シテ更ニ犁返ヲ行ヒ刈耙、手耙ヲナシ播種前日更ニ手耙筒蓋ヲ施シ地面均一ナルニ及ビ播床幅一二〇糎、溝幅三〇糎ノ短冊形ニ仕切リ蒲鉾形ニ揚床トシ床面ヲ木鏝ヲ以テ叮嚀ニ均ラセリ尙床面ハ仕切リヲナシ種子ノ混合ヲ防ギタリ

肥　料　「アール」當施用量次ノ如シ

大豆粕一五瓩、過燐酸石灰五瓩、硫酸加里七〇〇瓦、播種後粉末堆肥少量ヲ撒布セリ

豫　措　種籾ハ豫メ唐箕選ヲ强ク三回行ヒ鹽水選ヲ行ヒ比重ハ粳一・一三、糯及在來種ハ一・〇八トシタリ、種籾ヲ各品種每ニ木綿袋ニ入レ三晝夜浸水シ後二晝夜間稻藁ヲ堆積シタルモノノ中ニ入レ乾燥又ハ高溫ニ過ギザル樣時々灌水シ種籾ノ萠芽ヲ齊一良好ナラシメタリ

播　種　一月中下旬一平方「メートル」當二二瓩ノ割合ニ播下シ其ノ上ヲ木鏝ヲ以テ鎭壓シ床面ニ粉末堆肥ノ少量ヲ撒布セリ

管　理　苗ノ生育ヲ阻害スル寒風ヲ防ガンガタメ苗代ノ北側ニ高サ約四「メートル」ノ防風設備ヲナシタリ、播種後ハ常ニ飽水狀態トシ特ニ寒

冷ノ時ハ灌水シテ保溫ニ努メ其ノ他鳥害ノ豫防、病蟲害ノ防除ニ努メタリ

本　　田

整　地　前年第二期作後犁起シテ充分風化セシメ挿秧前灌水シテ刈耙ニテ土塊ヲ細碎シ挿秧數日前牛耕、刈耙、手耙ヲ行ヒ施肥後尙手耙、筒蓋ヲ施シ地面ヲ均一ナラシメタリ

肥　料　「ヘクタール」當施用量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量		
				窒素	燐酸	加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	7,500	…	7,500	37.50	19.50	41.25
大豆粕	640	…	640	41.09	8.45	11.92
硫酸アンモニア	…	190	190	39.14	…	…
過燐酸石灰	225	225	450	…	85.50	…
硫酸加里	45	45	90	…	…	43.20
計	…	…	…	117.73	113.45	102.42

備　考　三要素適量試驗ノ成績ヲ基礎トセリ

挿　秧　苗ハ秧銚ヲ以テ表土ト共ニ鋤取リ二月中下旬一株五—六本一平方「メートル」當十八株ノ割ニ挿秧シタリ

管　理　除草ハ三回行ヒ第一回ハ挿秧後十五日目、爾後十日目毎ニ第二回第三回ノ除草ヲナシ補植ニハ特ニ注意シ欠損株ナカラシメタリ、尙灌排水ニ注意シ螟蟲ノ驅除豫防ハ極力之ニ努メ其ノ他ノ病蟲害ニモ注意ヲ拂ヒタリ

收　穫　六月中下旬ニ行ヒタリ

中　間　作

苗　　代

整　地　第一期作ニ準ジタリ

肥　料　無肥料

豫　措　第一期作ニ準ジ三晝夜間浸水シ後一晝夜間萠芽セシメタリ

播　種　六月上旬第一期作ニ準ジ一平方「メートル」當二二竝ノ割合ニ播種セリ

管　理　第一期作ニ準ジタリ

本　　田

整　地　前年中間作收穫後犁起シ青皮豆ヲ條播トシテ栽培シ挿秧十日前刈取リ一樣ニ犁込ミ腐敗セシメ更ニ挿秧前第一期作ニ準ジ叮嚀ニ地面ヲ均一ニシタリ

肥　料　「ヘクタール」當施用量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	含有三要素量		
				窒素	燐酸	加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg
青皮豆	7,500	…	7,500	48.00	7.50	21.00
大豆粕	415	415	830	53.29	10.96	15.52
過燐酸石灰	210	210	420	…	79.80	…
硫酸加里	60	60	120	…	…	57.60
計	…	…	…	101.29	98.26	94.12

備　考　三要素適量試驗ノ成績ヲ基礎トセリ

挿　秧　六月中旬第一期作ニ準ジタリ

管　理　除草ハ三回行ヒ第一回ハ挿秧後十日目爾後一週間目毎ニ第二回第三回ノ除草ヲナシ其ノ他第一期作ニ準ジタリ

收　穫　九月中下旬ニ行ヒタリ

第　二　期　作

苗　　代

整　地　第一期作ニ準ジタリ

肥　料　無肥料

豫　措　第一期作ノ種籾ヲ用ヒ第一期作ニ準ジ二晝夜間浸水シ後一晝夜間萠芽セシメタリ

播　種　七月上中旬中間作ニ準ジタリ

管　理　第一期作ニ準ジタリ

本　田

整　地　第一期作收穫後犁起シ刈耙ヲ以テ土塊ヲ細碎シ更ニ充分灌水シテ牛耕、刈耙、手耙ヲ行ヒ施肥後尙手耙、筒蓋ヲ施シ地面ヲ均一ニシタリ

肥　料　第一期作ニ準ジタリ

挿　秧　七月下旬第一期作ニ準ジ一株七—八本、一平方「メートル」當十六株ノ割合ニ挿秧シタリ

管　理　中間作ニ準ジタリ

收　穫　十月下旬乃至十一月上旬ニ行ヒタリ

一　內地種品種試驗

目　的　舊中央研究所農業部ニ於ケル優良品種及當場豫備試驗ノ結果優良ト認メタル品種ヲ栽培シ生育、收量、品質及特性ヲ比較シ當地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・一五「アール」トシ甲乙丙三組ヲ設ケ左記品種ニ付試査セリ、而シテ本試驗ハ第一期作、中間作、第二期作ニ付施行セリ

供試品種　第一期作七品種、中間作九品種第二期作八品種

成　績　（甲乙丙三組ノ平均數）

イ　第一期作　（播種期一月十七日　挿秧期二月二十日）

品種名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	穗長	ヘクタール當重量			一立重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	5.10	6.15	79.6	16.9	18.9	4,495	3,596	4,640	630	809	中上
臺農一八號	5.09	6.13	76.5	16.3	18.8	4,508	3,584	4,695	612	802	中
N一〇三	5.11	6.14	76.6	16.6	18.6	4,560	3,648	4,679	601	811	中
N二四七	5.12	6.15	80.3	17.2	18.4	4,987	3,975	4,859	601	803	中
N二五七	5.12	6.14	86,9	18.6	18.7	4,195	3,385	4,944	603	800	中上
N二五八	5.10	6.13	81.4	17.9	17.3	4,367	3,437	4,420	601	804	中上
N二六四	5.14	6.15	87.2	18.2	19.4	4,500	3,537	4,488	546	803	中

ロ　中間作　（播種期五月二十八日　挿秧期六月十日）

品種名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	穗長	ヘクタール當重量			一立重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	8.16	9.27	84.0	15.3	19.0	2,890	2,225	3,143	562	815	中上
臺南三井一號	〃	〃	81.2	18.6	20.9	3,053	2,415	3,200	571	825	中上
臺農二二號	〃	10.03	82.0	16.7	21.0	2,722	1,987	4,300	511	791	中下
N二五〇	〃	9.25	86.1	16.8	19.1	2,363	1,737	3,447	539	806	中上
N二五一	〃	〃	85.4	18.7	19.6	2,568	1,913	4,200	545	798	中上
N二五二	〃	〃	85.4	16.9	18.9	2,516	2,015	3,303	536	801	中上
N二六〇	〃	〃	84 0	17.0	20.2	2,887	2,200	3,515	574	805	中
N二六三	〃	〃	84.2	19.9	18.8	2,305	1,768	3,485	543	803	中
N二六四	8.18	9.27	86.1	18.4	18.4	3,025	2,272	4,460	492	802	中

ハ　第二期作　（播種期七月十六日　挿秧期七月三十日）

品種名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	穗長	ヘクタール當重量			一立重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	9.29	11.04	82.8	15.2	19.8	2,996	2,523	4,520	570	814	上下
N二五〇	9.27	〃	85.0	17.9	19.3	2,630	2,186	4,270	555	805	上下
N二五一	9.26	〃	84.0	17.2	18.7	2,812	2,300	4,135	554	812	中上
N二五二	9.27	〃	82.9	15.4	18.3	2,822	2,221	4,265	550	819	中上
N二五三	〃	〃	85.3	15.6	18.3	2,766	2,221	4,145	554	813	上下
N二五五	9.26	〃	85.6	18.0	19.5	2,685	2,183	4,420	553	822	上下
N二五八	9.25	11.05	84.9	15.5	19.4	2,711	2.172	4,530	538	801	上下
N二六四	9.30	11.10	86.7	17.7	18.4	3,169	2,630	4,680	526	825	上下

本年度ノ成績ヲ見ルニ

第一期作ニ於テハ生育良好ニシテ略前年ト同樣ナル收量ヲ見タリ供試品種七品種中收量最モ多カリシハN二四七ニシテN一〇三、臺中六五號、臺農一八號、N二六四等順次相次ギ其他ハ稍劣レリ、品質ハ今年度ハ概シテ不良ニシテ臺中六五號、N二五七、N二五八等稍他ニ優レタリ

中間作ニ於テハ螟蟲ノ發生少ナク比較的順調ナル生育ヲ遂ゲタリシガ倒伏ノタメ收量ヲ減ジ品質ヲ損シタリ供試品種九品種中收量最モ多カリシハ臺南三井一號ニシテN二六四、臺中六五號、N二六〇等順次相次ギ其ノ他ハ劣レリ、品質ハ概シテ不良ニシテ臺中六五號、臺南三井一號、N二五〇、N二五一、N二五二等稍他ニ優レタリ

第二期作ニ於テハ挿秧後降雨多ク日照少ナク生育軟弱ニシテ前年ニ比シ減收ヲ見タリ、供試品種八品種中收量最モ多カリシハN二六四ニシテ臺中六五號、N二五一、N二五二、N二五三等順次相次ギ其ノ他ハ劣レリ、品質ハ概シテ稍良好ニシテ、N二五一、N二五二ハ他ニ比シ劣レリ

二　內地種品種豫備試驗

內地種水稻多數品種ヲ蒐集栽培シ生育、收量、品質並ニ特性ヲ調査シ品種試驗ニ供用スベキ品種ヲ選定セントシ品種試驗ニ準ジ第一期作二〇〇品種、中間作二〇〇品種、第二期作二〇〇品種ニ付試査セル結果第一期作、中間作、第二期作ヲ通ジN三〇七、N三〇八、N三一一、N三一九、N三四一、N三五一、N三六四、N三六五、N三七四、N三八一、N三八二、N三八四、N三八七、N三九九、N四〇一、N四〇二、N四二五、N四二七、N四三五、N四三九、N四四〇、N四四五、N四四九等ハ特ニ優レタリ

三　豐凶考照試驗

目　的　年々同一ノ地ニ同一ノ耕種法ノ下ニ同一品種ヲ栽培シ所定ノ時期ニ其ノ生育及收量ヲ調査シ其ノ年ニ於ケル稻作ノ豐凶ヲ豫察シ併セテ氣象トノ關係ヲ考査セントス

耕種梗概　品種試驗ニ準ジタリ

供試品種　第一期作　烏殼清油、烏占、臺中六五號、旭

中間作　烏殼清油、白殼員粒、臺南三井一號、臺中特二號

第二期作　天來、岸仔、臺中六五號、臺中特二號

第一期作

第一回調査成績　（自播種期一月十七日 至挿秧期三月八日）

挿秧當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

年別＼品種別	烏殼清油 苗丈	烏殼清油 葉巾	烏占 苗丈	烏占 葉巾	臺中六五號 苗丈	臺中六五號 葉巾	旭 苗丈	旭 葉巾
	cm	mm	cm	mm	cm	mm	cm	mm
本年	26.5	4.6	26.4	4.1	17.2	4.1	17.4	4.1
前年	23.0	3.3	24.0	3.1	18.5	3.7	20.8	4.3
平年	22.5	4.6	23.1	4.6	13.9	3.7	15.3	4.1
本年ト前年トノ較差	(+) 3.5	(+) 1.3	(+) 2.4	(+) 1.0	(−) 1.3	(+) 0.4	(−) 3.4	(−) 0.2
本年ト平年トノ較差	(+) 4.0	(±) 0	(+) 3.3	(−) 0.5	(+) 3.3	(+) 0.4	(+) 2.1	(±) 0

氣象表

年別	氣溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	時	日	日	日	mm	日
本年	18.1	238.9	42	13	34	134.7	23
前年	20.0	255.2	45	11	36	109.4	9
平年	17.4	246.6	44	13	34	77.1	9
本年ト前年トノ較差	(+) 1.9	(−) 16.3	(−) 3	(+) 2	(−) 2	(+) 25.3	(+) 14
本年ト平年トノ較差	(+) 0.7	(−) 7.7	(−) 2	(±) 0	(±) 0	(+) 57.6	(+) 14

第二回調査成績　（自挿秧期三月八日 至清明四月五日）

清明節當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

年別＼品種別	烏殼清油 草丈	烏殼清油 分蘖	烏占 草丈	烏占 分蘖	臺中六五號 草丈	臺中六五號 分蘖	旭 草丈	旭 分蘖
	cm	本	cm	本	cm	本	cm	本
本年	32.4	8.0	30.6	8.2	33.5	15.4	32.4	16.8
前年	31.6	10.3	30.2	10.4	30.1	13.6	35.3	19.9
平年	34.1	10.1	34.1	11.2	30.8	16.0	32.1	21.1
本年ト前年トノ較差	(+) 0.8	(−) 2.3	(+) 0.4	(−) 2.2	(+) 3.4	(+) 10.8	(−) 2.9	(−) 3.1
本年ト平年トノ較差	(−) 1.7	(−) 2.1	(−) 3.5	(−) 3.0	(+) 2.7	(−) 0.6	(+) 0.3	(−) 4.3

氣　象　表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度			時	日	日	日	mm	日
本年	18.9	…	…	78.9	22	13	10	190.1	10
前年	20.5	…	…	88.0	20	12	12	73.4	6
平年	19.8	…	…	134.1	24	10	17	94.6	7
本年ト前年トノ較差	(−) 1.6	…	…	(−) 9.1	(+) 2	(+) 1	(−) 2	(+) 116.7	(+) 4
本年ト平年トノ較差	(−) 0.9	…	…	(−) 55.2	(−) 2	(+) 3	(−) 7	(+) 95.5	(+) 3

第三回調査成績　（自清明四月　六　日 至穀雨四月二十一日）

穀雨節當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

品種別 / 年別	烏穀清油 草丈	烏穀清油 分蘗	烏占 草丈	烏占 分蘗	臺中六五號 草丈	臺中六五號 分蘗	旭 草丈	旭 分蘗
	cm	本	cm	本	cm	本	cm	本
本年	56.7	26.8	55.6	26.7	55.9	30.9	51.9	31.9
前年	55.7	24.0	54.8	25.5	47.1	24.9	51.2	32.3
平年	53.0	24.6	57.1	24.2	47.9	28.7	53.3	30.0
本年ト前年トノ較差	(+) 1.0	(+) 2.8	(+) 0.8	(+) 1.2	(+) 8.8	(+) 6.0	(+) 0.7	(−) 0.4
本年ト平年トノ較差	(+) 3.7	(+) 2.2	(−) 1.5	(+) 2.5	(+) 8.0	(+) 2.2	(−) 1.4	(+) 1.4

氣　象　表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	度	度	時	日	日	日	mm	日
本年	23.3	25.0	23.0	92.6	15	3	11	107.1	5
前年	23.3	26.7	22.5	106.3	14	3	11	3.0	1
平年	22.9	26.6	22.2	73.6	12	4	9	61.0	3
本年ト前年トノ較差	(±) 0	(−) 1.7	(+) 0.5	(−) 13.7	(+) 1	(±) 0	(±) 0	(+) 104.1	(+) 4
本年ト平年トノ較差	(+) 0.4	(−) 1.6	(+) 0.8	(+) 19.0	(+) 3	(−) 1	(+) 2	(+) 46.1	(+) 2

第四回調査成績　（自穀雨四月二十一日 至小暑七月　八　日）

成熟期ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

品種名	年別	出穗期	收穫期	自挿秧至出穗日數	收穫當時 稈長	收穫當時 分蘗
		月 日	月 日	日	cm	本
烏穀清油	本年	5.24	7.05	78	108.7	16.4
	前年	5.22	7.03	74	102.9	14.8
	平年	5.22	6.29	74	98.2	15.4
	本年ト前年トノ較差	遲 4	遲 2	(+) 4	(+) 5.8	(+) 1.9
	本年ト平年トノ較差	遲 4	遲 6	(+) 4	(+) 10.5	(+) 1.3
烏占	本年	5.27	7.05	79	110.4	16.3
	前年	5.24	7.05	76	104.1	15.3
	平年	5.26	7.01	78	107.9	14.4
	本年ト前年トノ較差	遲 3	遲速ナシ	(+) 3	(+) 6.3	(+) 1.0
	本年ト平年トノ較差	遲 1	遲 4	(+) 1	(+) 2.5	(+) 1.9
臺中六五號	本年	5.22	7.03	74	81.3	18.7
	前年	5.22	7.03	74	75.8	17.7
	平年	5.20	6.27	72	77.2	18.8
	本年ト前年トノ較差	遲速ナシ	遲速ナシ	(±) 0	(+) 5.5	(+) 1.0
	本年ト平年トノ較差	遲 2	遲 4	(−) 2	(+) 4.1	(−) 0.1
旭	本年	5.11	6.13	63	66.9	19.1
	前年	5.10	6.13	62	63.1	21.4
	平年	5.09	6.09	61	66.0	33.1
	本年ト前年トノ較差	遲 1	遲速ナシ	(+) 1	(+) 3.8	(−) 2.3
	本年ト平年トノ較差	遲 2	遲 4	(+) 2	(+) 0.9	(−) 4.0

收量調査

品種名	年別	「ヘクタール」當重量 粃	「ヘクタール」當重量 玄米	一立重量 粃	一立重量 玄米	屑米量	粃量	藁量	粃摺歩合
		kg	kg	g	g	kg	kg	kg	%
烏穀清油	本年	2,833.9	1,927.1	579	570	283.1	154.4	4,927.8	68.0
	前年	3,326.1	2,418.1	581	793	432.6	144.7	3,860.0	72.7
	平年	3,843.2	2,856.0	569	781	167.8	151.2	4,160.0	74.4
	本年ト前年トノ較差	(−) 492.2	(−) 491.0	(−) 2	(−) 23	(−) 149.5	(+) 9.7	(+) 1,067.8	(−) 4.7
	本年ト平年トノ較差	(−) 1009.3	(−) 928.9	(+) 10	(−) 11	(+) 115.3	(+) 3.2	(+) 767.8	(−) 6.4

品種名	年別	「ヘクタール」當重量 籾	「ヘクタール」當重量 玄米	一立重量 籾	一立重量 玄米	屑米量	粃量	藁量	籾摺歩合
		kg	kg	g	g	kg	kg	kg	%
烏占	本年	2,692.2	1,803.8	579	770	270.0	167.8	4,922.2	67.0
	前年	3,160.0	2,186.7	587	793	70.2	150.5	3,770.0	69.2
	平年	2,555.3	2,615.7	586	784	169.5	181.1	4,544.7	73.1
	本年ト前年トノ較差	(−) 467.8	(−) 382.9	(−) 8	(−)23	(+) 199.8	(+) 17.3	(+)1,152.2	(−) 2.2
	本年ト平年トノ較差	(−) 863.1	(−) 811.9	(−) 7	(−)14	(+) 100.5	(−) 13.3	(+) 377.7	(−) 6.1
臺中六五號	本年	3,655.0	2,631.6	582	781	190.5	61.0	3,850.0	72.0
	前年	3,555.1	2,701.8	572	802	230.4	170.0	3,130.0	76.0
	平年	3,959.3	3,211.9	572	798	138.3	146.9	3,697.0	77.7
	本年ト前年トノ較差	(+) 99.9	(−) 70.2	(+)10	(−)21	(−) 39.9	(−) 109.0	(+) 720.0	(−) 4.0
	本年ト平年トノ較差	(−) 304.3	(−) 580.3	(+)10	(−)17	(+) 52.2	(−) 85.9	(+) 153.0	(−) 5.7
旭	本年	3,253.8	2,391.5	592	791	177.8	53.2	3,320.0	73.5
	前年	3,592.2	2,719.3	574	798	359.2	166.6	2,505.0	75.7
	平年	4,250.2	3,336.6	571	799	165.9	164.4	3,074.9	78.4
	本年ト前年トノ較差	(−) 338.4	(−) 327.8	(+)18	(−) 7	(−) 181.4	(−) 113.4	(+) 815.0	(−) 2.2
	本年ト平年トノ較差	(−) 996.4	(−) 945.1	(+)21	(−) 8	(+) 11.9	(−) 111.2	(+) 245.1	(−) 4.9

氣象表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	度	度	時	日	日	日	mm	日
本年	27.2	26.4	26.3	539.4	74	8	57	519.2	24
前年	27.1	27.7	26.3	461.6	69	16	50	544.3	22
平年	26.9	29.0	26.5	489.6	71	12	52	646.8	25
本年ト前年トノ較差	(+) 0.1	(−) 1.3	(±) 0	(+) 77.8	(+) 5	(−) 8	(+) 7	(−) 25.1	(+) 2
本年ト平年トノ較差	(+) 0.3	(−) 2.6	(−) 0.2	(+) 49.8	(+) 3	(−) 4	(+) 5	(−) 127.6	(−) 1

本年度第一期作ノ作況ヲ概括スレバ次ノ如シ

本島種ハ一月十七日內地種ハ二月九日播種セリ、播種ヨリ挿秧ニ至ル氣象ヲ見ルニ本島種ハ播種後氣象順調ニシテ內地種ハ播種後曇天多ク氣溫低カリキ、其ノ生育狀況ハ在來種ハ發芽、發育、良好ニシテ强剛ナル苗ヲ得タリシガ內地種ハ稍々軟弱ナル苗ヲ得タリ、挿秧後曇雨天多ク日照少ナク之ニ伴ヒ氣溫低ク不順ナル

天候ナリシガ清明ノ節後ハ降雨アリシモ日照多ク氣溫モ例年ト大差ナク又挿秧後螟蟲ノ發生極メテ少ナカリシタメ穀雨節ニ於テ草丈分蘖例年ニ比シ稍々優レタリ

穀雨節後一時降雨續キ稻熱病ノ發生ヲ氣ヅカハレシガ其後天候回復シ爾後晴天相次ギ水稻ノ生育益々旺盛ニシテ出穗期ニ至ル內地種ハ旭五月十一日、臺中六五號五月二十二日、在來種ハ烏殼清油五月二十六日、烏占五月二十七日出穗セリ

出穗後何レモ屢々降雨ノタメ旺盛ナル生育ヲ遂ゲタル水稻ハ倒伏ヲ來シ之マデノ豫想セラレタル增收ハ幾分ノ減收ヲ免レザルベク豫想セラレタリ

旭ハ六月中旬其ノ他ハ七月上旬收穫ヲ了シタリシガ收穫後ノ成績豫想外ノ減收ヲ見タリ

中間作

第一回調査成績 (自播種五月二日 至挿秧六月十日)

挿秧當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

品種別 / 年別	烏殼清油 苗丈	烏殼清油 葉巾	白殼員粒 苗丈	白殼員粒 葉巾	臺南三井一號 苗丈	臺南三井一號 葉巾	臺中特二號 苗丈	臺中特二號 葉巾
	cm	mm	cm	mm	cm	mm	cm	mm
本年	36.3	3.1	34.6	3.0	13.5	3.0	14.1	3.3
前年	39.4	3.5	36.0	3.2	15.0	3.1	16.0	3.3
平年	36.2	3.3	39.2	3.6	14.1	3.2	15.5	3.3
本年ト前年トノ較差	(−) 3.1	(−) 0.4	(−) 1.4	(−) 0.2	(−) 1.5	(−) 0.1	(−) 1.9	(±) 0
本年ト平年トノ較差	(+) 0.1	(−) 0.2	(−) 4.6	(−) 0.6	(−) 0.6	(−) 0.2	(−) 1.4	(±) 0

氣象表

年別	氣溫	日照時數	日照日數	曇天數	晴天數	降水量	降水日數
	度	時	日	日	日	mm	日
本年	27.0	272.1	37	5	28	151.6	9
前年	27.1	222.1	34	13	23	157.3	10
平年	27.0	218.4	34	7	26	237.1	12
本年ト前年トノ較差	(−) 0.1	(+) 50.0	(+) 3	(−) 8	(+) 5	(−) 5.7	(−) 1
本年ト平年トノ較差	(±) 0	(−) 53.7	(+) 3	(−) 2	(+) 2	(−) 85.5	(−) 3

第二回調査成績 （自挿秧六月十日 至小暑七月八日）

小暑節當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

年別＼品種別	烏殼清油 草丈	烏殼清油 分蘖	白殼員粒 草丈	白殼員粒 分蘖	臺南三井一號 草丈	臺南三井一號 分蘖	臺中特二號 草丈	臺中特二號 分蘖
	cm	本	cm	本	cm	本	cm	本
本年	56.1	19.5	58.3	17.6	46.3	18.4	47.0	24.3
前年	45.0	17.0	46.5	14.0	42.0	19.5	40.5	24.5
平年	45.6	19.4	47.0	15.9	43.8	21.2	44.4	29.0
本年ト前年トノ較差	(+) 11.1	(+) 2.5	(+) 11.8	(+) 3.6	(+) 4.3	(−) 1.1	(+) 6.5	(−) 0.2
本年ト平年トノ較差	(+) 10.5	(+) 0.1	(+) 11.3	(+) 1.7	(+) 2.5	(−) 2.8	(+) 2.6	(−) 4.7

氣象表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度			時	日	日	日	mm	日
本年	28.6	…	…	217.7	27	0	23	275.3	11
前年	27.8	…	…	154.1	33	2	16	387.0	14
平年	27.8	…	…	186.8	26	2	18	398.9	13
本年ト前年トノ較差	(+) 0.8	…	…	(+) 63.6	(−) 6	(−) 2	(+) 7	(−) 111.7	(−) 3
本年ト平年トノ較差	(+) 0.8	…	…	(+) 30.9	(+) 1	(−) 2	(+) 5	(−) 123.6	(−) 2

第三回調査成績 （自小暑七月八日 至大暑七月二十四日）

大暑節當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

年別＼品種別	烏殼清油 草丈	烏殼清油 分蘖	白殼員粒 草丈	白殼員粒 分蘖	臺南三井一號 草丈	臺南三井一號 分蘖	臺中特二號 草丈	臺中特二號 分蘖
	cm	本	cm	本	cm	本	cm	本
本年	96.0	24.4	97.9	22.0	75.6	20.9	75.7	23.4
前年	69.0	21.6	71.9	18.5	66.6	18.3	67.0	23.0
平年	72.1	23.8	78.1	21.6	68.4	19.1	67.4	24.8
本年ト前年トノ較差	(+) 27.1	(+) 2.8	(+) 26.0	(+) 3.5	(+) 9.0	(+) 2.6	(+) 8.7	(+) 0.4
本年ト平年トノ較差	(+) 23.9	(+) 0.6	(+) 19.8	(+) 0.4	(+) 7.2	(+) 1.8	(+) 8.3	(−) 1.4

氣象表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	度	度	時	日	日	日	mm	日
本年	28.0	28.5	28.8	107.6	15	1	11	96.6	7
前年	28.0	32.7	29.0	136.1	16	0	10	227.3	7
平年	27.9	32.5	28.8	100.9	15	1	10	282.7	8
本年ト前年トノ較差	(±) 0	(−) 4.2	(−) 0.2	(−) 28.5	(−) 1	(+) 1	(+) 1	(−) 130.7	(±) 0
本年ト平年トノ較差	(+) 0.1	(−) 4.0	(±) 0	(+) 6.7	(±) 0	(±) 0	(+) 1	(−) 186.7	(−) 1

第四回調査成績 （自大暑七月十四日 至寒露十月九日）

成熟期ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

品種名	年別	出穗期	成熟期	自挿秧至出穗日數	收穫當時 稈長	收穫當時 分蘖
		月 日	月 日	日	cm	本
烏殼清油	本年	8.18	9.28	96	125.9	15.3
	前年	8.24	10.01	75	128.3	16.9
	平年	8.22	9.28	73	114.1	17.4
	本年ト前年トノ較差	速 6	速 3	(−) 6	(−) 2.4	(−) 1.6
	本年ト平年トノ較差	速 4	遲速ナシ	(−) 4	(+) 11.8	(−) 2.1
白殼員粒	本年	8.31	10.08	80	129.5	12.6
	前年	9.01	10.09	81	148.2	15.6
	平年	9.02	10.06	82	123.6	14.6
	本年ト前年トノ較差	速 1	速 1	(−) 1	(−) 18.7	(−) 3.0
	本年ト平年トノ較差	速 2	遲 2	(−) 2	(+) 5.9	(−) 2.0
南臺三井一號	本年	8.15	9.23	67	82.9	15.2
	前年	8.16	9.23	67	85.5	17.6
	平年	8.18	9.23	69	75.6	15.0
	本年ト前年トノ較差	速 1	遲速ナシ	(±) 0	(−) 2.6	(−) 2.4
	本年ト平年トノ較差	速 3	遲速ナシ	(−) 2	(+) 7.3	(+) 0.2
臺南特二號	本年	8.22	9.28	73	81.5	16.4
	前年	8.22	10.03	73	84.5	18.4
	平年	8.23	10.02	74	79.5	17.1
	本年ト前年トノ較差	遲速ナシ	速 5	(±) 0	(−) 3.0	(−) 2.0
	本年ト平年トノ較差	速 1	速 4	(−) 1	(−) 2.0	(−) 0.7

收量調査

品種名	年別	ヘクタール當重量 糊	ヘクタール當重量 玄米	一立重量 糊	一立重量 玄米	屑米量	粃量	藁量	糊摺歩合
		kg	kg	g	g	kg	kg	kg	%
烏穀清油	本年	2,030.0	1,360.1	535	768	123.0	174.4	3,504.0	67.0
	前年	2,488.9	1,767.1	545	785	166.8	270.0	4,415.6	71.0
	平年	2,310.1	1,711.4	557	784	116.0	253.6	4,577.3	71.5
	本年ト前年トノ較差	(−) 458.9	(−) 407.0	(−)10	(−)17	(−) 43.8	(−) 95.6	(−) 911.6	(−) 4.0
	本年ト平年トノ較差	(−) 280.1	(−) 351.3	(−)22	(−)16	(+) 7.0	(−) 79.2	(−)1,073.3	(−) 4.5
白穀員粒	本年	1,730.0	1,159.1	539	781	123.0	173.3	4,894.4	67.0
	前年	1,940.8	1,348.3	549	785	147.4	216.1	5,419.4	69.5
	平年	2,548.3	1,883.0	555	784	94.6	219.4	5,434.0	73.6
	本年ト前年トノ較差	(−) 210.8	(−) 189.2	(−)10	(−) 4	(−) 24.4	(−) 42.8	(−) 525.0	(−) 2.5
	本年ト平年トノ較差	(−) 818.3	(−) 723.9	(−)16	(−) 3	(+) 28.4	(−) 46.1	(−) 539.6	(−) 6.6
臺南三井一號	本年	2,497.2	1,798.0	550	804	80.5	128.3	2,639.9	72.0
	前年	2,953.9	2,185.9	582	826	73.8	108.3	3,683.1	74.0
	平年	2,606.4	2,014.1	565	817	55.4	170.0	3,120.2	77.4
	本年ト前年トノ較差	(−) 456.7	(−) 387.9	(−)32	(−)22	(+) 6.7	(+) 20.0	(−)1,043.2	(−) 2.0
	本年ト平年トノ較差	(−) 109.2	(−) 216.1	(−)15	(−)13	(+) 25.2	(−) 41.7	(−) 480.3	(−) 5.4
臺南二特號	本年	2,763.8	1,962.3	550	795	120.0	203.3	3,916.7	71.0
	前年	3,633.3	2,699.5	550	814	268.8	228.9	4,425.8	74.3
	平年	2,927.7	2,237.6	544	807	95.6	95.6	4,495.5	76.8
	本年ト前年トノ較差	(−) 869.5	(−) 737.2	(±) 0	(−)19	(−) 148.8	(−) 25.6	(−) 509.1	(−) 3.3
	本年ト平年トノ較差	(−) 163.9	(−) 275.3	(+) 6	(−)12	(+) 24.4	(+) 107.7	(−) 578.8	(−) 5.8

氣象表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	度	度	時	日	日	日	mm	日
本年	27.2	26.4	26.3	539.4	74	8	57	519.2	24
前年	27.1	27.7	26.3	461.6	69	16	50	544.3	22
平年	26.9	29.0	26.5	489.6	71	12	52	646.8	25
本年ト前年トノ較差	(+) 0.1	(−) 1.3	(±) 0	(+) 77.8	(+) 5	(−) 8	(+) 7	(−) 25.1	(+) 2
本年ト平年トノ較差	(+) 0.2	(−) 2.6	(−) 0.2	(+) 49.8	(+) 3	(−) 4	(+) 5	(−) 127.6	(−) 1

本年度中間作ノ作況ヲ概括スレバ次ノ如シ

本島種ハ播種後(五月二日)晴天續キ適當ノ降雨アリテ苗ノ生育良好ニシテ强剛ナル良苗ヲ得タリ、內地種ハ播種(五月二十七日)後前半晴天續キ發芽及活着良好ナリシガ後半降雨續キタルタメ稍軟弱ナル苗ヲ得タリ

揷秧後晴天續キ隨テ高溫多照ナリキ、小暑節前ヨリ降雨アリシガ前年ニ比シ雨量少ナク又日照少ナカリシガ氣溫ハ稍々高カリキ

揷秧後活着良好ニシテ草丈ノ伸長速カニシテ小暑節後ハ生育益々旺盛トナリ草丈ハ特ニ伸長著シク分蘖モ多少前年ニ比シ優レタリ、大暑節後ハ曇雨天多ク日照少ナカリシガ氣溫ハ高ク之ガタメ軟弱ナル生育ヲ遂ゲタリ

螟蟲ハ本年ハ大ナル發生ヲ見ザリシガ尙多少ノ被害ハ免レズ生育ノ不整ヲ來シタリ

臺南三井一號ハ八月十五日、烏穀淸油ハ八月十八日、臺中特二號ハ八月二十二日、白穀員粒ハ八月三十一日、出穗シタリシガ何レモ倒伏甚シク著シク減收ヲ來シクルノミナラズ品質ヲ損シタリ

第二期作

第一回調査成績 (自播種六月三十日 至揷秧七月三十日)

揷秧當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

年別＼品種別	天來 苗丈	天來 葉巾	岸仔 苗丈	岸仔 葉巾	臺中六五號 苗丈	臺中六五號 葉巾	臺中特二號 苗丈	臺中特二號 葉巾
	cm	mm	cm	mm	cm	mm	cm	mm
本年	27.5	2.7	25.0	2.6	11.0	2.8	11.4	2.9
前年	28.0	2.7	25.4	2.6	11.0	3.0	11.6	3.2
平年	28.2	3.0	27.0	2.6	13.1	3.3	13.5	3.1
本年ト前年トノ較差	(−) 0.5	(±) 0	(−) 0.4	(±) 0	(±) 0	(−) 0.2	(−) 0.2	(−) 0.3
本年ト平年トノ較差	(−) 0.7	(−) 0.3	(−) 2.0	(±) 0	(−) 2.1	(−) 0.5	(−) 2.1	(−) 0.2

氣　象　表

年別	氣溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	時	日	日	日	mm	日
本年	28.1	195.7	28	1	19	504.8	21
前年	28.2	243.8	30	1	21	306.8	12
平年	27.9	200.0	27	3	19	447.3	14
本年ト前年トノ較差	(−) 0.1	(−) 48.1	(−) 2	(±) 0	(−) 2	(+) 198.0	(+) 9
本年ト平年トノ較差	(+) 0.2	(−) 4.3	(+) 1	(−) 2	(±) 0	(+) 57.5	(+) 7

第二回調査成績　（自挿秧七月三十日 至處暑八月二十四日）

處暑節當日ニ於ケル調査成績次ノ如シ

生育狀況

年別＼品種名	天來 草丈	天來 分蘖	岸仔 草丈	岸仔 分蘖	臺中六五號 草丈	臺中六五號 分蘖	臺中特二號 草丈	臺中特二號 分蘖
	cm	本	cm	本	cm	本	cm	本
本年	48.6	13.9	49.6	14.5	41.5	23.5	43.7	29.3
前年	49.7	12.5	49.7	13.0	38.0	15.3	39.0	19.0
平年	52.9	17.9	53.0	19.7	42.7	23.5	43.0	31.4
本年ト前年トノ較差	(−) 1.1	(+) 1.4	(−) 0.1	(+) 1.5	(+) 3.5	(+) 8.2	(+) 4.7	(+) 10.3
本年ト平年トノ較差	(−) 4.3	(−) 4.0	(−) 3.4	(−) 5.2	(−) 1.2	(±) 0.0	(+) 0.7	(−) 2.1

氣　象　表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度			時	日	日	日	mm	日
本年	27.0	…	…	82.3	18	3	8	289.3	23
前年	27.4	…	…	89.4	23	5	8	818.9	18
平年	27.8	…	…	138.3	22	3	12	393.8	13
本年ト前年トノ較差	(−) 0.4	…	…	(−) 7.1	(−) 5	(−) 2	(±) 0	(−) 529.6	(+) 5
本年ト平年トノ較差	(−) 0.8	…	…	(−) 56.0	(−) 4	(±) 0	(−) 4	(−) 104.5	(+) 10

第三回調査成績　（自處暑八月二十四日 至白露九月八日）

白露節當日ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

年別＼品種名	天來 草丈	天來 分蘖	岸仔 草丈	岸仔 分蘖	臺中六五號 草丈	臺中六五號 分蘖	臺中特二號 草丈	臺中特二號 分蘖
	cm	本	cm	本	cm	本	cm	本
本年	89.5	24.6	92.0	23.7	69.0	23.9	68.6	30.0
前年	84.4	22.9	82.1	22.9	66.1	23.0	64.7	26.9
平年	84.3	23.6	85.6	23.4	70.6	22.4	71.3	28.8
本年ト前年トノ較差	(+) 5.1	(+) 1.7	(+) 9.9	(+) 0.8	(+) 3.7	(+) 0.9	(+) 3.9	(+) 3.1
本年ト平年トノ較差	(+) 5.2	(+) 1.0	(+) 6.4	(+) 0.3	(−) 0.8	(+) 1.5	(−) 2.7	(+) 1.2

氣　象　表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	度	度	時	日	日	日	cm	日
本年	28.1	29.7	28.6	94.5	14	1	11	66.6	6
前年	27.8	31.6	28.1	99.4	14	3	12	83.4	6
平年	27.6	30.8	28.0	86.2	14	2	9	154.2	7
本年ト前年トノ較差	(+) 0.3	(−) 1.9	(+) 0.5	(−) 4.9	(±) 0	(−) 2	(−) 1	(−) 16.8	(±) 0
本年ト平年トノ較差	(+) 0.5	(−) 1.1	(+) 0.6	(+) 8.3	(±) 0	(−) 1	(+) 2	(−) 87.6	(−) 1

第四回調査成績　（自白露九月八日 至收穫十一月七日）

收穫期ニ於ケル調査成績左ノ如シ

生育狀況

品種名	年別	出穗期	成熟期	自挿秧至出穗日數	收穫當時 稈長	收穫當時 分蘖
		月 日	月 日	日	cm	本
天來	本年	10.10	11.12	72	110.6	14.7
	前年	10.09	11.12	71	115.9	15.9
	平年	10.08	11.15	70	109.6	14.8
	本年ト前年トノ較差	遲 1	遲速ナシ	(+) 1	(−) 5.3	(−) 1.2
	本年ト平年トノ較差	遲 2	速 3	(+) 2	(+) 1.0	(−) 0.1

品種名	年別	出種期	成熟期	自挿秧至出穗日數	收穫當時 稈長	收穫當時 分蘖
		月 日	月 日	日	cm	本
岸仔	本年	10.04	11.10	66	107.3	15.4
	前年	10.03	11.08	65	116.6	14.8
	平年	10.04	11.10	66	109.8	15.9
	本年ト前年トノ較差	遲 1	遲 2	(+) 1	(−) 9.3	(+) 0.6
	本年ト平年トノ較差	遲速ナシ	遲速ナシ	(±) 0	(−) 2.5	(−) 0.5
臺中六五號	本年	10.02	11.18	64	80.3	19.5
	前年	10.02	11.18	64	83.6	18.7
	平年	9.30	11.12	62	81.2	17.6
	本年ト前年トノ較差	遲速ナシ	遲速ナシ	(±) 0	(−) 3.3	(+) 0.8
	本年ト平年トノ較差	遲 2	遲 6	(+) 2	(−) 0.9	(+) 1.9
臺中特二號	本年	9.30	11.14	61	72.6	22.6
	前年	9.28	11.15	59	73.9	22.1
	平年	9.28	11.05	60	71.1	21.0
	本年ト前年トノ較差	遲 2	速 1	(+) 2	(−) 1.3	(+) 0.5
	本年ト平年トノ較差	遲 2	遲 9	(+) 1	(+) 1.5	(+) 1.6

收量調査

品種名	年別	ヘクタール當重量 粃	ヘクタール當重量 玄米	一立重量 粃	一立重量 玄米	屑米量	粃量	藁量	粃摺歩合
		kg	kg	g	g	kg	kg	kg	%
天來	本年	1,675.4	1,246.5	572	795	80.4	112.8	5,060.5	74.4
	前年	2,638.9	1,754.9	565	797	137.2	285.0	4,938.9	66.5
	平年	2,914.5	2,178.2	577	792	75.4	163.8	4,831.3	74.7
	本年ト前年トノ較差	(−) 963.5	(−) 508.4	(+) 7	(−) 2	(−) 56.8	(−) 172.2	(+) 121.6	(+) 7.9
	本年ト平年トノ較差	(−) 1,239.1	(−) 931.7	(−) 5	(+) 3	(−) 50.0	(−) 51.0	(+) 229.2	(−) 0.3
岸仔	本年	1,814.9	1,379.3	558	784	43.6	160.4	4,061.1	76.0
	前年	2,245.0	1,625.4	539	779	134.7	232.8	3,988.9	72.4
	平年	2,748.8	2,079.5	562	779	68.4	184.4	4,153.0	75.6
	本年ト前年トノ較差	(−) 430.1	(−) 246.1	(+) 19	(+) 5	(−) 91.1	(−) 72.4	(+) 72.2	(+) 3.6
	本年ト平年トノ較差	(−) 933.9	(−) 700.2	(−) 4	(+) 5	(−) 24.8	(−) 24.0	(−) 91.9	(+) 4.0

品種名	年別	ヘクタール當重量 粃	ヘクタール當重量 玄米	一立重量 粃	一立重量 玄米	屑米量	粃量	藁量	粃摺歩合
		kg	kg	g	g	kg	kg	kg	%
臺中六五號	本年	3,014.3	2,321.0	569	802	108.5	160.4	3,893.9	77.0
	前年	3,023.9	2,264.5	557	803	184.4	321.7	4,288.9	74.9
	平年	3,131.0	2,418.8	560	799	115.8	257.2	3,994.9	77.2
	本年ト前年トノ較差	(−) 9.6	(+) 56.5	(+) 12	(−) 1	(−) 85.9	(−) 161.3	(−) 395.0	(+) 2.1
	本年ト平年トノ較差	(−) 116.7	(−) 97.8	(+) 9	(+) 3	(−) 7.3	(−) 96.8	(−) 101.0	(−) 0.2
臺中特二號	本年	2,248.7	1,724.8	528	805	193.3	186.9	2,988.9	76.7
	前年	2.816,7	2,118.1	548	804	160.5	312.2	3,822.2	75.2
	平年	3,214.2	2,501.7	549	802	110.5	279.0	3,882.6	77.9
	本年ト前年トノ較差	(−) 568.0	(−) 393.3	(−) 20	(+) 1	(+) 32.8	(−) 125.3	(−) 833.3	(+) 1.5
	本年ト平年トノ較差	(−) 965.5	(−) 776.9	(−) 21	(+) 3	(+) 82.8	(−) 92.1	(−) 893.7	(−) 1.2

氣象表

年別	氣溫	水溫	地溫	日照時數	日照日數	曇天日數	晴天日數	降水量	降水日數
	度	度	度	時	日	日	日	mm	日
本年	26.2	25.6	26.0	395.4	58	4	49	399.9	16
前年	26.1	26.7	25.4	494.1	59	5	55	51.5	5
平年	25.2	26.7	24.6	458.1	65	11	55	130.9	9
本年ト前年トノ較差	(−) 0.6	(−) 1.1	(+) 0.6	(−) 98.7	(−) 1	(−) 1	(−) 6	(+) 348.4	(+) 11
本年ト平年トノ較差	(+) 1.5	(−) 1.1	(+) 1.4	(−) 62.7	(−) 2	(−) 7	(−) 6	(+) 269.0	(+) 7

本年度第二期作ノ作況ヲ概括スレバ左ノ如シ

本島種ハ六月三十日、內地種ハ七月十六日播種セリ、本島種、內地種ヲ通ジ播種ヨリ挿秧ニ至ル氣象ヲ見ルニ本島種ハ播種後適當ノ降雨アリ、內地種ハ播種後降雨多ク隨テ日照稍少ナカリキ

其ノ生育狀況ヲ見ルニ播種後ハ發芽良好生育順調ニシテ比較的良好ナル苗ヲ得タリ

挿秧後ノ氣象ヲ見ル＝降雨甚ダ多ク隨ツテ日照極メテ少ナク且ツ氣溫低ク稻作上稍々不良ナル天候ナリシタメ水稻ノ生育稍々軟弱＝シテ平年＝比シ草丈稍々低ク分蘖モ概シテ少ナカリシガ螟蟲ノ發生極メテ少ナカリシタメ前年＝比スレバ本島種ハ草丈稍劣リタルモ分蘖＝於テ稍々優リ內地種ハ草丈分蘖トモ＝優レタリ、處暑節後氣溫稍々高ク日照多ク先ヅ順調ナル天候ナリキ、水稻ノ生育概シテ良好＝シテ且ツ螟蟲ノ發生少ナカリシタメ各品種ヲ通ジ草丈分蘖トモ＝前年及平年＝比シ優レタリ、九月末ヨリ十月上旬＝亘リ各品種出穗ヲ了シ其ノ後天候比較的順調ナリシ＝モ拘ラズ生育軟弱ナリシタメ臺中六五號ヲ除キ殊＝本島種ハ出穗期前後倒伏甚シク之ガタメ收量ノ激減ヲ來シタリ、即チ臺中六五號ハ收量前年及平年＝比シ大ナル增減ヲ見ザリシガ本島種ハ減收量甚ダシク平年＝比シ三・四割ノ減收ヲ見タリ

十一月上中旬收穫ヲ了シ乾燥ハ比較的良好ナルヲ得タリ

四地方試驗

(一) 品種試驗

目　的　當場＝於テ品種試驗ノ結果優良ナリト認メタル水稻品種＝付キ土性土質及氣象ヲ異＝スル地方＝於テ試作ヲ行ヒ生育、收量及品質ノ優劣ヲ試査シ其ノ地方＝適スル優良品種ヲ得ントス

試驗地　兩期作田、虎尾郡西螺街、新豐郡歸仁庄

試驗方法　一區ノ面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　當場品種試驗供試品種＝付試査セリ

耕種梗概　當場品種試驗＝準ジタリ

成　績　(甲乙二種ノ平均數)

第一期作

(一) 新豐郡歸仁庄　(播種期一月十日 挿秧期二月二十日)

品種名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	穗長	ヘクタール當 重量			一立 重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	5.08	6.16	76.8	23.0	18.5	3,975	2,971	5,370	580	792	上下
臺農一八號	〃	〃	75.4	20.6	18.7	3,450	2,622	5,085	570	790	中上
N一〇三	〃	〃	77.7	18.8	19.5	3,675	2,793	5,460	581	781	上下
N二四七	〃	〃	75.3	20.9	17.5	4,200	3,150	4,780	575	790	中
N二五七	〃	〃	80.3	22.0	17.9	3,975	3,021	4,930	570	785	中上
N二五八	〃	〃	81.5	22.8	17.9	4,050	3,090	5,280	572	788	中上
N二六四	5.14	〃	80.0	25.0	17.5	3,750	2,843	5,560	575	790	中

(二) 虎尾郡西螺街　(播種期一月四日 挿秧期二月十五日)

品種名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	穗長	ヘクタール當 重量			一立 重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
		月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	…	6.23	85.1	27.7	17.6	5,361	4,117	5,760	577	780	上下
臺農一八號	…	〃	83.1	27.7	17.6	4,932	3,788	5,320	568	781	中
N一〇三	…	〃	85.1	27.5	17.2	4,930	3,826	5,560	570	780	中
N二四七	…	〃	80.2	23.8	17.7	3,917	3,040	5,160	578	776	中
N二五七	…	〃	86.3	28.4	17.9	4,877	3,833	5,340	570	775	中
N二五八	…	〃	85.3	28.2	17.2	4,637	3,659	5,860	570	765	上下
N二六四	…	〃	90.5	28.3	18.9	4,877	3,838	5,930	567	756	中

第二期作

(一) 新豐郡歸仁庄　(播種期七月十五日 挿秧期七月二十九日)

品種名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	穗長	ヘクタール當 重量			一立 重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	10.10	11.11	71.7	15.6	18.1	3,260	2,533	3,405	600	808	上下
N二五〇	10.11	〃	73.2	16.2	17.9	3,626	2,200	3,167	582	807	上下
N二五一	〃	〃	71.2	15.1	18.1	3,606	2,575	3,257	583	809	上下

品種名	出穂期	成熟期	稈長	分蘖	穂長	ヘクタール當重量			一立重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
N二五二	10.11	11.11	69.5	14.1	17.8	3,440	2,415	3,167	589	806	上下
N二五三	〃	〃	70.1	15.6	17.8	3,266	2,593	3,358	599	808	上下
N二五五	〃	〃	75.1	14.7	18.7	3,285	2,523	3,400	577	809	上下
N二五八	10.10	〃	80.3	17.2	18.0	3,372	2,590	3,670	571	808	中上
N二六四	〃	〃	79.4	16.2	17.5	3,210	2,504	3,790	602	810	中

（二） 虎尾郡西螺街 （播種期七月十五日 挿秧期七月二十八日）

品種名	出穂期	成熟期	稈長	分蘖	穂長	ヘクタール當重量			一立重量		品質
						籾	玄米	藁	籾	玄米	
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g	
臺中六五號	9.30	11.09	79.4	22.4	20.5	3,820	2,995	3,878	595	796	上下
N二五〇	10.04	〃	79.8	23.5	17.5	3,870	2,187	3,188	580	797	上
N二五一	10.02	〃	80.2	22.5	19.1	3,527	2,698	3,507	572	798	上
N二五二	〃	〃	80.6	25.2	20.7	3,280	2,516	3,478	567	800	上
N二五三	9.30	〃	83.0	24.1	20.1	3,719	2,841	3,518	565	799	上
N二五五	〃	〃	86.7	21.8	19.3	4,180	3,260	3,677	572	800	上
N二五八	10.02	〃	83.0	24.5	18.6	4,301	3,372	3,880	596	793	上下
N二六四	〃	〃	78.7	22.9	18.6	4,161	3,150	3,790	599	800	中上

本年度ノ成績ヲ見ルニ

第一期作新豐郡ニ於テハN二四七收量最モ多クN二五七、N二五八、臺中六五號等順次相次ギ品質ハ臺中六五號、N一〇三等優レタリ虎尾郡ニ於テハ臺中六五號收量最モ多クN二六四、N二五七、N一〇三等順次相次ギ品質ハ臺中六五號、N二五八等稍々優レタリ

第二期作新豐郡ニ於テハ螟蟲ノタメ收量少ナク其内ノ收量最モ多カリシハN二五三、N二五八、N二五一、臺中六五號等順次相次ギ品質ハ概シテ良好ニシテN二五八、N二六四ハ稍々劣レリ

虎尾郡ニ於テハN二五八收量最モ多クN二五五、N二六四、臺中六五號等順次相次ギ品質ハ概シテ良好ニシテN二六四ハ稍々不良ナリキ

第二陸稻

耕種概概

整地　前年陸稻收護後青皮豆ヲ栽培シ二月中旬刈取リ一樣ニ犁込ミ播種前數回牛耕シ刈耙，手耙ヲ以テ再三叮嚀ニ地面ヲ均一ニシテ畦幅四〇糎ノ淺溝ヲ作リ肥料ヲ施シタリ

肥料　中間作ニ準ジタリ

播種量及播種法　一「ヘクタール」當九〇「リツトル」ヲ畦幅四〇糎ニ條播シ薄ク覆土セル後鎮壓シタリ

管理　中耕及除草ハ度々之ヲ行ヒ間引補植ニハ特ニ注意シタリ

收穫　七月下旬ヨリ始メ八月中旬ニ終リタリ

一 内地種品種試驗

目的　豫備試驗ヨリ選拔セル品種ヲ栽培シ生育收量品質及特性ヲ比較シ當地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・一五「アール」トシ各區ニ甲乙丙三組ヲ設ケタリ

供試品種　粳六品種、糯六品種

成績　（甲、乙、丙三組ノ平均數）

粳　（播種期四月十五日）

品種名	出穂期	成熟期	稈長	分蘖	穂長	ヘクタール當重量			一立重量		品質	玄米四ケ年平均收量
						籾	玄米	藁	籾	玄米		
	月日	月日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g		kg
大畑早生	7.03	8.10	75.4	20.5	19.0	2,750	1,760	2,930	525	780	中下	1,614
ヤカン	6.30	8.05	60.4	16.5	16.0	1,035	0,706	1,800	490	785	中下	372
田優	〃	〃	61.5	17.0	18.0	0,976	0,630	1,850	501	781	中下	929
平山四號	7.03	〃	65.9	21.5	17.8	2,830	1,805	2,760	530	780	中下	1,654
池澤	6.28	〃	58.0	13.7	17.8	0,930	0,620	1,930	481	775	中下	502
三太郎	〃	8.08	65.9	20.5	17.5	2,750	1,800	2,810	520	793	中下	1,668

糯　（播種四月十五日）

品種名	出穂期	成熟期	稈長	分蘖	穂長	ヘクタール當重量			一立重量		品質	玄米四ケ年平均收量
						籾	玄米	藁	籾	玄米		
	月 日	月 日	cm	本	cm	kg	kg	kg	g	g		kg
美濃早生糯	6.23	8.05	58.1	19.3	18.1	1,670	1,130	1,680	515	725	中	921
吉野糯	7.15	8.08	66.1	19.0	18.0	1,430	0,867	1,750	505	717	中	920
早生江層島糯	〃	〃	59.4	19.4	18.0	1,680	1,110	2,010	490	730	中	1,155
凱旋糯	〃	〃	59.6	18.6	17.5	1,520	1,059	2,130	490	735	中	1,071
熊本一號	7.10	〃	63.0	16.5	18.1	1,315	0,831	1,930	491	745	中	749
藤藏糯	7.05	〃	75.0	19.7	20.5	1,790	1,267	2,180	485	771	中	1,402

本年度ノ成績ヲ見ルニ

粳ニ於テハ供試品種六品種中收量最モ多カリシハ平山四號ニシテ大畑早生、三太郎之ニ相次ギ其ノ他ハ收量劣レリ、品質ハ何レモ中以下ナリ、而シテ四ケ年平均玄米收量ヲ見ルニ三太郎收量最モ多ク平山四號、大畑早生等ハ他ニ優レタリ

糯ニ於テハ供試品種六品種中收量最モ多カリシハ藤藏糯ニシテ凱旋糯、早生江層島糯等順次相次ゲリ品質ハ何レモ中位ニ屬セリ、而シテ四ケ年平均成績ヲ見ルニ藤藏糯最モ優レ其ノ他ハ劣レリ

第三　小　麥

耕　種　梗　概

整　地　第二期作收穫後直チニ稻株三列每ニ（六六糎）ニ播床ヲ定メ播巾ハ二〇糎トシ施肥後地表ヲ淺ク碎キタリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量左ノ如シ

堆肥　一、二〇〇瓩、大豆粕六〇〇瓩、過燐酸石灰三〇〇瓩ヲ基肥トシ內大豆粕、過燐酸石灰ハ豫メ播床ニ撒布シ整地ノ際土壤トヨク混和セシメ堆肥ハ播種後種子ノ上ニ撒布又人糞尿三〇〇瓩ハ追肥トシテ培土ノ際十一月三十日施シタリ

畦幅及播幅　畦幅六六糎、播幅二〇糎

播種期　十一月四日

種子ノ豫措　銹病及黑穗病豫防ノ目的ヲ以テ種子ハ播種直前ニ冷水溫湯浸法ヲ行ヒタリ

播種量　「ヘクタール」當一〇〇立內外ノ割ヲ以テシタリ

播種法　基肥ヲ施シ播床ノ地表ヲ殘ク碎キタル後播種シ其ノ上ニ腐熟堆肥ヲ撒布シタリ

管　理　除草ハ中耕培土ヲ兼ネ十一月十五日、十一月三十日追肥ハ十一月三十日施シ適宜中耕培土ヲ行ヒタリ

一　品　種　試　驗

目　的　州ノ內外ヨリ主ナル品種ヲ蒐集栽培シ其ノ生育狀況、收量及品質等ヲ比較シ兩期作田地方ニ於テ第二期作水稻ノ裏作トシテ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ甲乙二組ヲ設ケタリ

供試品種　小麥八品種、大麥一品種

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

品種品	出穂期	成熟期	稈長	穂		ヘクタール收量	一立重量	五ケ年平均收量
				長	粒數			
	月 日	月 日	cm	cm		kg	g	kg
江島神力	1.05	3.02	98.4	8.3	33.6	1,935	812	1,733
農林五號	〃	2.26	77.7	7.0	49.6	1,176	793	1,714
イエローハール	12.23	2.26	81.5	6.7	45.8	854	773	999
ハードホアイト	12.25	3.04	90.3	7.9	29.0	2,465	822	1,509
臺南フロレンス一號	〃	〃	87.8	7.3	25.0	2,610	826	1,665
新珍子	12.29	2.20	52.9	6.0	32.0	1,770	792	1,546
埼玉二七號	12.22	2.21	58.6	7.4	27.8	2,364	811	1,570
長崎小麥一號	12.21	〃	62.1	7.2	37.0	2,909	806	1,858
大麗バレーシード	1.10	3.05	74.1	6.7	39.2	2,628	616	1,536

本年度ノ成績ヲ見ルニ

供試品種九品種中收量最モ多カリシハ長崎小麥一號ニシテ臺南フロレンス一號ハードホアイト、埼玉二七號等順次相次ギ其ノ他ハ收量少ナカリキ、而シテ五ケ年平均收量ヲ見ルニ收量最モ多カリシハ長崎小麥一號ニシテ、江島神力、農林五號、臺南フロレンス一號、埼玉二七號、新珍子、ハードホアイト等相次ギイエローハールハ最モ收量少ナカリキ

第四　棉（水田作）

耕種梗概

整地　深耕犁ヲ以テ二回耕起シ刈耙及手耙ニテ土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ナラシメ十五糎内外ノ高畦ヲ造リタリ

肥料　「ヘクタール」當施用量次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥 第一回	追肥 第二回	計	含有三要素量 窒素	含有三要素量 燐酸	含有三要素量 加里
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
堆肥	10,000	…	…	10,000	50.00	26.00	63.00
過燐酸石灰	150	…	…	150	…	28.50	…
硫酸加里	80	…	…	80	…	…	38.40
大豆粕	300	…	…	300	19.26	3.96	5.61
人糞尿	…	4,500	4,500	9,000	51.30	11.70	24.30
計	…	…	…	…	120.56	70.16	131.31

但シ堆肥ノ半量ハ整地ノ際ニ施用シ殘餘及其ノ他ノ基肥ハ播種ノ際ニ施用シタリ追肥ノ第一回ハ播種後一ケ月目第二回ハ播種後一ケ月半ニ同量ノ水ヲ以テ稀釋シ施用セリ

畦幅及株間　畦幅一米トシ株間三〇糎トセリ

播種量及播種法　「アール」當〇・五立ノ割合ニテ一株三・四粒ヲ點播シ鍬ヲ以テ覆土セリ

管理　中耕除草ハ適宜ニ之ヲ行ヘリ間引ハ二回之ヲ行ヒ一株一本トシ「ふたてん、こみどりよこばひ」驅除ノタメ八月二十日、九月十五日ノ二回ニ今津殺蟲劑ヲ撒布シタリ灌漑ハ十月上旬ヨリ凡ソ月二回ノ割ニ十二月マデ六回行ヒタリ、尙收穫初期ニ於テ「あかぼしかめむし」ノ發生ヲ見タルヲ以テ發見次第捕殺セリ

一品種試驗

目的　州ノ内外ヨリ蒐集セル品種ニツキ其生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ以テ州下ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗區別　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　十四品種

作況　播種後發芽良好ナリシガ降雨續キ生育ヲ阻害セラレタリ、九月ニ入リテ降雨モ少ナク生育モ良好トナリシガ其成績ハ前年ニ比シ稍々劣レリ陸地棉ハ八月末開花ヲ始メ十月中旬ニ收穫ヲ始メ一月中旬ニ終了セリ、埃及棉、海島棉ハ九月中旬ニ開花ヲ始メ十一月下旬ニ收穫ヲ始メ三月上旬終了セリ

成績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期七月九日）

品種名	收穫期 初	收穫期 終	草丈	乾燥莖重量	實綿收量 上綿	實綿收量 屑綿	實綿收量 計	繰綿歩合 上綿	繰綿歩合 屑綿	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	五ケ年平均繰綿收量
			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
シーアイランドA	十一月中旬	三月上旬	128.9	3,375	1,027	57	1,084	31.2	26.7	321	15	336	468
シーアイランドB	同	同	131.5	5,216	1,130	59	1,189	30.4	28.8	344	17	361	295 二ケ年
南海一號	同	同	127.1	2,673	1,322	46	1,368	25.3	33.1	334	15	349	381
グイザ	同	同	147.1	4,802	1,060	51	1,111	35.3	33.5	374	19	393	327 四ケ年
ミード	十月中旬	一月中旬	98.0	3,816	1,011	113	1,124	31.1	26.5	314	30	344	316 四ケ年
デルフオス	同	同	96.8	3,533	1,542	142	1,684	34.4	25.9	530	37	567	614 三ケ年
パンジヤブアメリカン一號	同	同	96.0	3,816	1,398	150	1,548	36.5	28.4	510	43	553	600 三ケ年
パンジヤブアメリカン三號	同	同	91.3	3,583	1,231	147	1,378	35.4	31.6	436	47	483	508 三ケ年
エキスプレス	同	同	85.1	3,450	1,351	139	1,490	33.6	30.5	454	42	496	586
アコラ	同	同	104.0	3,483	1,101	135	1,236	38.2	29.3	421	40	461	615
アカラ	同	同	88.5	3,816	1,252	147	1,399	38.2	33.2	478	49	527	618
ゴーチ	同	同	91.4	3,300	1,323	121	1,444	36.0	38.8	476	47	523	609
デキシー	同	同	82.5	2,983	1,261	134	1,395	37.3	29.9	470	40	510	602
バンネット	同	同	79.6	3,833	1,277	142	1,419	37.6	33.8	480	48	528	597 三ケ年

本年度ノ成績ヲ見ルニ陸地棉ニ於テハ「デルフオス」收量最モ多ク「パンジヤブアメリカン一號」「バンネツト」「アカラ」「ゴーチ」「デキシー」等順次相次ギ「ミ1ド」ハ收量少ナカリキ

埃及棉、海南棉ニ於テハ何レモ收量少ナク「グイザ」ハ他ニ比シ收量多カリキ過去五ケ年ノ成績ヲ綜合スルニ「デルフオス」(三ケ年)最モ優レ「パンジヤブアメリカン一號」(三ケ年)「バンネツト」(四ケ年)等相次ギテ收量多ク海島棉、埃及棉ニテハ「シーアイランドB」良好ナリキ

二 整 地 法 試 驗

目　的　水田棉作ニ適スル整地法ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ次記方法ニヨリ試査セリ

第一區　普通整地法　　第二區　片溝整地法

第三區　兩溝整地法　　第四區　不整地法

但シ不整地法トハ水稻收穫後跡地ヲ直チニ犁ヲ以テ鋤寄セテ荒畦ヲ立テ所定ノ間隔ニ播種箇所ノミヲ膨軟ニスル方法ナリ

供試品種　「エキスプレス」及「グイザ」

作　況　品種試驗ニ同ジ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期七月十日）

（イ）エキスプレス

區名	收穫期 初	收穫期 終	草丈	乾燥莖重量	實綿收量 上綿	實綿收量 屑綿	實綿收量 計	繰綿歩合 上綿	繰綿歩合 屑綿	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	四ケ年平均繰綿收量
			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
普通整地法	十月中旬	一月中旬	75.9	3,073	1,566	128	1,694	32.9	37.2	515	37	552	558
片溝整地法	同	同	75.5	2,773	1,610	124	1,734	31.4	30.4	506	30	536	540
兩溝整地法	同	同	80.1	3,156	1,620	153	1,773	29.3	36.9	475	37	512	533
不整地法	同	同	85.5	3,156	1,476	153	1,629	32.3	36.9	477	37	514	533

（ロ）グイザ

區名	收穫期 初	收穫期 終	草丈	乾燥莖重量	實綿收量 上綿	實綿收量 屑綿	實綿收量 計	繰綿歩合 上綿	繰綿歩合 屑綿	繰綿收量 上綿	繰綿收量 屑綿	繰綿收量 計	四ケ年平均繰綿收量
			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
普通整地法	十一月上旬	三月上旬	124.4	4,283	1,368	62	1,430	40.2	32.1	550	20	570	485
片溝整地法	同	同	133.4	4,466	1,382	57	1,439	38.5	32.3	532	…	550	482
兩溝整地法	同	同	123.1	4,533	1,351	59	1,410	39.4	30.4	532	…	550	483
不整地法	同	同	126.5	4,133	1,334	63	1,397	39.8	33.3	531	19	550	466

本年度ノ地成績ヲ見ルニ「エキプレス」ニ於テハ普通整法收量最モ多ク片溝整地法之ニ次ゲリ

而シテ四ケ年平均收量ヲ見ルニ「エキプレス」ニ於テハ各區ノ收量ノ優劣著シカラザリシモ普通整地法最モ優レ其ノ他ハ稍々劣レリ「グイザ」ニ於テモ各區ノ收量ノ優劣著シカラザレドモ不整地法稍々劣レリ

三 畦 幅 株 間 試 驗

目　的　畦幅、株間ノ廣狹ニヨリ生育狀況、收量及品質等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ以テ州下ニ最適スル培栽距離ヲ知ラムトス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ次記方法ニヨリ試査セリ

エキスプレス 畦幅	エキスプレス 株間	グイザ 畦幅	グイザ 株間
cm	cm	cm	cm
60	20	90	25
60	30	90	35
60	40	90	45
90	20	120	25
90	30	120	35
90	40	120	45

耕種梗概　品種試驗ニ準ジタリ

作　況　品種試驗ニ同ジ

成　績「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期七月六日）

（イ）エキスプレス

區名		收穫期		草丈	乾燥莖重量	實綿收量			繰綿歩合		繰綿收量			四ケ年平均繰綿收量
畦幅	株間	初	終			上綿	屑綿	計	上綿	屑綿	上綿	屑綿	計	
cm	cm			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
60	20	十月中旬	一月中旬	82.5	2,633	1,304	134	1,438	37.0	30.0	482	40	522	565
60	30	同	同	95.5	2,283	1,387	104	1,491	36.1	28.7	501	30	531	552
60	40	同	同	97.0	2,216	1,418	114	1,532	36.0	27.3	510	20	530	542
90	20	同	同	100.6	3,616	1,584	117	1,701	36.6	30.1	580	35	615	555
90	30	同	同	105.2	3,316	1,544	123	1,667	35.2	28.3	543	35	578	531
90	40	同	同	105.0	3,150	1,662	106	1,768	32.1	30.8	534	33	567	501

（ロ）グイザ

區名		收穫期		草丈	乾燥莖重量	實綿收量			繰綿歩合		繰綿收量			四ケ年平均繰綿收量
畦幅	株間	初	終			上綿	屑綿	計	上綿	屑綿	上綿	屑綿	計	
cm	cm			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
90	25	十一月上旬	三月上旬	124.2	4,233	1,443	86	1,529	41.3	30.3	596	26	622	448
90	35	同	同	123.9	3,383	1,379	74	1,453	41.9	32.4	578	24	602	440
90	45	同	同	117.7	3,133	1,374	91	1,465	39.3	33.7	540	31	571	429
120	25	同	同	117.2	4,316	1,198	74	1,272	39.4	34.8	462	26	498	444
120	35	同	同	133.9	3,666	1,179	48	1,227	39.6	31.1	467	15	482	421
120	45	同	同	131.7	3,400	1,112	54	1,166	39.8	33.9	443	18	461	405

本年度ノ成績ヲ見ルニ「エキスプレス」ニ於テハ概シテ畦幅九〇糎區ハ六〇糎區ニ優リ九〇糎畦幅二〇糎株間區收量最モ多ク九〇糎畦幅三〇糎株間區、九〇糎畦幅四〇糎株間區、順次相次ギ六〇糎畦幅區ハ何レモ稍々劣リタリ

「グイザ」ニ於テハ九〇糎畦幅ハ一二〇糎畦幅區ニ優リ、九〇糎畦幅二五糎株間區收量最モ多ク、九〇糎畦幅三五糎株間區、九〇糎畦幅四五糎株間區等順次相次ギ一二〇糎畦幅區ハ何レモ劣リタリ

而シテ四ケ年平均成績ヲ見ルニ「エキプレス」ニ於テハ概シテ畦幅狹ク株間狹キモノ收量多ク「グイザ」ニ於テモ略同樣ナルヲ見タリ

四　播　種　期　試　驗

目　的　水田ニ棉作ヲ行フ場合、播種期ノ早晩ニヨリ生育狀態、收量及品質等ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤヲ試査シ以テ當州下ニ於ケル播種適期ヲ知ラントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トシ五月十日、六月十日、七月十日、七月二十日、七月三十日、八月十日、八月二十日、八月三十日ノ八回ニ播種シテ試査セリ

供試品種　「エキスプレス」及「グイザ」

耕種梗概　品種試驗ニ準ジタリ

作　況　五月十日播、六月十日播區ハ播種後順調ナル生育ヲ遂ゲタリシガ七月、八月ノ降雨ニテ生育ヲ阻害セラレ收量ヲ減ジタリ

七月十日播、七月二十日播、七月三十日播區、八月十日播區ハ七月八月降雨ノタメ生育ヲ害シ、八月下旬ヨリ天候回復シ生育モ良好トナリシガ收量ヲ減ジタリ、八月二十日播區ハ生育良好ナリシガ充分ナル收量ヲ擧グル能ハザリキ

成　績「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）

（イ）エキスプレス

播種期	收穫期		草丈	乾燥莖重量	實棉收量			繰棉歩合		繰棉收量			四ケ年平均繰棉收量
	初	終			上棉	屑棉	計	上棉	屑棉	上棉	屑棉	計	
月日			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
5.10	九月上旬	一月下旬	111.5	3,833	1,482	183	1,665	36.1	30.6	535	56	591	421
6.10	九月下旬	同	72.1	2,867	926	168	1,094	35.2	31.3	326	53	379	393
7.10	十一月下旬	二月上旬	102.2	2,700	1,046	150	1,196	34.6	29.6	362	44	406	429
7.20	十二月下旬	同	107.5	3,067	885	93	978	35.7	31.9	316	30	346	480
7.30	同	同	101.7	1,900	836	120	956	32.0	29.3	268	35	303	461
8.10	同	二月下旬	97.2	1,933	972	163	1,135	31.8	33.5	309	55	364	366
8.20	一月上旬	同	93.2	1,600	708	108	816	33.0	23.8	234	26	260	427
8.30	一月下旬	同	104.2	1,400	314	50	364	35.5	24.6	111	12	123	110

（ロ）グイザ

播種期	收穫期		草丈	乾燥莖重量	實棉收量			繰棉歩合		繰棉收量			四ケ年平均繰棉收量
	初	終			上棉	屑棉	計	上棉	屑棉	上棉	屑棉	計	
月 日			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	kg	kg	kg	kg
5.10	九月下旬	三月下旬	137.9	3,566	1,512	154	1,666	38.0	32.8	575	51	626	362
6.10	十月上旬	同	138.2	1,900	1,168	148	1,316	36.8	31.9	430	47	477	395
7.10	一月上旬	四月上旬	112.4	2,167	1,506	98	1,604	38.1	31.1	574	30	604	433
7.20	同	同	117.9	2,217	1,442	78	1,520	37.9	35.6	547	28	575	495
7.30	一月下旬	同	112.2	2,167	1,534	78	1,612	38.0	33.3	568	26	594	509
8.10	同	同	98.3	1,967	1,478	118	1,596	37.0	32.3	547	28	408	427
8.20	二月上旬	同	88.3	2,150	1,190	90	1,280	37.4	34.0	445	31	476	343
8.30	三月上旬	四月下旬	89.4	1,000	140	28	168	36.5	29.4	51	8	59	82

本年度ノ成績ヲ見ルニ「エキスプレス」ニ於テ收量最モ多カリシハ五月十日播區ニシテ七月十日播區、六月十日播區八月十日播區順次相次ギ八月二十日播區以後ハ收量少ナカリキ

「グイザ」ニ於テハ收量最モ多カリシハ七月三十日播區ニシテ七月二十日播區七月十日播區、八月十日播區等順次相次ギ其ノ他ハ收量少ナカリキ

五　地　方　試　驗　（水田作）

（一）品　種　試　驗

目　的　當場ニ於テ品種試驗ノ結果大體優良ナリト認メタル品種ニツキ水田地方ニ於テ水稻第一期作收穫後ニ栽培シ其生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ以テ其地方ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗地　虎尾郡西螺街

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・六「アール」トシ各區ニ甲乙二組ヲ設ケ次記品種ニツキ試査セリ

耕種梗概　當場品種試驗ニ準ゼリ

成　績　（甲乙二組ノ平均數）（播種期七月十五日）

品種名	收穫期		草丈	乾燥莖重量	實棉收量			繰棉歩合		繰棉收量			三ケ年平均繰綿收量
	初	終			上棉	屑棉	計	上棉	屑棉	上棉	屑棉	計	
			cm	kg	kg	kg	kg	%	%	k	kg	kg	kg
エキスプレス	十月中旬	一月中旬	120	4,060	1,208	30	1,238	31.0	29.0	374	9	383	414
デキシー	同	同	125	4,200	1,373	40	1,413	34.0	31.0	467	12	479	437
ミード	同	同	123	3,900	892	28	920	28.0	27.0	250	8	258	241
デルフオス	同	同	115	4,305	1,600	45	1,645	33.0	26.5	528	12	540	508
パンジヤブアメリカン一號	同	同	130	6,800	1,508	45	1,553	33.0	27.0	498	12	510	496
グイザ	十一月上旬	三月上旬	205	7,500	550	20	570	35.0	32.0	193	6	199	171
ンーアイランド	同	同	197	7,006	580	20	600	36.0	33.0	209	7	216	152（二ケ年）

本年度ノ成績ヲ見ルニ、生育狀況ハ降雨ノタメ生育ヲ害セラレタリシガ管理周到ナリシタメ稍々見ルベキ成績ヲ得タリ、供試品種七品種中繰綿收量最モ多カリシハ「デル」フ「オス」ニシテ「パンジヤブアメリカン一號」之ニ次ギ「ミード」ハ劣リ埃及棉ハ成績不良ナリキ、次ニ三ケ年平均成績ヲ見ルニ繰綿收量最モ多カリシハ「デルフオス」ニシテ「パンジヤブアメリカン一號」之ニ次ギ「ミード」及埃及棉ハ劣リタリ

第五　黃　麻　（水田作）

一　品　種　試　驗

目　的　州ノ內外ヨリ蒐集セル品種ニツキ其ノ生育狀態、收量及品質等ノ優劣ヲ試査シ以テ州下水田作地帶ニ適スル優良品種ヲ得ントス

試驗方法　一區ノ作付面積ヲ〇・三「アール」トセリ

供試品種　十二品種

耕種梗概　本場品種試驗ニ準ゼリ、但シ生育狀態ニヨリ適宜灌漑セリ

成　績　「ヘクタール」當（甲乙二組ノ平均數）（播種期四月十日 收穫期九月二日）

品種名	收穫當時ノ莖長	生莖收量	生粗皮收量	生繊維收量	精製乾燥繊維收量（生粗皮ヲ浸水セルモノ）	生莖ニ對スル精製乾燥繊維歩合（生粗皮ヲ浸水セルモノ）	五ケ年平均莖收量	五ケ年平均精製乾燥繊維收量（生粗皮ヲ浸水セルモノ）
	cm	kg	kg	kg	kg	%	kg	kg
青皮（當場純系）	283	35,000	14,140	10,371	2,065	5.9	50,342	2,525
紅皮（當場純系）	305	40,250	15,214	11,454	2,174	5.4	49,636	2,317
青皮（大埤）	275	38,225	15,022	11,301	2,140	5.6	51,083	2,157
青皮（歸仁）	270	37,600	15,528	10,831	2,294	6.1	47,836	2,213
青皮（水上）	261	37,900	16,600	10,700	2,236	5.9	48,908	2,324
臺中白烟脂（中研農業部）	252	39,000	15,756	10,503	2,301	5.9	47,198	2,203
淡青皮（元長）	267	35,800	15,465	10,100	2,005	5.6	47,737	2,216
淡紅皮（元長）	267	39,251	16,603	11,484	2,394	6.1	47,641	2,391
カプスラリヤD一五四（印度）	296	41,750	18,745	12,564	2,756	6.6	48,416	2,572
チンスローグリーン（印度）	317	36,750	20,212	10,900	2,683	7.3	35,963	2,091
青皮（鹽水）	283	31,400	12,465	8,350	2,261	7.2	49,492	2,499
紅皮（大埤）	288	32,000	12,320	9,007	2,080	6.5	45,752	2,182

本年度ノ成績ヲ見ル＝供試品種中生莖收量最モ多カリシハ「カプスラリヤD一五四」＝シテ紅皮（當場純系）淡紅皮（元長）臺中白烟脂、青皮（大埤）青皮（水上）青皮（歸仁）等順次相次ギ、精製乾燥繊維收量（生粗皮ヲ浸水セルモノ）最モ多カリシハ「カプスラリヤD一五四」＝シテ「チンスログリーン」淡紅皮（元長）臺中白烟脂、青皮（歸仁）青皮（鹽水）等順次之＝次ゲリ

尙五ケ年平均收量ヲ見ル＝青皮（大埤）青皮（當場純系）紅皮（當場純系）青皮（鹽水）青皮（水上）カプスラリヤD一五四等生莖收量優リ、精製乾燥繊維收量（生粗皮ヲ浸水セルモノ）＝於テハ「カプスラリヤD一五四」收量最モ多ク青皮（當場純系）青皮（鹽水）淡紅皮（元長）青皮（水上）紅皮（當場純系）等順次相次ゲリ

第六　嘉南大圳輪作試驗

目　的　嘉南大圳區域內農業ノ經營＝應用スベキ三年輪作方式ノ研究ト併セテ水稻及甘蔗ノ用水量試驗ヲ行ヒ同區域內農業經營ノ一層ノ合理化

＝資セントス

一　用水量試驗

耕種梗概　(1) 水　稻　品種試驗＝準ジタリ、供試品種臺南三井一號

(2) 甘　蔗

整　地　昭和十二年九月下旬前作水稻收穫後牛耕、刈耙ヲ行ヒ地面ヲ均一＝シ直チ＝區劃割、畦立ヲ行ヒタリ

肥　料　「ヘクタール」當施肥量次ノ如シ

堆肥七・五〇〇瓩、硫酸アムモニア七五〇瓩、過燐酸石灰三七五瓩、

硫酸アムニア、過燐酸石灰ハ基肥追肥各半量宛分施シ追肥ハ昭和十二年十二月下旬施シタリ

畦幅株間及種苗量　畦長九米、畦幅一・二五米、株間〇・三三米「ヘクタール」當二一・六〇〇本

蔗　苗　供試品種二七二五POJ二節苗トシタリ

植付期　昭和十二年十月十五日

管　理　植付後灌排水＝注意シ除草、中耕、培土等適宜之ヲ行ヘリ、而シテ灌漑ハ植付當時及十一月三十日ノ二回每回水深一〇糎計二〇糎トシ又豪雨＝際シテハヨク排水＝努メタリ

但シ本年度ハ二月以後降雨適當＝アリタルヲ以テ第三回灌漑ハ之レヲ省キタリ

收　穫　昭和十四年三月五日

試驗地　嘉義支場　水稻用水量實地栽培試驗

嘉義支場　同　　框試驗

嘉義支場　甘蔗用水量實地栽培試驗

試驗方法　(イ)　框試驗

亞鉛板製角框有底四箇、無底四箇(縱横各二米高四〇糎)並ニ亞鉛板製圓鑄有底二箇、無底二箇(徑二六・六糎高四〇糎)ヲ地中ニ埋設シ同一ノモノ二箇ヲ一組トシ試驗セリ

1. 有底框無挿秧
2. 無底框無挿秧
3. 有底框挿秧
4. 無底框挿秧
5. 有底圓鑄無挿秧
6. 無底圓鑄無挿秧

(ロ) 實地栽培試驗

灌排水口ニ煉瓦積ニテ築造セル水槽各一箇宛ヲ据付ケ灌排水ノ度毎ニ右水槽ニ導入シ其容量ヲ測定セリ

試驗面積〇・一「ヘクタール」

成　績

(1) 水稻用水量試驗

(イ) 框試驗

區名	自六月廿八日 至九月二十日 灌漑水量損失量
	mm
有底框無挿秧	315.0
無底框無挿秧	343.8
有底框挿秧	392.6
無底框挿秧	446.8
有底圓鑄無挿秧	262.8
無底圓鑄無挿秧	551.7

右損失量ヨリ算出セル成績左ノ如シ

要項	一日量	中間作合計
	mm	mm
滲透量水深	0.52	41.5
水面蒸發量水深	3.29	262.8
葉面蒸發量水深	1.13	90.3
灌漑水損失總水量水深	4.93	394.6
有効雨量水深	5.57	428.6
灌漑用水量水深	0.23	18.2

水稻收穫成積　(播種期六月十四日 挿秧期六月二十七日)

區名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	ヘクタール當重量		籾一立重量
					籾	藁	
	月 日	月 日	cm	本	kg	kg	g
有底框挿秧	8.19	9.25	70.1	10.3	3,080	3,230	593
無底框挿秧	〃	〃	71.3	10.0	3,090	3,210	593

(ロ) 實地栽培試驗

生育期中ニ於ケル人工給水量、雨量ニヨリ灌漑用水量ヲ計算スレバ次ノ如シ

要項	一日量	中間作合計
	mm	mm
人工給水量水深	2.74	219.1
無効給水量水深	0.87	60.9
有効給水量水深	1.98	158.2
雨量水深	20.87	1,669.5
排水量水深	16.88	1,350.2
有効雨量水深	3.99	319.3
有効雨量及有効給水量合計	5.97	477.5

水稻收穫成績　嘉義支場(播種期六月十四日 挿秧期六月二十七日)

區名	出穗期	成熟期	稈長	分蘖	ヘクタール當重量		籾一立重量
					籾	藁	
	月 日	月 日	cm	本	kg	kg	g
圃場實地栽培	8.18	9.28	79.8	15.8	3,720	3,805	597

（2） 甘蔗用水量試驗

甘蔗生育中ニ於ケル人工給水量及雨量次ノ如シ

要項	自昭和十二年十月十五日至昭和十四年三月五日
甘蔗給水量	200.0 mm
總雨量	2,638.2

甘蔗收穫成績　嘉義支場（挿植期昭和十二年十月十五日 收穫期昭和十四年三月五日）

區別	ヘクタール當 蔗莖重量	ヘクタール當 可製糖量	可製糖率	備考
灌漑區	95,800 kg	13,125 kg	13.7 %	
無灌漑區	90,700	12,698	14.0	

二輪作試驗

耕種梗概　黃麻　品種試驗ニ準ジタリ

甘藷　本場耕種法ニ準ジタリ

甘蔗　甘蔗用水量試驗ニ準ジタリ

試驗地　嘉義支場

試驗方法　左記二方式ニ付試驗セリ一方式試驗面積〇・一「ヘクタール」

第一方式　水稻—甘蔗—雜作

第二方式　水稻—雜作—甘蔗

成績　（1） 水稻—甘蔗—雜作區

（一） 黃麻　（播種期昭和十三年五月三日 收穫期昭和十三年八月二十五日）

ヘクタール當 生莖收量	ヘクタール當 精洗麻（生莖浸水）	ヘクタール當 精洗麻（生皮浸水）	歩留 生莖浸水	歩留 生皮浸水	莖長	備考
42,000 kg	1,890 kg	1,848 kg	4.5 %	4.4 %	298 cm	黃麻ノ品種ハ當場青皮純系種ナリトス

（二） 甘藷　（挿植期昭和十三年九月二十二日 收穫期昭和十四年五月二十日）

ヘクタール當 上藷	ヘクタール當 屑藷	ヘクタール當 計	ヘクタール當 生蔓重量
21,600 kg	201 kg	21,801 kg	14,503 kg

備考　甘藷ノ品種ハ臺農十號ナリトス

（2） 水稻—甘藷—甘蔗

（一） 甘蔗　（挿植期昭和十二年九月二十五日 收穫期昭和十四年三月五日）

ヘクタール當 蔗莖重量	ヘクタール當 可製糖量	可製糖率
96,000 kg	13,728 kg	14.3 %

第七　水稻原種圃ノ經營

州奬勵原種增殖ノ目的ヲ以テ原種圃一甲五分ヲ經營シ生產原種ハ之ヲ州米種改良事業ニ配給セリ

原種ノ品種別配給數量次ノ如シ

品種名	種類	數量
臺中六五號	水稻內地種	24.80 石
臺農二二號	同	2.74
計		27.54

庶務之部

庶務部

一 標本並圖表製作

教材並參考資料トシテ農產物及病蟲害其ノ他土壤、肥料等ノ標本及圖表ヲ製作セリ

二 文書ノ收發

區分	件數
收發	件 745

三 種苗ノ配付

種苗名	配付數量
水稻原種	石 27.8900
棉種子	6.2650
蔬菜種子	1.2130
胡麻種子	0.3510
黃麻種子	0.1200
落花生種子	0.1360
大麥種子	0.2500
小麥種子	1.2000
甘藷塊根	箇 38,000
同苗	本 3,600
デリス苗	本 27,370
同挿穗	本 1,100
シザル球芽	株 2,500
綠肥類種子	石 0.0380

四 印刷物ノ配付

區分	部數
	部
昭和十二年度農事試驗年報	300
施肥標準調査書	100
同 地圖	100
デリスに就いて	500

五 職員出張

用務	回數	日數
農事調査	114	240
事務打合セ	2	6
施肥標準調査	4	13
其他	9	48
計	129	307

六 參觀人

8,383人

七 昭和十三年度經費

科目	豫算額
	円
經常部	
雜給	12,700
事務費	7,700
事業費	42,077
計	62,477

備考 職員給ハ州費、廳費ニ計上セルヲ以テ本項ニ含マス

八 現在職員

場長	府技師兼地方技師	三浦博亮
	産業技師	濱田秀男
	同	山下豐水
	産業書記	市川常藏
	産業技手	森田茂
	同	石田良弘
	同	陳尙慰
	同	青砥正次
	同	石原哲二
	雇	鈴木直治
	同	大島鹿三郎
	同	上田良夫
	同	井上利正
	同	林秋火
	同	二階堂研
	同	町田寛
	同	佐矢明
	同	長谷川公十
	同	徐金玉
	同	義正夫
	同	傅少文
	同	田中巧

昭和十五年三月廿五日印刷
昭和十五年三月三十日發行

臺南州立農事試驗場

臺南市本町三丁目二三四番地
印刷人　寺川喜三郎

臺南市本町三丁目二三四番地
印刷所　合資會社　台南　南報印刷部

610.76
Ta164n
00113155
複写